

THE PHILATELIST MAGAZINE

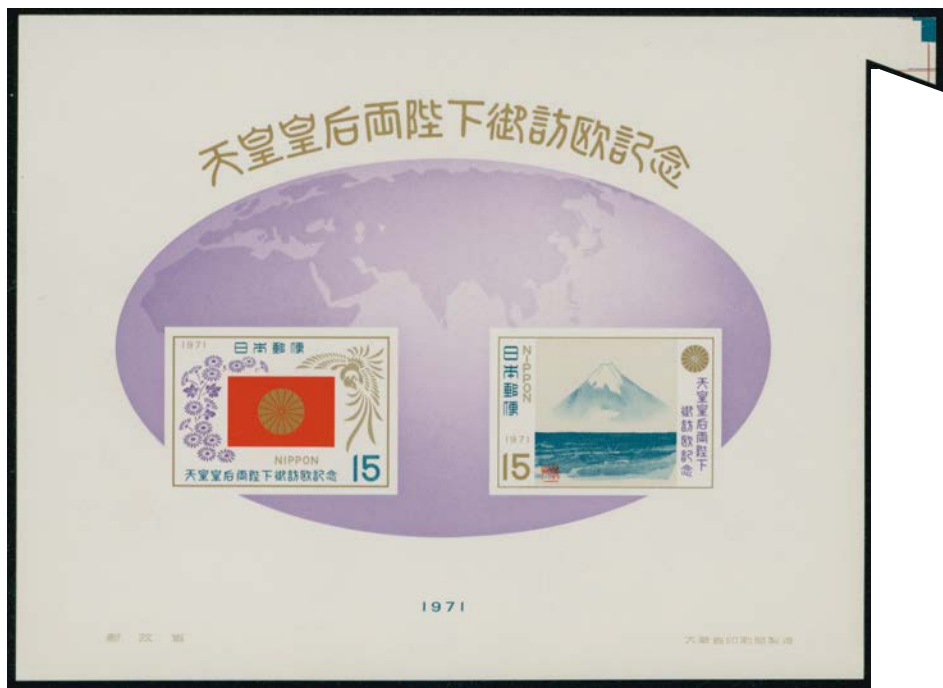
フィラテリスト

スタンペディア日本版機関誌

Magazine

2021

WINTER ISSUE
STAMPEDIA INC.



フィラテリスト Magazine の読み方・使い方

当誌の位置づけ

フィラテリスト Magazine は無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社
Stamperia が運営する「スタンペディア日本版」の会員向け機関誌です。年会費を納めた会員には、冊子（フルカラー 約 160 頁）が、発行の都度郵送されるほか、「マイスタンペディア」（右図）より冊子到着前にダウンロードして閲覧していただくサービスを提供しています。 <http://my.stampedia.net>

冊子の提供サイズ

機関紙（通常号）は A5 判と A4 判を用意しており、年間を通じて予めご指定頂きます。特に指定ない場合は A5 判を購読するものとして取り扱います。年途中での A4 判へのサイズ変更は、差額のお支払が必要ですが承ります。

PDF の活用方法（見る）

ダウンロードした PDF は、パソコンやスマホに保存できます。一旦保存するとそれ以降はいつでも好きな時に PDF 版をご覧ください。

万一、ダウンロードした PDF が見つからなくなっても、会費を継続して支払っている期間は、入会以来全ての PDF を再度「マイスタンペディア」からダウンロードできます。

PDF 版は Adobe Reader 等の PDF 閲覧アプリでご覧頂くことを推奨いたします。ブラウザ（インターネットエクスプローラー等）での閲覧は不安定であり、勧めません。

PDF には目次がついています。目次表示機能付き PDF 閲覧アプリでは読みたい記事を簡単に探すことが可能です。

また機関紙の「目次」（原則として 4-5 ページ）で記事タイトルをクリックすると、読みたいページにジャンプします。

PDF の活用方法（印刷する）

ダウンロードした PDF は、個人の利用に限り、いつでも好きな時に繰り返し印刷することが許可されています。各号に用意された目次を参考にして興味ある記事を見つけ、印刷を行ってください。なお当誌では表紙を 1 ページ目としてページの割り付けを行っておりますので、印刷に指定するページ番号も目次のページ番号と一致しています。（ページ番号は各ページのフッタに表示しています）

なお本誌 PDF は快適なダウンロードの為、ファイルサイズをコンパクトにしています。この為、弊社で製本してお届けする冊子と比較すると印刷結果のクオリティは落ちます。

当誌の編集方針

現代のフィラテリーは古今東西の幅広い収集対象に対して深く研究が行われると共に、収集方法も多岐に分かれています。このような幅広い興味・関心を満たす郵趣雑誌は、多くのページ数を持ち、掲載が特定の分野に偏らない存在であることが理想的です。

この理想を実現するために、フィラテリスト Magazine はページ数に制限の少ない PDF で閲覧されることを前提に編集しています。まだ新しい、このようなスタイルの郵趣雑誌を提供することにより、郵趣の世界に元気を与えたいと考えています。



元旦発行の号外で 600 人超の郵便家に新年のご挨拶 大名刺 2022

「スタンペディア日本版」の機関紙である「フィラテリストマガジン」は毎年元旦に、会員の年賀メッセージを掲載した号外を発行しています。来年元旦も会員の皆様の交流促進のため「大名刺 2022」を行いますので奮ってご参加ください。

この企画は昔流行った「大名刺交換会」の誌面再現です。アルバムリーフ1ページを大きな名刺と見立て、参加者が展示し正月を祝う郵趣の取り組みは、近年正月の催しとして目にする事も少なくなりました。参加者が減少しただけでなく、お酒が入りほろ酔い気分になるイベントに、切手のリーフを持参し、紛失するリスクが嫌がられている面もあると思います。

- ① 原稿提出はメールなら大晦日まで OK。
大晦日まで忘れていても間に合います。
- ② 元旦夕方迄に PDF は配信されます。年賀状を出さなくても替わりになります。
- ③ 豪華商品の当たる「スタンペディアお年玉」に参加できます（自動登録）。
- ④ 「冊子版」を参加者全員に寄贈します。
(1/10 頃、発送予定)

参加要綱

参加資格 「スタンペディア日本版」2022年会員

原稿を郵便で送る場合

提出締切 2021年12月29日到着分

お送り先 102-0083 海事ビル内郵便局留置 スタンペディア

原稿を電子メールで送る場合

原稿締切 2021年12月31日 22:00

お送り先（電子メール）：tpm@stampedia.net

リーフ画像一枚のみをお送りください。カラーコピーのご郵送でも、画像を電子メールでお送り頂いても構いません。

- 注1 リーフ上部に氏名をご記入ください。（漏れている場合は当社で記載します）
- 注2 掲載順は12月15日を起点とした到着順です。なお、参加者が百名を大幅に越えた場合、その時点以降の到着分はPDF版には掲載されますが冊子版には掲載されません。
- 注3 サイズは自由ですが、A4判に収まるように縮小します。
- 注4 内容により掲載をお断りする場合があります、この場合、発行者は一切の理由を開示しません。

スタンペディア日本版機関紙



フィラテリスト Magazine

第33号

目次



当誌の読み方・使い方	2
目次	4
郵趣界重大ニュース	6
郵趣カレンダー	10
LONDON 2022	12
HELVETIA 2022	13
国際切手展の開催動向	14
2022 年度 郵博 特別切手コレクション展	15
富士鹿切手発行 100 年記念切手展	16
第4回いずみ展	17
スタンペックスジャパン2022	18
サブスク購読できる郵趣雑誌の発行者等を応援するページ	24
オンライン郵趣例会の主催者を応援するページ	26
私の発見・私の報告	
二重丸印時代、長門・清末局へ宛てた郵便	佐々木 義郎 28
緑色貼付の速達郵便（追加）	遠藤 浩二 30
和欧文機械印トピックス（読者報告）3期逆波新局発見	水谷 行秀 31
イマキ 今更聞けないフィラテリー	
(18) リーフ作りに適したパソコンのディスプレイ	32
Classic Philately 連載 クラシック切手	
(15) プロイセン王国 1850 一番切手 1/2 Sgr.	34
寄稿記事・郵趣論文	
旧小判6銭のカラートライアルについて	田畑 裕司・井上 和幸 36
オピニオン「第三次昭和と第一次新昭和」	安藤 源成 40
江戸時代の国際郵便（4）慶応2年・イタリア王国	吉田 敬 50
旧型凹版輪転印刷機の導入時期	菊地 恵実 52
南方占領地のフィラテリー（17）シャン地区における郵便	守川 環 55
2021 年の日本切手	山崎 太郎 68
伝統郵趣家によるテーマチックコレクションへの挑戦（1）	吉田 敬 76
ハワイステーションナリー切手付き封筒2セント逆加刷エラー	山崎 文雄 80

香港中華 2 版孫文切手の単線目打	重山 優	83
琉球の航空郵便 (7) 天女航空 13 円	木戸 裕介	95
戦後の欧文櫛型印 (10) 事務用印流用グループ	神宝 浩	102
和欧文機械印トピックス	水谷 行秀	106
昭和 28 年 7 月 5 日と 7 月 15 日 一国内航空郵便の速達郵便制度への統合	行徳 国宏	114
富士鹿 DIE I (旧版) 印刷版の十字トンボ導入時期	吉田 敬	119

郵趣活動の記録

切手コレクション紹介 <支那>加刷・大正白紙切手 2、4、10 銭切手	柳川 英幸	122
切手コレクション紹介 北海道の発時刻入櫛型鉄郵印	長野 行洋	124
切手コレクション紹介 英連邦占領軍 B.C.O.F. 加刷切手	吉田 敬	126
第 4 回 南方占領地のフィラテリー展 開催報告		128
郵趣振興協会 活動報告	郵趣振興協会	130
国内競争切手展 受賞結果抜粋等 JAPEX 2021		133
JAPEX2021 参観記	長野行洋	136

オークションレポート

ジャパンスタンプオークショニアレポート	鯛 道治	144
スタンペディアオークション セールレポート・落札結果等		149

会員からのおたより

あとがき		161
		163

広告一覧

フィラサーチ [P.54]
スタンペディアオークション株式会社 [P.164]

付録	
付録 1	<支那>加刷・大正白紙切手 2、4、10 銭切手、北海道の発時刻入櫛型鉄郵印、英連邦占領軍 B.C.O.F. 加刷切手

郵趣界重大ニュース

2021年9月～2021年12月

1 「いずみ」「手彫切手研究」が相次いで廃刊

いずみ切手研究会（東京・練馬・会長：近辻 喜一氏）は、11月21日に、機関紙「いずみ」の廃刊を発表しました。また、手彫切手研究会（発行：高野 昇郎氏）は11月18日発行の『手彫研究』annex 第51号で、同誌の終刊を発表しました。



郵趣雑誌の中には、発行者のやる気がなくなり、それに伴い購読者が減少し、執筆者も少ない状態で廃刊の憂き目を見る事例が少なくありません。しかしながら、今回の2つの郵趣雑誌は、継続発行に必要な会員数や執筆陣を確保し、脂の乗った機関紙を発行できているにも関わらず、廃刊を選択したと言う点が特徴です。

各雑誌の読者の中には、発行者の継続の努力や、後継者を探す努力を求める者もいるかもしれません。しかし、年単位・号単位での購読契約をしている限り、発行者は、それらの感想を一部読者のお気楽な感想と捉える程度の認識で十分です。もちろん自ら『後継者になるから雑誌の発行を続けさせてくれ』と言う読者がいれば、その連絡は真剣に検討する価値があるかもしれませんが、自分が明確に判断できる内に、終えるものを終えることは、非常に大切な判断だと思います。

『最後まできちんとやる』というのは、一般社会の常識に照らし合わせれば極めて当たり前の判断ですが、郵趣に関わる世界では必ずしも当たり前でない歴史があります。読者から集めた会費や誌代を使い込んでしまい、郵趣雑誌やオークションカタログを当初の案内通り発行せずに消えたり、長い期間音沙汰なしにされた経験のある方も多いと思います。発行者のレベルが低いのか、郵趣界の消費者が優しすぎるのか？いずれにせよ、良い事ではありません。

このような醜態を晒してしまうと、途中まで素晴らしい媒体だったとしても、消費者であるフィラテリストの記憶には、悪い思い出だけが残ってしまいます。

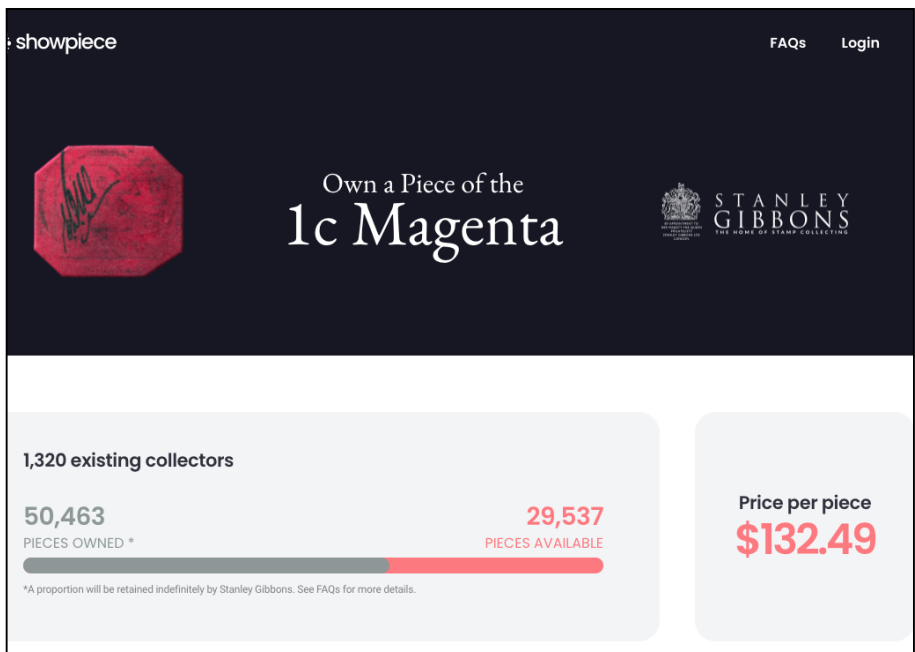
『いずみ』『手彫切手研究』という稀代の2誌が綺麗な結末で終わりを迎えることができそうなことをまず称賛すると共に、私共も、常に意識している『フィラテリストマガジン』有料発行の終了時期と方法に関して、二つの好事例を参考にさせていただこうと思います。

2 英 Stanley Gibbons 英領ギアナ暫定 1c の小口所有権の販売を開始

NY サザビーズの6月8日の競売で、英 Stanley Gibbons 社に9億円強で売却された『英領ギアナ暫定 1c』（本誌第31号掲載、2021年6月）について、落札者の英 Stanley Gibbons 社は、8万分の1の小口所有権を132.49ドル（15,000円、2021/12/8現在）で販売開始しました。

この小口所有権は、一人当たり最小1口から最大8,000口まで購入でき、既に、1,320人の購入者に、50,463口（63%）が販売済みです。過半数が売却済みですが、購入者数が1,320人にとどまっているということで一人平均購入口数は、38.2口（57万円強）に達します。

この小口所有権を購入したという人に数人お聞きしましたが、皆「面白そうだから」という程度の動機で一口の購入でした。また投資家の立場に立つと、132.49ドル×8万口＝12億円は、英 Stanley Gibbons 社の落札価格に3億円上乗せされた数字で、（販売当初に割引はあったものの）そう旨みのある投資ではありません。従って、1,320人の大半は投資家以外の方の冷やかし購入と仮定すると、発売元やそれに近い人々が多くの割合を購入していることもあり得ることで



showpiece

FAQs Login

Own a Piece of the
1c Magenta

STANLEY GIBBONS
THE WORLD OF STAMP COLLECTING

1,320 existing collectors

50,463
PIECES OWNED *

29,537
PIECES AVAILABLE

Price per piece
\$132.49

*A proportion will be retained indefinitely by Stanley Gibbons. See FAQs for more details.

小口所有権 販売サイト 12/8 から 12/9 の1日で13口が販売されていた。

現物の所有が前提となる、従来からの収集趣味の延長上では、なかなか理解し難い所有方法ではありますが、REIT の概念を高い切手に持ち込んだと考えれば理解しやすいでしょう。

英 SG 社では、販売を促進するため、十口で所有証明書の発行をしたり（15万円）、百口でレプリカの贈呈をする（150万円）、250口でプライベートビューイングをする（425万円）などの特典を用意しています。また Q&A も充実しており、本権利の販売が本当の所有権（の部分）の販売であることを明確にしています。

金融の街ロンドンでかつてペニーブラックの相場を作ろうとした SG が、この新ビジネスでどの程度、儲けるのか？また、残り3万口弱は売れるのか？今後も注視していきたいと思います。

3 鬼滅の刃が切手に！

日本郵便は10月25日に、『グリーティング切手 鬼滅の刃』（シール式、84円切手15種）を12月6日から発行することを発表しました。

令和3年度特殊切手発行計画には入っていなかった切手ですが、一年前に公開された同アニメの映画「劇場版 鬼滅の刃 無限列車編」が日本歴代興行収入第1位となる403億円を記録したことなどから、日本郵便としては、是が非でも発行し売り上げに加えたい題材だったと思います。

日本切手には多くのアニメが取り上げられており、昔ながらのフィラテリストの中には眉を顰める方もいらっしゃると思いますが、映画の人気キャラクター（ハリーポッター等）を切手に取り上げるのは世界の郵政が行っていることで、売上をあげる必要がある郵便事業がキャラクターを頼るのは、官民間問わず日本に限った話ではありません。

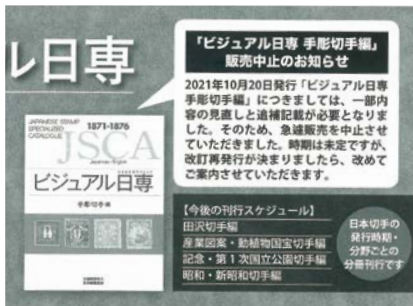


もしもーし、集めますかー？

どうしても嫌いな切手は買わなければ良いだけです。どうせ、20世紀になる前から今に至るまで、世界中で発売された切手を全種類集めた人は1人もいないのですから。

4 公財）日本郵趣協会「ビジュアル日専 手彫切手編」を販売中止に

公益財団法人日本郵趣協会は、機関紙「郵趣」12月の「郵趣サービス社」広告にて、『一部内容の見直しと追補記載が必要とな』った為、『ビジュアル日専 手彫切手編（2021/10/20発行、3,300円）』を『急遽販売を中止』し、再発行『時期は未定で』あることを発表しました。



「郵趣」12月号 P.40 の広告より



画像：書誌データベース

同カタログは、かつては一冊だった日本切手専門カタログを分冊化し、毎年の JAPEX のタイミングに合わせてプロモーションをかけて販売していこうというもので、向こう数年間の発行予定が決まっている単行本ですので、この販売中止は想定外の事態です。

機関紙「郵趣」11月号では大々的な販売告知が出ており、SNS に販売前入手を画像と共に投稿した関係者もいたようですので現物自体は完成していたようです。しかし JAPEX2021 会場で販売されず、また通販も完全に中止となりました。

恐らく、関係者（執筆者・広告主等）への配布を行う過程で販売開始直前に問題が発覚したと思われるのですが、現在のところ日本郵趣協会のホームページに本件のリリースは確認できず、機関紙における郵趣サービス社広告同様の販売中止告知が、当該商品のページに掲載されているだけでした。

5 4回目の緊急事態宣言が終了し郵趣催事は完全復活するも、オミクロン株で少々先行き不透明

第27号以来、毎号取り上げている、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴う国内の郵趣催事の記録を掲載します。

7月12日に発出された4回目の緊急事態宣言は、東京五輪・パラリンピックそしてPHILANIPPON 2021の期間中も継続していましたが、9月30日をもって全ての都道府県で解除されました。

4回目の緊急事態宣言中は、以前の宣言と比べて活動範囲の制限は少なく、飲食を伴わない郵趣催事は徐々に復活していましたが、参加者の出足はまだ回復途上でした。しかし、緊急事態宣言が解除されると、10月以降の郵趣催事への出足は復活し、JAPEX2021や即売会への人出が復活した他、フロアオークションも多くの来場者で賑わうようになりつつあります。

ただ、11月下旬から12月頭にかけて報道が始まったオミクロン株は、その高い感染力から先行きに不透明感があります。弱毒性である報道もあるものの、WHOもまだ見極めるには早いと発表しています。来年2022年は国際的な郵趣行事を復活させることができるかが焦点の一年になる思います。

時期	展覧会、WEBセミナー等	即売会・フリマ・例会	五大オークション他
9月	11-12. スタンプショウ=ヒロシマ2021、展覧会及び講演会を開催 25-26. 郵趣振興協会『第8回ヨーロッパ切手展』の開催にあたり、クラウド展示を併用。コロナ禍の有無に関わらず地方の郵趣家の利便性の為に基本機能とすることを発表。 30. 全ての都道府県で緊急事態宣言を解除		
10月	27. TAIPEI 2020 実行委員会が、主催アジア展の会期を、2022/5/6-10から2023/8/11-15に変えるらしいという噂が、この頃、広がる。	緊急事態宣言の解除後は、切手催事はほぼ元通りに開催できる状態に戻る	2. スタンペディアオークション、フロア来場者、セール流通額とも最高値を達成
11月	10. LONDON 2022 実行委員会、閉場日を一日前倒しにする事を発表。 11. HELVETIA 2022 実行委員会、コミッションナーにアクセプト一覧をフィードバック。		6.JPS オークション、好調なJAPEX セール一回のセールで、久々の流通額約2,500万円
12月	11月下旬からオミクロン株の登場と高い感染力が報道され、先行きが再び不透明になる。弱毒性も報道されるが、見極める事ができるのは月が明けた頃か？		

番外編 行徳宏氏、Macを最新機種に買い替え

本誌 創刊時からの寄稿者で、特非) 郵趣振興協会 名誉会長の行徳宏氏は、使用していた米アップル社のパソコンを10年ぶりに買い替え、10月13日より最新機種の使用を開始しました。

使い勝手も向上し、「原稿執筆やリーフ作りにますます力を入れていくよ。フィラテリストマガジンにもどんどん寄稿するよ。」とのこと。



郵趣カレンダー

2021 年 12 月中旬以降に開催される郵趣イベント

今後予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず急遽中止・変更される可能性があります。
ご来場にあたっては、各主催者が提供する一次情報（ホームページや代表電話）を確認の上、お越しください。

国際郵趣連盟の規則に基づいて審査が行われる競争切手展

開催日	切手展名称	会場	分類	出品 枚切
2022-2/19-25	LONDON 2022	Business Design Center (英、ロンドン)	世	締切済
→ 2022/3/26-28	スタンベックスジャパン2022	郵政博物館 (押上・スカイツリー)	日	12/21
2022-3/31-4/3	HUNFILEX 2022	ハンガリー、ブダペスト	世	締切済
2022/5/18-22	HELVETIA 2022	スイス、ルガーノ	世	締切済
2022/7/16-18	全日本切手展	すみだ産業会館	日	未発表
2022/8/4-9	INDONESIA 2022	The Indonesian Parliament Complex(インドネシア、ジャカルタ)	世	締切済
2022/9/8-11	MELBOURNE 2022	Caulfield Racecourse (豪、メルボルン)	ア	未発表
2022/11/4-6	JAPEX 2022	都立産業貿易センター台東館 (浅草)	日	未発表
2022/11/8-12	CAPE TOWN 2021	International Convention Center (南ア、ケープタウン)	世	未発表
2023/3/16-19	NZ 2023	ニュージーランド、オークランド	ア	未発表
2023/5/25-28	IBRA 2023	Messe Essen, Hall 1+2 (独 エッセン)	世	未発表
2023/8/11-15	TAIPEI 2022	Taipei World Trade Center(台湾、台北)	ア	締切済
2026/5/23-30	BOSTON 2026	Boston Convention and Exhibiton Center (米ボストン)	世	未発表

分類 世：世界切手展 ア：アジア国際切手展 日：日本の全国切手展

一般切手展

開催日	地域	切手展名称	会場
2022/1/4-16	東京	富士鹿切手発行百年記念切手展	郵博 特別切手コレクション展 (郵政博物館)
2022/2/5-6	東京	第 4 回いずみ展	郵博 特別切手コレクション展 (郵政博物館)
2022/3/4-6	東京	菊・田沢 MINIPLEX2022	切手の博物館 (目白)
2022/3/12-13	東京	第 13 回テーマティク研究会切手展	切手の博物館 (目白)
2022/5/7-15	東京	沖縄復帰 50 周年記念切手展	郵博 特別切手コレクション展 (郵政博物館)
2022/6/18-19	東京	第 5 回南方可領地のフィラテリー展	郵博 特別切手コレクション展 (郵政博物館)
2022/9/23-25	東京	第 9 回ヨーロッパ切手展	郵博 特別切手コレクション展 (郵政博物館)

※ 郵政博物館の開場時間は 10:30-16:30 ですが、最終入場時刻は閉場時刻の 30 分前です。なお切手展初日の開場時刻が 13:00 になるケースがありますのでホームページでご確認ください。http://kitte.com/

定期購読されている方には、9月にお送りした機関紙 32号と共に「スタンベックスジャパン 2022」の出品申込書を同梱していますので、ご利用ください。

主要なオークション

開催日	主催者	回	会場
12/19	タカハシ・スタンプ・オークション	663	タカハシスタンプ
2022/1/8	スタンペディアオークション	20	綿商会館
2022/1/16	タカハシ・スタンプ・オークション	664	タカハシスタンプ
2022/1/29	スタンペディアオークション	冬の文献	(メール)
2022/1/29	JPS オークション	537+538	切手の博物館
2022/2/20	タカハシ・スタンプ・オークション	665	タカハシスタンプ
2022/2/26-27	ジャパンスタンプオークション	121	大阪駅前第3ビル
2022/3/20	タカハシ・スタンプ・オークション	666	タカハシスタンプ
2022/4/2	スタンペディアオークション	21	綿商会館

*メールオークションとして開催される場合は、開催日が入札締切日となります。

*当社関連会社が提携するスタンペディアオークションへの出品締切は下記の通りです。

第21回セール：2022/1/5、文献セール：2022/2/15

切手フリマ・即売会

開催日	地域	名称ほか	回	会場	開催時間
1/8	東京	切手市場 スタンペディアオークション併設	202	綿商会館	9:00-17:00
2/5	東京	切手市場	203	綿商会館	9:00-17:00
3/5	東京	切手市場	204	綿商会館	9:00-17:00
3/12	名古屋	名古屋切手フリマ in 大須	11	第1アメ横ビル 4F	10:00-16:00

*会場住所 綿商会館：東京都中央区日本橋富沢町8-10

第1アメ横ビル：名古屋市中区大須3-30-86

主なオンライン郵趣例会

切手サークル名	代表者	使用アプリ	参加費用	オンライン例会開催日
日本切手研究会	横山 裕三	ZOOM	無料	第2,4日曜日 21時 12/12, 26, 1/9, 23, 2/13, 27, 3/13, 27
昭和切手研究会	斎 享	ZOOM	無料	第3日曜日 21時 12/19, 1/16, 2/20, 3/20
外国切手研究会	槇原 晃二	ZOOM	無料	第1,3土曜日 20時 12/4, 18, 1/1, 15 2/5, 19, 3/5, 19
南方占領地切手コレクターズクラブ	守川 環	ZOOM	無料	第4水曜日 20時 12/22, 1/26, 2/23, 3/23

International Stamp Exhibition LONDON 2022

特定非営利活動法人 郵趣振興協会 まとめ

当初、2020年5月に開催が予定されていた、ロンドン世界展は、名称を LONDON 2020 から LONDON 2022 に変えて、2022年2月19-25日に開催されることになりました。

新しい会期は一旦、2022年2月19-26日に設定したのですが、行政による各種制限を考慮し、最終日は1日前倒しされました。ロンドン展は、展示期間の2分の1が経過した時点で、前後の展示作品を入れ替えるという特色があります。今回の後半はさらに1日短くなるため、大変忙しい展示・審査・参観になると思われます。

3月に近い時期の開催ではあるものの、12月に入り突如騒がれ始めたオミクロン株がどのように影響するか見通せず、心配の種は尽きません。一昨年の NZ2020 の様に直前に審査員及びコミッショナーが入国不可になる可能性もゼロとはいえないからです。とはいえ、今のところ展覧会実行委員会からは着々と準備を進めている旨の発表が行われています。

展覧会名 International Stamp Exhibition LONDON 2022
競争展種別 世界展
開催期日 2022年2月19-25日
郵便史、ステーションナリー、オープン、絵葉書、印紙、ユース（一部）2/19-22
伝統、航空、テーマ、ユース（一部）、チャンピオン2/23-25

日本からの展示予定作品

Class	Exhibit Title	F	Name
伝統郵趣	France 1849-1862	8	Nobuto Ariyoshi
伝統郵趣	Private Printing Period in Victoria 1850-1859	8	Masayasu Nagai
伝統郵趣	Austria and Lombardy-Venetia the 1850 issues	8	Tamaki Saito
伝統郵趣	Japan Definitives 1913-1937	8	Yuji Yamada
伝統郵趣	Japan Definitives 1952-1959	5	Takashi Yoshida
郵便史	German Inflation 1922-1923	8	Fumihisa Ito
郵便史	Indian Campaigns	8	Akihiko Koiwa
ステーションナリー	Aerogrammes of Ethiopia 1951-1974	5	Kazuyuki Inoue
テーマティック	The Telephone Story - Sending Longer-distance Voice Messages	8	Akinori Katsui
テーマティック	A History of Hong Kong	8	Yosuke Naito
ワンフレ	Advertised Postmarks in Japan	1	Tomoyuki Iwasaki
ワンフレ	"Entry of the Crusaders in Constantinople" by Eugene Delacroix. The client's purpose and the painter's expression	1	Masaru Kawabe
文献 単行本	Japanese Stamp Specialized Catalogue Vol.1, Vol.2, Vol.3		Japan Philatelic Society, Foundation
文献 単行本	Gems On Paper		Yukihiko Shoda
文献 単行本	Modernest Stamp		Taro Yamazaki
文献 Digital	Stampedia		Stampedia

展示作品は現時点の予定であり変更の可能性あります。

World Stamp Exhibition HELVETIA 2022

HELVETIA 2022 コミッショナー 吉田 敬

全日本郵趣連合より、本展覧会のコミッショナーの委嘱を当方が受けたのは今年の8月14日でスイスの実行委員会への出品締切(9/15)までひと月しかないタイミングでした。

この時点での出品申込は一点しかなく、「このままでは欧州の友人に顔向けできないな…」と思い、短期間でしたが積極的にPRを行った結果、質量ともに十分な12作品の出品申込があり、うち10作品がアクセプトされましたので、発表します。

オミクロン株の登場により感染症再流行の可能性は低くありませんが、この時期にコミッショナーを引き受け、しかるべきタイミングで辞任せずに本日まで来たということは、ある程度のリスクを考慮しての決断になります。出品料金を支払う前のタイミングでの辞任も可能でしたが、熟慮してその選択肢を採用しませんでしたので、現時点では(1)日本もしくはスイス政府による渡航制限がかからない(2)私自身に新たな健康上のリスク(入院、コロナ感染、その他医師の指示等)が生じない限りは、コミッショナーとして現地に赴く為の努力を継続する心算をしています。ただし状況が流動的であることはご理解いただきたいと思います。

展覧会名 World Stamp Exhibition HELVETIA 2022
競争展種別 世界展
展示会規模 2150 フレーム
開催期日 2022年5月18-22日

日本からの展示予定作品

Class	Exhibit Title	F	Name
伝統郵趣(スイス)	Switzerland postage due stamps 1883 - 1910	5	Ariyoshi Nobuto
伝統郵趣(スイス)	Classic Switzerland	8	Yoshida Takashi
伝統郵趣(欧州)	Lombardy Venetia the 1850 Issue	5	Saito Tamaki
伝統郵趣(その他)	Japan Chrysanthemum Stamps 1899-1910	5	Kato Shigeki
伝統郵趣(その他)	Ryukyu Dollar Currency Conversion Provisional Series	5	Kido Yusuke
郵便史(その他)	Indian Campaigns	8	Koiwa Akihiko
ステーショナリー	The Japanese Foreign Mail Postcards	8	Ando Gensei
ステーショナリー	Hawaiian Postal Stationery	8	Yamazaki Fumio
文献(単行本)	How to Make Your Exhibit for JAPEX		Enosowa Yuichi
文献(単行本)	Brazil Classic Philately		Shoda Yukihiko

展示作品は現時点の予定であり変更の可能性があります。



国際切手展の開催動向

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

国際郵趣連盟および大陸別の郵趣連盟が公認する競争切手展（以下「国際切手展」と略す）の
実行委員会は、2020 年 6 月以降も、暫時延期をアナウンスしています。当協会ではホームページ
(<http://kitte.com>) で速報を行っておりますが、以下でまとめてご案内します。

切手展の当初の名称	開催地	分類	当初 開催予定期間	現 開催予定期間
NZ 2020	ニュージーランド、オークランド	ア	2020/3/19-22	国際展は中止
LONDON 2020	英、ロンドン	世	2020/5/2-9	2022/2/19-25
WSC<INDONESIA2020>	インドネシア、ジャカルタ	世	2020/8/6-11	2022/8/4-9
TAIPEI 2020	台湾、台北	ア	2020/10/23-27	2023/8/11-15
MELBOURNE 2021	豪、メルボルン	ア	2021/2/11-14	2022/9/8-11
CAPE TOWN 2021	南ア、ケープタウン	世	2021/3/17-20	2022/11/8-12
IBRA 2021	独 エッセン	世	2021/5/6-9	2023/5/25-28
PHILANIPPON 2021	日、パシフィコ横浜	世	2021/8/25-30	アジア展に変更して開催
HUNFILEX 2022	ハンガリー ブダペスト	世	2022/3/31-4/3	当初予定通り
HELVETIA 2022	スイス、ルガーノ	世	2022/5/18-22	当初予定通り

■:2020 年開催 ■:2021 年開催 ■:2022 年開催 ■:2023 年開催

この 3 ヶ月間の延期情報として、TAIPEI2020 が 2022 年 5 月 6 日から 10 日までの新会期予定
を 2023 年 8 月 11 日から 15 日に 再度、延期するらしいという情報が、10 月 27 日頃に流れました。

新会期について、不確実な報道しかできない原因は、同展覧会実行委員会の WEB などを経由する
情報発信力が貧弱である事が原因です。この原稿を書いている 11 月 29 日時点でも公式ホーム
ページには会期変更に関する情報が確認できません。同展覧会の日本コミッショナーをつとめている
池田健三郎氏に本件について実行委員会から新会期の連絡があったかお聞きしましたが、12 月 1
日現在、まだ何も連絡がないとのことでした。

その一方で、国際郵趣連盟の WEB サイトには、「2023/8/11-15」が同展覧会の会期として掲
載されている為、恐らく変わったのだらうと受け止められています。アジア展の情報発信は、概し
て欧米のそれに劣ることが多いのですが、ここまで貧弱なケースも珍しいと思います。

次に来年 2 月のロンドン展ですが、11/10 に、閉場日を 1 日前倒して 25 日とすることを発表
しました。これにより会期は 8 日間から 7 日間に短縮されました。

英国・ハンガリー・スイスで来年上半期に開催される 3 つの切手展については、各実行委員会と
も開催に向けて準備を進めており、情報発信も行われており、現時点で中止は考えられていません。

しかしながら 11 月下旬のオミクロン株の報告に伴い、各展覧会の開催期間の直前に、日本政府
や各開催国の政府が渡航及び入出国に関して、制限を急遽かける可能性があります。この場合、コ
ミッショナーは物理的な移動が不可能になり、島国・日本からの展示作品の提出は、国際宅配によ
る提出について出品者及び実行委員会の双方が合意しない限りは原則として不可能となり、展示機
会を失います。

2022 年度 郵博 特別切手コレクション展

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

郵趣振興協会（以下、当協会）は、2017 年度より郵政博物館との共催で同博物館において年数回の特別切手コレクション展を開催しています。来年度（2022/4/1-2023/3/31）の開催展覧会並びにそのスケジュールを、11 月 22 日に発表しましたので、ご案内します。

なお、スケジュール及び展覧会名称等は現時点の予定であり、COVID-19 の流行状況をはじめとする諸事情により変更される事があります。また、新たに展覧会の開催を追加する予定がございます。

先行き見えない中であるにも関わらず、ハイクオリティかつバラエティ豊かなラインナップとなりました。まことに有難く存じます。各展覧会の詳細につきましては、随時、ウェブサイト並びにフィラテリストマガジン紙面にて広報してまいりますので、どうぞご注目下さい。

また本年開始し好評の「クラウド展示」につきましては、利便性を更に向上させて提供して参ります。首都圏在住の方以外にも楽しみいただけるミニ切手展としてどうぞご注目ください。

日程	展覧会名称	副題・説明等	展示団体
5/7-15	沖縄復帰 50 周年記念切手展	1972 年 5 月 15 日の日本復帰から 50 周年を記念し、展覧会を開催します。（クラウド展示併設）	琉球切手コレクターズクラブ
6/18-19	第 5 回南方占領地のフィラテリー展	太平洋戦争中に日本が東南アジア等の占領地域で発行した珍しい切手を一挙に展示（クラウド展示併設）	南方占領地切手コレクターズクラブ
9/23-9/25	第 9 回ヨーロッパ切手展	月 2 回オンライン例会を開催する、外国切手収集サークルによる展示です。（クラウド展示併設）	外国切手研究会



2021 年度 第4回 郵博特別切手コレクション展 富士鹿切手発行 100 年記念切手展

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

万国郵便連合第7回総会（1920年、スペイン）決議を受けて料金改正された国際郵便向けの切手である『富士鹿切手』は、1922年1月1日（大正11年）に発行され、まもなく一世紀を迎えます。

郵趣振興の為に設立された当協会では、『富士鹿切手』発行百周年を記念し、富士鹿切手ならびに同目的で発行された風景切手に関する国内の関連コレクションを一堂に展示する切手展を企画し、郵趣家だけでなく一般層の来場機会も多い郵政博物館で開催することになりました。



富士鹿切手発行 100 年記念切手展

郵政博物館における展示期間：2022-1-4（火） - 2022-1-16（日）

クラウド展示の開催期間：2022-1-4（火） - 2022-1-16（日）

郵政博物館収蔵品・特別展示

富士鹿 20 銭切手 原画（逓信博物館員 樋畑 雪湖）

展示作品（予定）

作品名称	F	出品者
富士鹿・風景切手（抜粋）	3	天野 安治
富士鹿・風景切手	8	吉田 敬
富士鹿・風景切手 1922-1940	5	伊藤 純英
風景切手の郵便史	3	杉山 幸比古
富士鹿・風景切手	3	故 横矢 仁

展示作品は現時点の予定であり変更の可能性があります。展示は博物館もしくはクラウドで行います。



2021 年度 第4回 郵博特別切手コレクション展

富士鹿切手発行百年記念切手展

2022
1月4日火 | → **1月16日** | 日

PHILATELIC EXHIBITION OF POSTAL MUSEUM JAPAN

2021 年度 第5回 郵博特別切手コレクション展

第4回 いずみ展

いずみ切手研究会

東京都練馬区の郵趣サークル「いずみ切手研究会」は、2018 年以來毎年 2 月に会員有志のコレクションを展示する切手展を開催しています。2021 年 2 月は COVID-19 の影響で残念ながら展覧会の開催を中止としましたが、この度無事復活して展覧会を開催できる様になりました。

第4回 いずみ展

郵政博物館における展示期間：2022-2-5（土）- 2022-2-6（日）

クラウド展示は予定しておりません。

展示作品（予定）

作品名称	Frame	作品オーナー
切手で作る 大人の魔法陣	3	野口 喜義
関東大震災	2	藤岡 靖朝
日本の郵便はがき	3	飯嶋 賢太郎
通信事務郵便の変遷	6	富樫 敏郎
転送・返送・紛来 etc.	3	石川 勝己
東京市内無集配局丸一印	2	上遠野 義久
東京・深川局の機械日付印 1921-1945	3	鎌倉 達敏

展示作品は現時点の予定であり変更の可能性があります。



STAMPEX JAPAN 2022

NATIONAL PHILATELIC EXHIBITION
AT THE POSTAL MUSEUM JAPAN TOKYO SKYTREE TOWN SORAMACHI



全国切手展 スタンペックスジャパン 3年連続の開催が決定

競争切手展は、欧州のフィラテリーから生まれ、世界の様々な国籍・人種のフィラテリストが参加する国際郵趣連盟(以下、F I P)の規範作りの下、永年に渡り進化し続けてきたフィラテリーの文化であり、審査競技です。

全国切手展「スタンペックスジャパン2022」は、この審査競技を適切に運用する競争切手展で、審査員の人選はじめ、我が国で開催される競争切手展の中で、F I Pの審査基準に最も準拠する度合いが高く、審査結果が世界的に通用する競争切手展です。また、出品者への適切なフィードバックを通じてコレクションの発展に寄与することを目指すことも、本展覧会の特徴の一つです。

(以上、スタンペックスジャパン2022のIREXより)

国内展で高評価を得た作品を国際切手展に出品し、思いがけない結果に落胆された経験をお持ちの方もおられるのではないのでしょうか？出品されるのであればそのような失望を防ぐ意味でも世界切手展基準の作品を準備したいものです。

全国切手展「スタンペックスジャパン 2022」では、審査及びクリティークを通じて、世界的に通用する作品を作る方法をご案内します。なお、綿密なクリティークを運営するため、展示作品は90フレーム程度に限定させていただいております。昨年よりも1割ほど少ない総量になりますので、国際展本番同様に、出品申込時点からご出品作品のアピールをお願いいたします。また、クリティークに参加しない場合は、本展覧会のメリットは半減します。スケジュールを今からご調整ください。

STAMPEX JAPAN 2022

NATIONAL PHILATELIC EXHIBITION
AT THE POSTAL MUSEUM JAPAN TOKYO SKYTREE TOWN SORAMACHI

展覧会の概要

名称：スタンペックスジャパン2022

会期：2022年3月26日(土)~28日(月) [3日間]

会場：郵政博物館 企画展示室（東京都墨田区・東京スカイツリータウン内）

規模：90 フレーム

主催：（特非）郵趣振興協会 /（公財）通信文化協会（郵政博物館）

協賛：スタンペディアプロジェクト

後援：カルトールセキュリティプリンティング社、切手市場、
（一社）全日本郵趣連合、（公財）日本郵趣協会

開催日時

3月26日(土) 10:30-16:30

3月27日(日) 10:30-16:30

3月28日(月) 10:30-16:30

*最終入場時刻：閉場時刻の30分前

主要スケジュール(予定)

(2021年)

- 12月21日 出品申込締切
- 12月27日 展示作品選定結果を出品申込者に郵送
- 12月27日 事前審査の開始

(2022年)

- 1月 1日 展示作品選定結果の発表(HP等)
- 2月 1日 出品料の振込期限
- 2月10日 搬入・搬出案内の送付(出品封筒・入場券の送付)
- 3月19日 作品搬入予定日
- 3月23日 設営開始(24日まで)
- 3月25日 審査
- 3月26日 結果発表
- 3月27日 クリティーク(午前中)
- 3月29日 撤去・作品返却



郵政博物館
POSTAL MUSEUM JAPAN

特定非営利活動法人

郵趣振興協会
Society for
Promoting Philately



主催者・審査委員長からのご挨拶

郵政博物館長 藤本 栄助

(公益財団法人 通信文化協会)

「STAMPEX JAPAN 2022」が開催となります。本年、新型コロナウイルス感染流行の中、新たな展示会のかたちを模索しつつ、「STAMPEX JAPAN2021」を開催いたしました。

開催当日までは、郵政博物館の企画展示室では狭すぎて物足りないのではないかと考えていましたが、ふたを開けてみれば、ちょうどいいフレーム数で見やすいという意見を数多くいただき、安心した次第でございます。

現在、切手展や展示会が開催されるようになりましたが、従前のような形のイベントと共に華々しく開催することは難しく、どこの団体も手探り状態での運営を余儀なくされています。今後はコロナ禍を見据えた切手展の開催を求められるのかもしれませんが。

「STAMPEX JAPAN」が未永く皆様に愛される切手展になるよう努力していきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



スタンベックスジャパン2022 審査委員長 佐藤 浩一

「PHILANIPPON 2021」の開催決定を契機に、「スタンベックスジャパン」は国内収集家の出品作品を国際的に通用するよう啓蒙することを目的に企画されました。

審査は主として FIP 登録審査員によるものとし、FIP 基準で審査される全国切手展として位置づけられており、クリティークを通して詳細なアドバイスを出品者に還元することとしています。

今年の開催は新型コロナウイルス感染拡大の影響のなかで十分な感染予防対策の基で開催され、「PHILANIPPON 2021」への出品作品の準備に役立つことができたものと考えております。来年まで新型コロナウイルス感染の影響が残るかは不明ですが、いずれにしても十分に感染予防の対策を取りながら「スタンベックスジャパン2022」を開催できるものと期待しています。

来年にはこれまでに延期されていた国際展が数多く開催される予定となっております。「PHILANIPPON 2021」の結果に満足できた方は更に上位のメダルを目指し、改善の余地ありとされた方は作品を改良され積極的に国際切手展に出品されるよう、「スタンベックスジャパン2022」への出品を有効に利用していただき、出品作品の最終調整を行う一助となるようお願いしております。

「スタンベックスジャパン」審査チームの目標は、出品作品が国際展でも同レベルの評価を得られるよう指導させていただくことですので、是非積極的に「スタンベックスジャパン2022」にご出品ください。



スタンペックスジャパン2022 実行委員長 斎 享

コロナ過において PHILANIPPON2021 は関係者方々の並々らぬ努力のおかげで、アジア国際展として開催され、成功裏に閉会いたしました。

ここ数年、郵趣の世界も変化しております。郵趣品を入手するのは、以前は国内オークション誌が主体でしたが、パソコンの普及によりヤフーオークションやオンラインオークションが定着しました。海外の業者からも、Philasearch や ebay などを通じて、切手が入手しやすくなりました。

とはいえ、当然のことながら入手品だよりでは十分ではありません。国際切手展への出品には、展示技術が必要です。しかし、どのようにすべきか悩み、出品を尻込みする方も多いのではないのでしょうか。

スタンペックスジャパン 2022 は、今年も郵政博物館で開催されます。国際展審査員による対話、講評があり、納得するまで指導を受けることができます。国際展でレベルアップするための早道となり得る切手展ですので、参加する意義は大きいと思います。

私も MACAO 2018、CHINA2019 を通じて国際展に初めて参加しましたが、世界の収集家が一堂に集まり、これまでに経験したことのない世界が広がり、特別な時間を過ごすことができました。美味しい食事やショーを楽しむ表彰式では、仲間ができ、世界が平和になるように感じられ、素晴らしい切手展でした。

若い収集家や初めて出品する方には、国際展でより良い賞を取るための登竜門としてスタンペックスジャパンをお考えいただきたいと思います。是非この機会を利用し、国際展へ参加、参観することにより、コレクションの質を上げていただきたいと思います。



審査員 Jury



審査委員長 佐藤 浩一
Mr. SATO Koichi
FIP Jury, Jury President



審査員 設楽 光弘
Mr. SHITARA Mitsuhiro
FIP Jury



審査員 山崎 文雄
Mr. YAMASAKI Fumio
FIP Jury



審査員 吉田 敬
Mr. YOSHIDA Takashi

なお、本展覧会では、その趣旨を鑑み、クリティークについては FIP Jury より行います。



出品者への適切なフィードバックを通じて、コレクションの発展に寄与する 全国切手展「スタンベックスジャパン2022」作品募集要綱

(特非)郵趣振興協会/(公財)通信文化協会(郵政博物館)

競争切手展は、欧州のフィラテリーから生まれ、世界の様々な国籍・人種のフィラテリストが参加する国際郵趣連盟(以下、F I P)の規範作りの下、永年に渡り進化し続けてきたフィラテリーの文化であり、審査競技です。

全国切手展「スタンベックスジャパン2022(以下、本展覧会)」は、この審査競技を適切に運用する競争切手展で、審査員の人選はじめ、我が国で開催される競争切手展の中で、F I Pの審査基準に最も準拠する度合いが高く、審査結果が世界的に通用する競争切手展です。また、出品者への適切なフィードバックを通じてコレクションの発展に寄与することを目指すことも、本展覧会の特徴の一つです。

つきましては、以下の要領により、皆様からの競争出品を募集いたしますので、ふるってご応募ください。

1. 実施

会期:2022年3月26日(土)～28日(月)(3日間)
会場:郵政博物館(東京都墨田区・東京スカイツリータウン内)
規模:90フレーム
主催:(特非)郵趣振興協会/(公財)通信文化協会(郵政博物館)
協賛:スタンベディアプロジェクト
後援:カルトールセキュリティプリンティング社、切手市場、(一社)全日本郵趣連合、
(公財)日本郵趣協会(いずれも申請中)

2. 審査体制

審査は、F I Pの定める国際切手展の審査基準(以下F I Pルール*1)に準拠して行い、各出品作品に得点を与えます。これを実現する為に、主催者は、世界的に通用するF I Pルールの理解と運用に優れた人物を審査委員長として招聘することに注力する事とします。また、審査委員長が決定した後は、審査業務ならびに審査員の選任は後述する審査委員会に一任し、審査業務に関する、審査委員会の独立を妨げないものとします。

審査委員長は、第4項の部門の審査資格を持つF I P登録審査員を中心に、審査員の人選を行い、審査委員会を組織します。審査の方式、賞の決定については、現在の世界での競争切手展の潮流に従ったものとなる前提で、審査委員長がその運用を決定します。

なお、現在世界で開催されている国際切手展の出品資格の1つは、『F I Pルールに準拠して開催される全国切手展で75点以上を獲得すること』です。本展覧会で75点以上を獲得した作品は、それに該当することとなり、国際切手展への出品資格を獲得します

*1 本展においては、以下の規則になります。

GREX, SREV 伝統郵趣, SREV 郵便史, SREV ステーションナリー

3. 授賞の概要

審査得点に応じて、それぞれ、大金(90点以上)、金(85点以上)、大金銀(80点以上)、金銀(75点以上)、大銀(70点以上)、銀(65点以上)、銀銅(60点以上)、銅(55点以上)の各賞を授与します。

また、大金賞受賞作品の内の一作品にグランプリを授与することがある他、特に優秀な出品作品には特別賞を授与することがあります。

4. 出品部門

- 第1部門 伝統郵趣
- 第2部門 郵便史
- 第3部門 ステーションナリー

5. フレームの割当数と出品料およびリーフサイズ

- ・フレームの割当数: 5または8フレームです。
- ・出品料は、1フレームあたり3,000円です。
- ・(特非)郵趣振興協会の2021年度賛助会員には1フレームあたり1,700円の特別出品料が適用されます。
- ・第7項で後述する展示作品の決定後、出品料支払いの詳細を連絡します。なお、支払期限は2月1日です。
- ・リーフサイズは自由ですが、切手コレクション展示パネルの1フレームの大きさは横98cm×縦123cmですので、その範囲におさまるように作品を作成してください。

6. 出品規約と出品申込

出品申込に際しては、所定の出品申込書に必要事項を記載の上、タイトルリーフを含む2リーフをカラーコピーもしくはメール添付画像と共に、本展覧会の出品申込書の送付先にお送りください。

出品申込書の送付先 (各種お問合せ先)

- | | |
|--------|-------------------------------|
| ・電子メール | info@kitte.com |
| ・ファクス | 03-6700-1585 |
| ・郵便 | 102-0083 海事ビル内郵便局留置
郵趣振興協会 |

なお出品申込書に記載の通り、出品申込書の提出を以て、本作品募集要項の記載内容に従うことを承諾したものと見なします。

出品申込の受付期間は2021年11月1日(月)～2021年12月21日(火)です。

7. 展示作品の選定および選定結果の通知

本展覧会の規模は90フレームと小さい為、出品申込された作品を、全て展示することは困難な可能性が高いと思われます。この為、実行委員会では、出品申込の受付期間終了後に、出品申込時に提出された書類等を下し、展示作品の選定を行います。

展示作品の選定結果は、2022年1月1日に当協会のホームページで発表しますが、それに先立ち、全ての出品申込者に郵便等で結果をご連絡します。

なお、選定の結果展示いただけない作品に対する理由開示は、一切行いません。また、出品申込が受理された場合の展示キャンセルは、原則として受け付けません。

定期購読されている方には、9月に機関紙と共に、「スタンベックスジャパン2022」出品用紙を同梱しています。作品募集要綱をご覧の上、ご利用ください。

8. 展示作品の搬入と展示作業および展示作品のセキュリティ

- ・第7項で展示が認められた出品申込者には、本展覧会専用の出品物提出用の封筒(以下、出品封筒)を交付します。出品物は、この封筒に入れて提出してください。
- ・出品物に取り外し可能な保護カバーをつけ、各リーフの表面右下に展示順の番号を記してください。
- ・作品の搬入は、郵送と郵政博物館への持参で受け付けます。詳細は出品封筒の送付時にご案内申し上げますが、現時点では、以下の通り予定しております。

郵送による作品の送付(予定)

2022年3月19日(土)午前中を配達指定日時とし
日本郵便のゆうパックにてお送りください

持参による作品の搬入(予定)

2022年3月19日(土)午前中にご持参ください

送付先・持参先

131-8139 墨田区押上1-1-2
東京スカイツリータウン・ソラマチ9階
郵政博物館 スタンパックス係

- ・会期中の作品のセキュリティについて相応の対策を講じます。作品の輸送時、保管時、会期中の展示・撤去の際のマテリアルの紛失・汚損などについては責任を負いません。出品物の保険については出品者個人の責任と負担において付保するものとします。
- ・物理的に切手コレクション展示パネルに格納できない作品(厚すぎるリーフ含めて)やF1Pルール上禁止されている黒色ないしは濃色のリーフが含まれている作品は、その一部もしくは全部の展示を中止します。なお、これ以外にも主催者は理由を開示することなく、出品作品の展示を拒否する等の権限を有しますが、展示されなかった場合も出品料は返却されません。
- ・グロッチを過ぎて到着した作品は審査の対象外となります。作品未着の場合、出品料は返金されません。

9. 作品の返却

作品は、3月29日夕方に返却します。予め引取を希望された方以外は、実行委員会指定の梱包で着払いセキュリティゆうパックにて出品者指定の郵送先に返送します。搬入時の出品物封筒以外の個人的な梱包等は、主催者の判断により廃棄することがあります。

10. 審査結果の発表と授賞式

展示作品は、審査委員会が会期前に審査を行った上で、開場までに賞を各作品の第1フレーム左上に表示致します。

枝点を含めた審査結果は、同会場で配布すると共に、ホームページで発表します。

授賞式は、現時点では予定しておりません。

11. クリエーティブ

クリエイティブは『審査員との対話』と和訳されることもあります。出品者が本展覧会に競争出品した作品に関し、直接、審査員から個別に今後の改善点等について助言を受ける機会です。

『出品者への適切なフィードバックを通じ、コレクションの発展に寄与することを目指す本展覧会では、このクリエイティブを最も重要な行事の一つと考えています。

クリエイティブは会期2日目の開場時刻30分後に開始することが現時点で決定しています。会場へお越しいただけない出品者に対しては、ビデオ会議サービスを通じたクリエイティブも提供予定ですので、全ての出品者に、必ずご参加いただきたいと考えています。

クリエイティブでは『世界で開催されるFIP登録審査員により審査される国際切手展で上位の賞を獲得できる為に、どのような点を改善すれば良いか』について、審査委員会より、国際展の潮流を踏まえてお話ししていただきます。

この点を踏まえた上での質問・相談に対しては審査員は、原則として、時間を限定せずに対応いたしますので、疑問点などは予め準備して臨むことをおすすめいたします。

クリエイティブは、出品者以外の参観も許可しますが審査員が認める場合を除き私語を禁止します。また、主催者以外によるクリエイティブの動画撮影は禁止します。

なお、クリエイティブは、原則として会場で対面を実施を計画しておりますが、感染症の流行状況に応じて、ビデオ会議サービスや書面等に代替することがあります事をご了承ください。

12. 出品者の個人情報の取扱、作品の撮影・掲載

出品者の個人情報、法令により開示を求められた場合を除き、出品者の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。ただし、出品目録ならびに受賞リスト等には、審査結果に加えて、氏名・住所(都道府県名まで)を掲載しますので、ご了承ください。

世界の競争切手展において、フラッシュを使用しない作品の撮影は、参観者に許されており、本展覧会もその運用を踏襲します。また、出品受付時にご提出いただいたタイトルリーフを含むページのコピーは、展覧会のPRを目的として、本展覧会の目録等に掲載すると共に、ホームページを通じて、主催者以外の方がダウンロードしご利用いただけるようにします。

会期中には、ご来場いただけない方を対象に、オンライン会議サービスや動画配信サービスを利用した、作品紹介を行います。この用途に供する為、展示作品は全ページを撮影・スキャンします。PDFダウンロードなどのサービスは提供しませんが、オンライン会議サービスでは全ページが紹介されますので、ご了解ください。

13. COVID-19の流行に伴い開催を中止した場合の対応

COVID-19の流行状況によっては、主催者は、本展覧会の一部ないし全部について、中止の決定を行うことがあります。

展覧会の開催を中止した場合の出品料の取り扱いについては下記の通りとします。(1)FIP登録審査員による審査並びに書面等によるクリエイティブまでを主催者が提供でき、出品者がそれを希望する場合:20%返金。(2)前二項を主催者が提供できない場合、もしくはそれを希望しない出品者への対応:100%返金

Q&A よくある質問

Q1 スタンパックスジャパンへの出品物の記述言語は英語でなければダメですか?

A1 日本語だけで記述して頂いた作品もご出品を歓迎します。

Q2 スタンパックスジャパンに出品し、初めて金銀賞以上の審査結果を得た場合、国際展への出品資格を得られますか?

A2 はい。スタンパックスジャパンは全国切手展ですので金銀賞以上の作品は資格を得ます。

Q3 スタンパックスジャパン2021の開催時に、国際展向けのリーフ作りに関してWEBセミナーを行ったと伺いました。今年もセミナーは予定していますか?

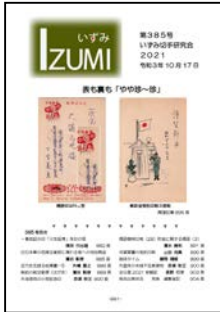
A3 前回行ったWEBセミナーの内、普遍性のあるプログラムについては、近日スタンパックスジャパンへのご出品をお考えの方にご提供予定です。詳細はホームページでご案内申し上げます。

サブスク購入できる

郵趣雑誌の発行者等を応援するページ

2021年9月～2021年11月

IZUMI (発行：いずみ切手研究会)



385号を発行(10/17) 事故証示印「川支延滞」朱印の怪(篠田 日出雄) 旧日本軍の危険な業務に携わる者への特別賜金(濱谷 彰彦) 近代史を語る記念絵葉書-5(矢嶋 基之) 外地使用の小型記念印(赤須 秋王) 年賀葉書の受託印刷(山田 克興) 標語機械印考(28) 貯金に関する標語(3)(清水 勝利) 全日展 2021 参観記(長野 行洋) ほか

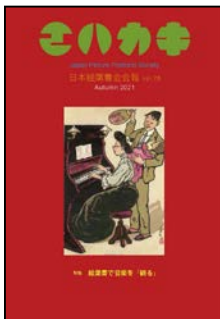
「いずみ切手研究会」例会案内	
例会開催日	原則として第3日曜日 午前9時-12時
会場	練馬区立勤労福祉会館(大泉学園駅近)
向こう三ヶ月の例会日	12/19, 1/16, 2/20, 3/20
例会参加資格	会員限定(ダウンロード権利のみでは参加できません)

最近の情報 (発行：小判振舞処)



204号を発行(6/15) 在朝鮮(韓国)木浦郵便局の丸一型日付印(桑原康雄) 小判切手プルーフのセットを入手して(1)(田畑 裕司) 縦書丸一印の郵便誤用(平尾 勉) 長崎クロスロード印について(城野 隆二) 印紙と切手の誤用(梅原 徹) JAPEX 2020 作品「黒1銭」(3) 近辻 喜一 サンフランシスコの思い出-20(最終回)(長谷川 純) ほか

エハカキ (発行：日本絵葉書会)



78号を発行(9/25) 特集 絵葉書で音楽を「観る」(石戸 信也) 絵葉書をより愉しむために(十四)(高尾 均) 私の小早川秋聲(十一)(松竹 京子) 石橋(六)(林 丈二) ほか

郵便仙台（発行：仙台郵便会）



250号を発行(10/10) エコー葉書の発売40周年(ホテル仙台プラザ)(横山 裕三) 切手に登場した歴史上の女たち(17)(中島 斉) 詩と音楽(17)(佐々木 克夫) グリーンランド切手の話題(その2) 1938年シリーズ(その1)(小野寺 剛) 第1次国立公園切手(23)(池田 駿介) 左書き櫛型鉄道郵便印の最初期使用(飯澤 達男) 宮城県の記番印-6 コニ三号~二四号 鈴木紀男氏のコレクションから(小関 幸生) 二つ折りはがき(8)(斎 享) 日本国際切手展2021の報告(編集部) ほか

「仙台郵便会」例会案内

例会開催日時	COVID-19の影響もあり、会場や時間が定まりません。参加希望者は torusai2@yahoo.co.jp までお問い合わせください。
会場	
向こう三ヶ月の例会日	(上記の通り)
例会参加資格	会員限定(ダウンロード会員も参加できます)

切手の友会報（発行：切手の友）



9月号を発行(9/12)ふみの日の84円切手と新四ツ木郵便局(飯野 明) 定額小為替証書及び受領証書(2)(竹之内 康雄) 記念カバー作りはそう簡単ではなかった(友田 淳治) 東京中央局の証紙発行機(友田 淳治) 聖火リレー小型印押印願末(友田 淳治) 都営交通 110年小型印押印の反省(友田 淳治) ほか

10月号を発行(10/10) 定額小為替証書及び受領証書(3)(竹之内 康雄) 東京メトロの手書きの領収書(飯野 明) JPS 航空郵便研究会展 2021(友田 淳治) 駅弁の包装紙を集める相撲の行司(友田 淳治) 飽きまへんな、京都は(友田 淳治) 山来さんの9月例会報告 ほか

11月号を発行(11/14) NIVEA の缶(飯野 明) 定額小為替証書及び受領証書(4)(竹之内 康雄) 77周年計画(縄 美津恵) 大阪旅行(友田 淳治) 美術の秋 新潟巡遊(友田 淳治) 新しい国際返信切手券(友田 淳治) ほか

予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず、全て急遽中止・変更される可能性があります。
ご参加にあたっては、各主催者が提供する一次情報(ホームページや代表電話)を確認の上、ご参加ください。

家にいながら、同好の士との例会に参加できます オンライン郵趣例会の主催者を応援するページ

特定非営利活動法人 郵趣振興協会
オンライン郵趣例会振興プロジェクト

当協会では、2020年6月より、オンライン郵趣例会振興プロジェクト（担当事務：斎享）を設け、オンライン郵趣例会の技術・マーケティング支援を行って参りました。今回から、本ページを設けて、各例会の今の動向をお伝えすると共に、参加方法についてご紹介していきたいと思います。

日本切手研究会 オンライン例会（代表者：横山 裕三 氏）

日本のオンライン郵趣例会で、2番目に古く、2020年5月に第一回例会を開催した。代表者の横山氏が司会をつとめ、毎回15人程度が参加する。

11月から、毎回最初の30分を、田畑 裕司氏による旧小判切手の講演に充てる例会運営がはじまり、同分野を収集しない人にも好評を博している。講演の終了後は、発表希望者に順に司会者が割り振りをを行い、最近の入手物、自分のコレクション、質問したいマテリアルの紹介など、さまざまな話題を参加者で共有している。毎回一時間半ほど。

旧小判切手の講演を行う田畑裕司さん

日本切手研究会
今後のオンライン例会の予定日 → 12/12, 26, 1/9, 23,
[第2, 4日曜日 21時] 2/13, 27, 3/13, 27

南方占領地切手コレクターズクラブ オンライン例会（代表者：守川 環 氏）

郵政博物館で毎年、南方展を開催している郵趣サークルによるオンライン郵趣例会。現在、月一で90分の例会を開催している。

比留間 晃則氏がコーディネーターをつとめているほか、三木 和也氏が例会内容報告のブログ発信を継続して行っている為、どのような内容が例会で話されていたか、見る事ができる。代表者の守川氏は南方切手に関する鑑定もでき、初心者への参加も歓迎している為、とっつきにくいと感じがちな南方切手に関心のあるひとは是非参加してみたいはいかがだろうか？

南方占領地切手コレクターズクラブ 今後のオンライン例会の予定日 → [第4水曜日 20 時]	12/22, 1/26, 2/23, 3/23
---	--

外国切手研究会 オンライン例会（代表者：槇原 晃二 氏）

日本のオンライン郵趣例会で最も古く、2020年4月に第一回例会を開催した。研究会の中での分業が進み、1人に負担がかからない様な運営がされており、例会の司会と内容報告のブログ発信は、主に木戸 裕介氏と北野 雅利氏により行われている。この工夫により開催された例会の数はすでに76回を数え、今なお月2回10-15名の参加者で例会は賑わっている。

2013年から毎年一回開催されるミニ切手展である『ヨーロッパ切手展』（今年は9月に郵政博物館で開催）の主催やオフライン例会の開催にも積極的な切手サークルで、オンライン例会は毎回一時間半ほどだが、盛り上がると二時間近いこともある。

外国切手研究会 今後のオンライン例会の予定日 → [第1,3土曜日 20 時]	12/18, 1/1, 15 2/5, 19 3/5, 19
--	---

昭和切手研究会 オンライン例会（代表者：斎 享 氏）

日本切手研究会からスピンアウトした専門例会で、昭和切手・新昭和切手及び同時代の郵便史を取り扱う。毎回10人前後が参加しており、各人が気軽に発表しているが、あわせて9月から、毎回最初を講演にあてており、「第1次昭和切手コレクションフレーム別解説（菊地恵実さん）」と「昭和切手・額面別解説（伊藤純英さん）」の2講演が現在、第3回まで進んで行われている。

昭和切手研究会 今後のオンライン例会の予定日 → [第3日曜日 21 時]	12/19, 1/16 2/20 3/20
--	--

[編集部注] ご紹介している各オンライン郵趣例会は、いずれも参加を幅広く募集しているオープンなサークルで、参加にあたり費用もかかりません。参加希望者は代表者に直接連絡をとるか、もしくは各団体を支援している郵趣振興協会 info@kitte.com までお問い合わせください。

日本郵船会社 内国航路 横浜－神戸－赤間関

横浜神戸, 神戸赤間関海上通送

海上通送

東京横浜毎日新聞 18.12.17 ○明18日前11時30分本局締切り和歌ノ浦丸を以て神戸へ向け
右郵便差立候事 18年12月 駅通局。日本郵船会社船横浜 和歌ノ浦丸神戸行 18日
后4時。大阪朝日新聞『12月20日后5時25分伊勢丸赤間関へ 大阪郵便局』



差立・東京芝口ボタ N3B3S 18.12.17ル

中継・赤間関 N3B3 18.12.22ハ 到着・長門豊浦 KG 12.23

明治18年12月 和歌ノ浦丸 横浜神戸間 伊勢丸 神戸赤間関間

東京…鉄道…横 浜～海上～神 戸～海上～赤間関－關－長門豊浦

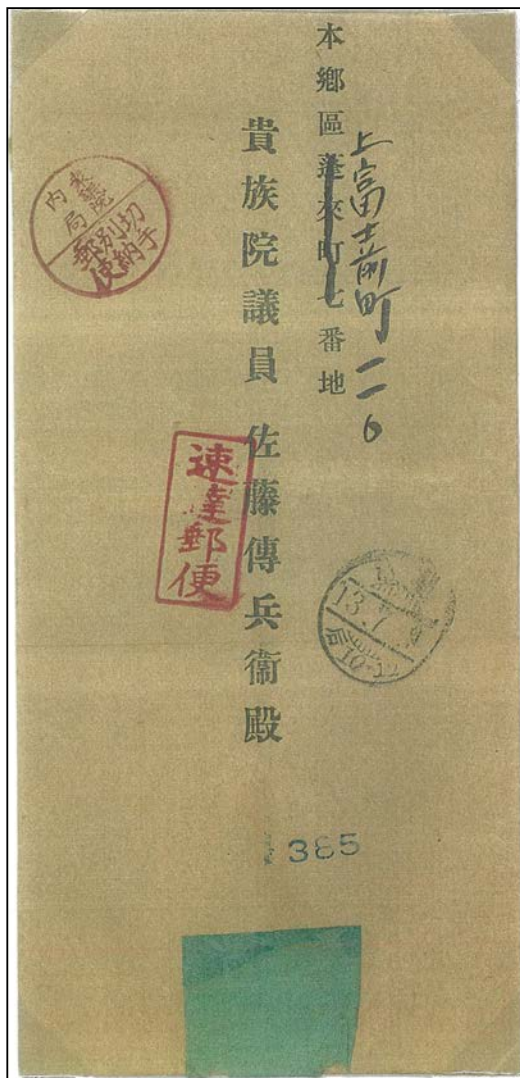
私の発見・私の報告

緑色貼付の速達郵便（追加）

遠藤 浩二

2021 年第 30 号の行徳国広氏の記事について追加データを提供します。

小林富士夫氏のデータ、つまり『衆議院内局 切手別納ゴム印、第 1 種無封 2 銭 + 速達 6 銭、到着印「駒込」大正 13 年 7 月 8 日后 10-12、ナンバリング 371』と酷似し、到着印のデータが大正 13 年 7 月 9 日后 10-12 で、ナンバリング 385 となっております。



衆議院内（切手別納ゴム印）到着印 駒込 大正 13 年 7 月 9 日 ナンバリング 385

私の発見・私の報告

和欧文機械印トピックス（読者報告）

3期逆波新局発見

水谷 行秀

和欧文機械印トピックス第68回にて3期の逆波について紹介した。そこでは3期の逆波は 3期初日の5局（札幌中央・青森西・水戸中央・武蔵野・江戸川）しか確認していないことをお伝えした。今回新たな局のデータの報告があったので紹介したい。

報告者は「全日本現行丸形機械印研究会報」を出されている白鳥信行氏。この11号（2021年11月15日発行）に 逆波和欧文の新データがリストされていたため問い合わせ、画像を確認したところ 3期逆波の新データであることを確認したので紹介したい。

データは静岡南 92.12.22 である。波が1本しかカバー上に掛かってはいないが、局名部との間に波の痕跡がないことと、その1本と局名部との間隔が通常の1本目とも2本目とも異なること、他の逆波のものと間隔が一致することから逆波と確信した。またこれは驚くことに初日ではなく使用開始後2年経ってからの物である。

ちなみに「全日本現行丸形機械印研究会報」はほぼ毎月紙媒体ではなくメールにて 配信される。ご興味のある方は氏へ問い合わせてみてはいかがであろうか。有難いことに会費は無料である。

メールアドレス：swan@jcom.zaq.ne.jp





[コラム] 今更聞けないフィラテリー (18)

リーフ作りに適したパソコンのディスプレイ

編集部まとめ

縦向きリーフ作りに適さない普通のパソコンのディスプレイ

日本で開催される国際展に関する特集が多かった為か、編集部や当誌スタッフには、秋口から、リーフ作りに関するご質問が相次いでいます。その中に「リーフが全部 W リーフで驚きでしかないのですが、リーフ作りに使っているパソコンはデスクトップですか。私は、ノートパソコンで四苦八苦しなが作っていて、できれば W リーフは作りたくないのですが。ご使用のパソコンがデスクトップかノートか教えてください。」というご質問がありました。

リーフ作りに適するパソコンを論じるには、ノートかデスクトップか以前にまずディスプレイ(解像度やサイズ等)を考えるべきです。

というのは大抵のパソコンは横向き長方形のディスプレイであり、フィラテリストが主に作る縦向き長方形のリーフを編集しようとすると、右図のようにリーフの上半分しか映らない画面になってしまうからです。

サイズの小さなモニターでも、画面表示の拡大・縮小は可能です。縮小表示して全体のレイアウトを見比べた後に、拡大表示してリーフへの説明文章を執筆することも可能ですが、この縮小・拡大の切り替えは思ったよりも面倒臭く、それがご質問者の言う「四苦八苦しなが作る」ということなのだと思います。

何しろ手書きリーフであれば、全体を見ながら文字を書くことができた訳ですから、この感覚は普通のことだと思います。

一つの数字をあげるならば、ディスプレイの縦方向の解像度が1440、高さが40cmを越えればかなり使い勝手は楽になります。

従って、携帯性も要素の一つであるノートパソコンで、このスペックを満たすものに会うことはあまり考えない方が良いでしょう。

また、デスクトップパソコンでも、大き目のディスプレイが必要になります。「ディスプレイにそこまで支払えない」「設置スペース的に厳しい」という方も多いと思います。



ノート PC でリーフ作りをすると、上半分しか見えない、もしくは非常に小さくしか表示できない。



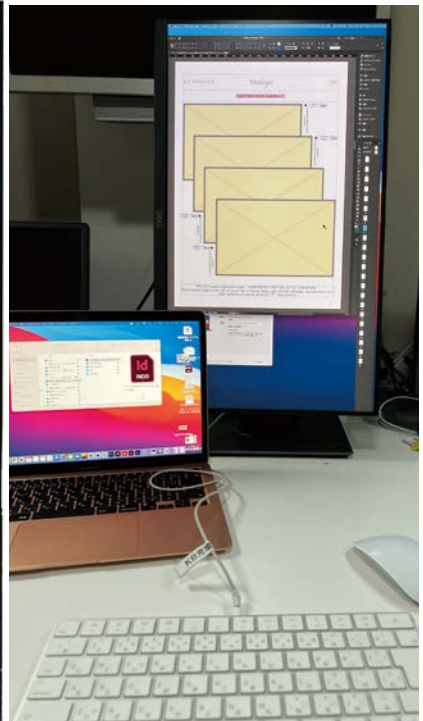
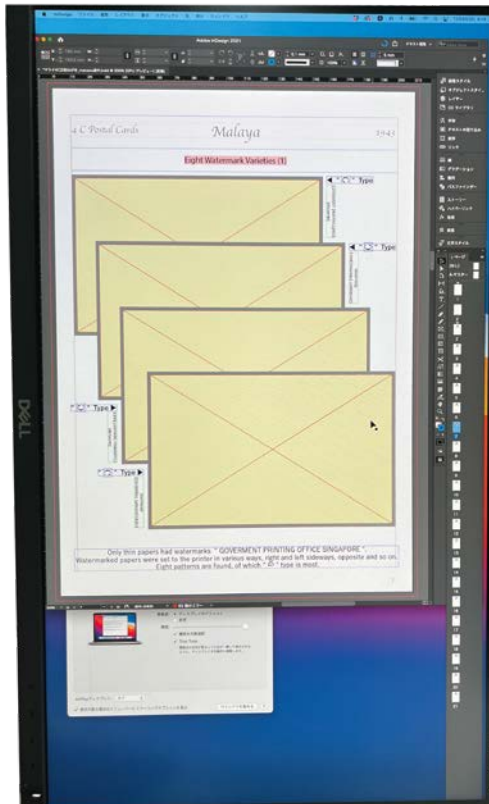
大型ディスプレイだとリーフ全量を楽々表示できる

「ディスプレイ縦おき」というコペルニクスの発想

そこでデスクトップ、ノートパソコンに関わらず考えてみたいのが、縦向きディスプレイとの接続です。スマートフォンの画面が回転することは多くの方が知っていると思います。これはパソコンのピボット機能（画面を回転してディスプレイに出力する技術）を応用したもので、実はディスプレイを縦置きしてリーフ作りをすることは、今から何年も前に可能でした。

ただ、ソフト側の設定やPC・モニターの相性・価格などの問題があり、ITに詳しいごく一部の人の普及にとどまっていたのが実情です。しかし、諸々の問題も少しずつ解決して、最近是一般の方でも使用する方が多くなってきました。量販店に回転ディスプレイコーナーが設置されることもあり、店頭でご覧になった方も多いのではないでしょうか。

なんといっても価格が安くなったのは大きなポイントで、以下で紹介するディスプレイ（DELL P2418D）の価格は、23,800円（税込、Amazon）でした。



ノートパソコンに縦向きディスプレイを繋いだところ、お好みでキーボードやマウスも接続可

購入にあたり気をつけたい最大のポイントは、手持ちのパソコンと接続ができるかという点です。ディスプレイ側は汎用的になり、新しいパソコンであれば、Mac、Windows 問わず接続可能なケースが多いようで、その場合の出費はディスプレイ本体とHDMIケーブル（数千円）だけです。

しかしながら、HDMIケーブル出力端子が付属していないほどパソコンが古かったり、OSを最新バージョンに更新できないパソコンをご使用の場合は、接続性が要注意です。いずれにしても、購入に当たっては、手持ちパソコンとの接続が可能か、回転使用が可能かを店員さんに確認した上でのご購入をお勧めします。



連載 クラシック切手 (15) プロイセン王国

1850 一番切手 ½ Sgr.

外国切手研究会

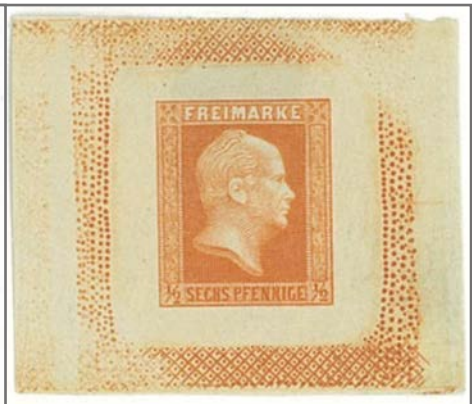
吉田 敬

1850.11.15 ½, 1, 2, 3 Sgr. の4額面を発行

ドイツ・ステーツで3番目の切手発行国であるプロイセン王国は、1850年の切手発行開始にあたり、3区分の距離制郵便料金に対応する額面である、1, 2, 3 Sgr. (シルバークロツシェン) に加えて、いずれも ½ Sgr. だった「市内便」「印刷物」「地方における配達オプション費」「Money Order 費」の前納目的で額面 ½ Sgr. の切手を発行しました。

なお、1 Sgr. = 12 Pfg. (ペニヒ) であり、½ Sgr. は即ち、6 Pfg. でしたので、切手の意匠下部にはドイツ語で SECHS PFENNIGE (6 ペニヒ) とあらわされています。

この切手をはじめとする一番シリーズ5種類は凹版で製造され、そのエッセイ (下図左) とダイプルーフ (下図右) をご紹介します。



印刷版に DIE は横 10 枚縦 15 枚の 150 回転写され、右図のようなシートを刷る印刷版が3版作られました。明示的な相違点として、pos.80 の右に版番号が表示され、Pl.7, 8, 11 の3種類が存在します (右ページ下部に全種類を紹介)。

用紙は、月桂樹透かし入り白紙 (右図) が当初は用いられていましたが、1859年になると、透かしなし用紙に切り替えられ、1861年10月に図案改正されるまで発行されました。透かしなし切手の方は、ドイツの慣習では3番シリーズに含まれます。

1864年と1873年にリプリントが作られています、紙の収縮の関係でしょうか？印面サイズの測定により区分が可能です。





印面横幅 (——) は、正規発行分は約 18.5 mm、リプリントは約 18.0 mm



版番号付き切手、左から順に Pl.7, Pl.8, Pl. 11

旧小判6銭のカラートライアルについて

田畑 裕司・井上 和幸

旧小判6銭のブルーフについては、ウッドワードが著書「大日本及全属国の郵便切手」の中で「第1試作切手は、10銭の青色で鳥の子紙で印刷され、1隅または他の隅に穿孔されていました」[1]と記載していたが、その青色系のブルーフの存在は長らく郵趣界に知られていなかった。

ところが、1点目が2005年4月16日終了のヤフーオークションに「旧小判6銭 ブルーフ？」として、四隅にパンチ穴がある青色系のブルーフが出品された。しかしながら、その後、この取引が小判切手専門収集家に話題になることもなかった。

そして、2点目がジャパン・スタンプ商会の第118回フロアオークション（日本国際切手展記念セール、2021年8月29日開催）に登場した。小判切手の超一級のコレクションが分割出品されたので、余り目立たなかったが、ロット番号2352「小判切手のブルーフ 6銭図案の鳥の子紙U小判5銭色 左辺パンチ穴2（左の上下）」がそれである。

6銭ブルーフ「うす青」



No.1 井上和幸蔵



No.2 田畑裕司蔵

6銭ブルーフ「うす青」の系譜

1点目（以下、No.1という。）は、ヤフーオークションへの出品者が地方在住の小判切手以外の分野における専門収集家であったが、それ以外のことは、入手経路を含め不明である。

一方、2点目（以下、No.2という。）は、1978年にロブソンローのアレンコレクションの売り立ての際、ロット 2019 に含まれていたものである。そのカラー図版は 45 銭印刷鑑の田型のみで、この時も注目がされていなかった。

Proofs	
2019	6s. yellow-buff, a marginal pair; 6s. <u>pale blue</u> , two corners curved, slight stains; 45s. block of four, two punched holes between the stamps; slight faults but fresh and very rare. Photo for 45s. S.F. 400

このロットを入手したのは榎哲朗氏で、1997年のサンフランシスコ国際切手展に出品の際タイトルページに使った後は、秘蔵されていたのであった。

なお、今回のジャパンの売り立てでは、一緒に出品されていた他のブルーフよりも、場で競ったので、その重要性に気が付いた人もいたと思われる。

6銭ブルーフ「うすだいたい」

ウッドワードは、なぜ「うす青」を「第1試作切手」としたのか、理由を記述していなかった。そして、「第1」とした以上「第2」の試作切手があるはずで、これが正式に発行された切手と同じ色調である右下の「うすだいたい」のブルーフを指すと思われる。



6銭（正式に発行された切手）



6銭ブルーフ「うすだいたい」

厚さ 100 ミクロン、印刷効果は良い

旧小判6銭切手には、エッセイが発見されている。これは、フレッチャー・コレクションの競売に含まれていたもので、駅逓寮が内務省に提出した発行伺い（明治8年8月8日）に添えられた祖絵図 [2] だという。これからしても、6銭の元々の発行計画では、薄い青色で刷られる予定であったことが分かる。つまり、ウッドワードが第1試作切手とした「うす青」のブルーフは、カラートライアルということになる。



旧小判 6 銭のエッセイ
稲葉良一氏蔵

6銭ブルーフ「うす青」の特徴

6銭の原版が落成したのは、明治9年2月[3]であり、正式発行が明治10年6月29日である。図案は、「うす青」及び「うすだいたい」のブルーフともに実際に発行された切手と同一である。

「うす青」及び「うすだいたい」の用紙は、印刷局抄紙部で漉かれた局紙と呼ばれるもので、越前の鳥の子紙の製造を習って抄造した三桧等を原料にした手漉厚紙である。そして、乙第1号用紙を明治9年4月に抄造し、完成の域に達したのが、明治10年2月17日とする記録が残っている[4]。「うすだいたい」のブルーフは、厚さ100ミクロンで極めて上質の用紙で印刷効果もよく、完成の域に達していた局紙、つまり、明治10年2月17日以降の印刷と言える。

No1は、GIBBONSのカラーキーでは「Light Blue」に相当する。パンチ穴が四隅にあり、用紙の厚さが65ミクロンと白色薄紙に近い薄さであり、普通の鳥の子のブルーフ紙とは明らかに違う感じである。両側の飾り部分は、No2よりもハッキリしていて印刷効果は良い。

No2は、GIBBONSのカラーキーでは「Pale Blue」に相当する。パンチ穴が左の上下隅にあり、用紙の厚さが130ミクロンと極めて厚いことから表面に皺も見られ、ほんのりとピンク味かった色をしており、右側の飾りの部分がつぶれている等、印刷効果も悪い。

以上のように、No1及びNo2ともに色調も微妙に異なり、用紙も試行錯誤の中で製造されたものに刷っていたもので、とても局紙が完成の域に達したとは言えないので、印刷時期は、明治10年2月17日より前であろう。

ブルーフの種類

ブルーフの種類には、大きく原版による試刷りのダイ・ブルーフと実用版による試刷りのプレート・ブルーフに分けられる。印刷鑑の45銭は80面シートなので、明らかにプレート・ブルーフではある。そして、20銭と30銭は36面シートで窓口シートと構成が異なるが、第2次原版から更に複製した田型実用素版を組み合わせたもので印刷されたので、広義のプレート・ブルーフになるだろう。

カラートライアルの場合、色調や原版の仕上がり具合を確認するのが目的であり、実用版が完成するまで試刷りの時期を待つ必要もない。そして、No1は四隅にパンチ穴があることやNo2は他のブルーフよりもマージンが広いことから、プレート・ブルーフではなく、ダイ・ブルーフ又は第2次原版によるダイ・ブルーフの可能性もある。

まとめ

旧小判6銭のブルーフ「うす青」については、今回、実際に発行された図案と同じで、かつ、エッセイと同系色のため、カラートライアルと特定できたことは大きな収穫である。現在、筆者らによって、旧小判6銭の2次原版のプレーティングについて調査が進められているので、今後はその結果によりブルーフの種類について考察を進めてまいりたい。

最後に、貴重な図版を提供していただいた稲葉 良一氏に厚く御礼を申し上げる。

参考文献

- [1] T・ウッドワード、杉浦孝明訳『大日本及全属国の郵便切手（完訳版）』、日本郵趣協会（1972年）
- [2] 澤まもる「小判切手のエッセ」、『フィラテリスト』（1969年10月）
- [3] 印刷局『印刷局沿革録』（1907年）
- [4] 澤護『小判切手』、エドワルド会（1974年）

オピニオン「第三次昭和と第一次新昭和」

安藤 源成

最近、「昭和切手研究会」オンライン郵趣例会に参加する様になり、久しぶりに「昭和切手」「新昭和切手」のアルバムを見る機会が増えた。そして一つの疑問が生じてきた、

今まで疑問に思わず切手カタログを信用していたが終戦後の郵便物を再度見直すと第三次昭和切手は昭和20年4月から21年4月までの約1年間に発売されて、20年4月1日からの郵便料金に適応されるはずであったが8月15日に終戦を迎え、9月2日に東京湾のミズリー号戦場で政府は連合国に降伏し文章に調印（APO 郵便開始）して太平洋戦争は終結したが郵便制度は続行されていた。

しかし、10月2日にマッカーサー元帥が率いる連合軍最高司令官司令部司令官（以後 GHQ）が東京に赴任し、政府の省庁は GHQ の配下となり、軍属は戦犯として捕らえられ、行政にかかわった幹部は追放され、農地解放。財閥解体、教育改革、選挙改革、新憲法草案等、戦後の日本の礎を創る基本が示され23年1月1日から GHQ の配下、新生日本が誕生するが GHQ の支配は当分続く。

郵便においても22年12月31日までは逓信省、23年1月1日からは郵政省に変はり、戦後の日本郵便制度が始まる。GHQ の意向により22年8月31日をもって軍国主義・神道等を表す切手・葉書は使用禁止となり、「大日本帝国」と表示された切手は姿を消し、左書きの「日本郵便」となった。

20年10月12日より日本国民の郵便物の「郵便検閲」が開始された。12月1日には「連合軍郵便」が開始され、米駐留軍は APO で母国に軍用機で運び、日本人宛郵便物は連合軍郵便として無料で日本郵便に託された。又、英連邦占領軍は自国の切手を用い、野戦局を設けて日本郵便とは一線を画した。（英連邦占領軍についての詳細は吉田敬の「英連邦占領軍切手」を参照してください。）

APO の意向を得て、郵便は新郵便法に基づく新切手を発行し使用させた。しかし。生き残った昭和切手・はがき等逓信省時代の切手も使用可能で新旧が混ざって使用され書状・葉書に複雑な面白い郵便物が多く残されていて我々郵趣家を楽しませてくれている。

従って、今まで第2次新昭和切手とされていた「五重塔 30 銭」・「数字 35 銭 /45 銭」・「炭坑夫 50 銭」・「前島 1 円」・「五重塔 1 円 20 銭」・「雁 4 円」・「捕鯨 5 円」・「螺鈿 19 円」・「能面 50 円」・「梅花 100 円」は逓信省の下に発行されたものであり、22年4月1日の郵便料金改正によるもので、23年に郵政省の下に発行したものとは区別できる。

即ち「大日本帝国 無目打」・「日本郵便 無目打」と「日本郵便 有目打」に分けて区別すべきである。そう主張する理由は以下の通りである。

- (1) 20年4月1日の料金改正に伴って、4月から発行された第3次昭和切手と称される切手と21年第1次新昭和切手は製造面が同じで、全ての切手は無目打である
- (2) 第一次新昭和切手の大部分と第2次新昭和は GHQ 意向を受けて逓信省が発行し、GHQ の意向で、第2次は平和的図案が描かれ、印面から「大日本帝国」は消滅し「日本郵便」となり第2次新昭和切手と称される切手には目打が施され区別できるが「数字 1 円 50 銭・3 円 80 銭」・「清瑞寺 2 円」・「螺鈿縦 10 円」は23年郵政省発行につき除外する。「日本郵便」は2月発売の五重塔 30 銭から左書きになる。

終戦前に南洋や東南アジアは連合軍に玉砕され、北方樺太・千島・北朝鮮はロシア軍に占領され自国の郵政に吸収された。支那は中華人民共和国に返還された。南朝鮮・臺灣・沖縄は大韓民国・中華民国臺灣・琉球が成立するまでは、日本同様に GHQ の配下で郵便は取り扱われた。（琉球の詳細は斎藤影男著「占領下・戦後初期沖縄郵便史」を参照下さい）。小笠原諸島は米軍に占領されたが詳細は全く分からない。

敗戦後の日本は当時、極端なインフレに見舞われて郵便料金も度々改正されて、昭和 20 年 4 月に書状 10 銭・葉書 5 銭であったものが 21 年 7 月と 22 年 1 月に料金が改正により 26 年 11 月には書状 10 円・葉書 5 円と 100 倍となった。戦後の歴史教育は明治までは教えるが、明治以降、特に大戦前後は教えないのが常である。これも GHQ の影響である。

この機会に手許に在る「鎌足 5 円」と「梅花 10 円」の 100 面シート白紙 (図 1・3) と粗紙 (図 2・4)、新昭和の「梅花 10 円 (図 5)・「能面 50 円」 (図 6)」「梅花 100 円 (図 7)」の 100 面シートを掲載します。

3 次と新 1 次民は民間で印刷されたので 3 次は「無銘版」であるが、新 1 次は通信省の計らいで民間が銘版を入れたが「梅花 10 円」「能面 50 円」「梅花 100 円の銘は 3 種 3 様まちまちである。

この当時の給与は正確には判らないが、ネットによると大手企業で働く、旧制中学卒、勤続 22 年で 366 円 18 銭が 1 月後に 802 円 84 銭に跳ね上がったことが記されている。平均 5、600 円としても一般蒐集家がこれらのシートが買える訳がない。現在、小生の手許に残っているのは一体誰が購入したのだろうか？通常には使道がない切手をなぜ発行したのか？鎌足 5 円や梅花 10 円は電話の加入権に多く使用させたが、この切手の電話加入権に使用されたのはあまり見ない。別納・後納郵便や私書函使用料金と思われ、単片・ブロックの使用済はあるが、多くは郵政省の払い下げが市場に出て来たからである。時に外国宛航空郵便にも使用されたのが見られるが極めて少ない。

本稿最終ページに昭和 20 年から 22 年までの関連事項をまとめたので示す。

結論として

1. 郵趣においては「戦前」「戦後」の区別を捨てて。戦時中の「通信省」は 9 月 2 日までと 22 年 12 月 31 までの「通信省」に別けて 23 年以降は「郵政省」に区別すべきと思う。
2. 第 3 次昭和と第 1 次新昭和は同一と思われるが「大日本帝国」と「日本郵便」・「有目打」と「無目打」に区別するべきと思う。
3. 日本の郵趣家が世界の国際展で活躍されている中で、残念乍ら日本の切手を世界に知ら占めるカタログが存在しない。小判・田沢等日本人にしか理解できない用語が飛び交っているが、国際展はギボンス・スコットを中心として、世界に共通するカタログの許に開催されているので日本も世界に愛され、親しまれる解りやすい英文のカタログが欲しい。特に郵政省誕生までの切手の分類は考慮して欲しい。
4. 終戦日から 22 年 12 月 31 日までは郵趣で「GHQ 通信省郵便」時代は未だ解明の余地がある。

以上、思いのままに記しました。



無目打鎌足 5円 (白紙)



無目打鐵足 5 円 (粗紙)



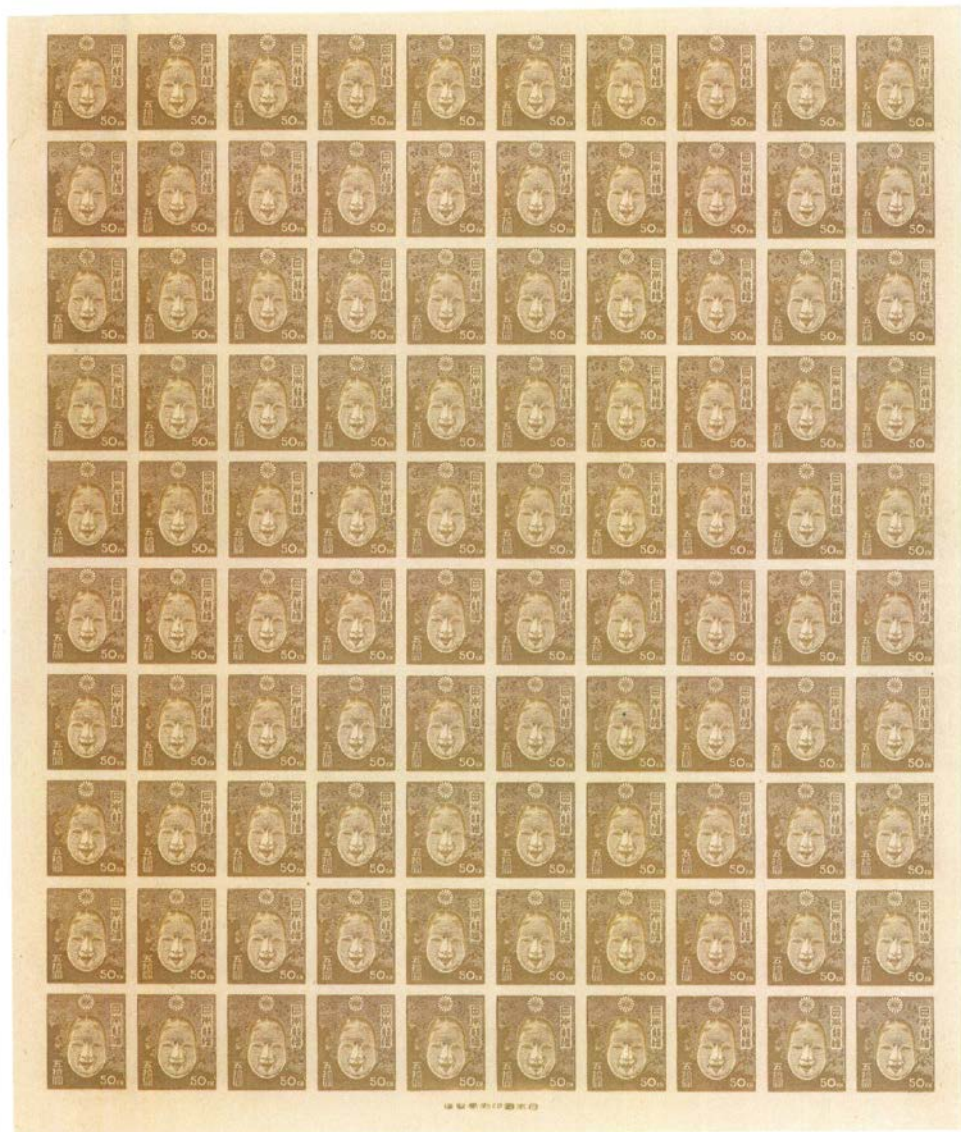
無目打梅花 10円「大日本帝国郵便」(白紙)



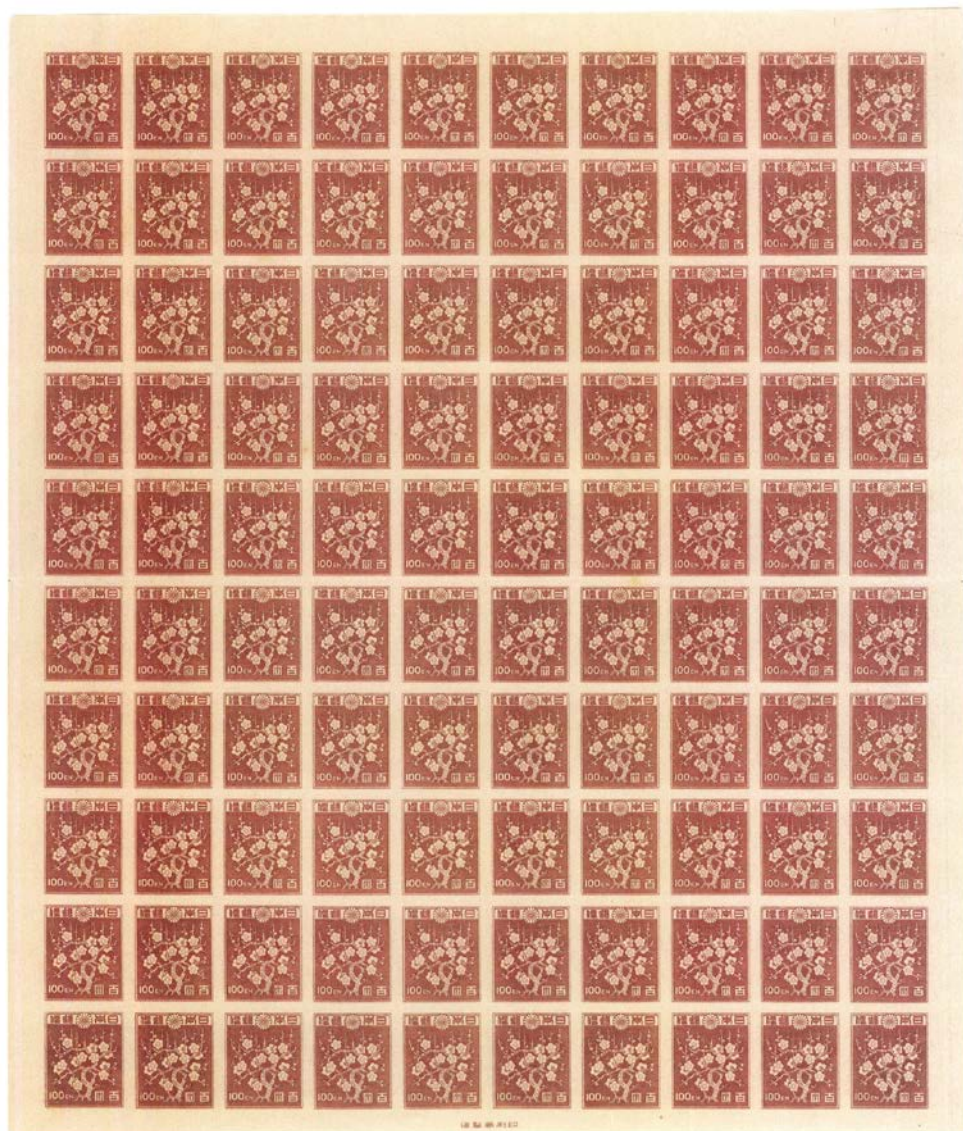
無目打梅花 10円「大日本帝国郵便」(粗紙)



無目打梅花10円「日本郵便」(銘版 左書き「印刷局製造」)



無目打能面 50円 (銘版 右書き「日本国印刷局製造」)



年月日	郵便関連事項	発行切手・葉書	一般
20.3.31.		☑ 楠公 5	
4.-1.	郵便料金改正	乃木 2・	
5.1			東京大空襲
5.1.	5.19. 郵便局を普通・特定・	敵国降伏 10	5. 7. ドイツ軍無条件降伏
8.1.	管理・鉄道に区分	盾と桜 3・戦闘機 5	
8.6、8.9.			広島・長崎 原爆投下
8.8.			ソ連軍宣戦國
8.14			ポツダム宣受諾
8.15.			戦争終結宣言
8.26.	10.26. 配達証明・内容証明復活		アメリカ軍上陸
8.30.			マツカーサー元帥来日
8.-.		鎌足 5, 梅花 10	
9.2.			降伏文書調印
10.12.	GHQ 郵便検閲開始		11.6. 財閥解体
10.31.	復員郵便開始	富士桜 10	12.6. 郵便労組結成
11.16.	連合軍郵便開始		12.9. 農地改革
12、1.			
12.15	公用郵便廃止	☑ 小型楠公 5	
12.21.			
21.2.23	軍事郵便廃止		
3.-.	5.13. GHQ 切手通貨の禁止図案指定	富士桜 20・宮島 30	3.3 物価統制令
4.15.	5.28. 女性局長任用	炭坑夫 50 靖国 1	4.10 総選挙女性議員誕生
7.20.	郵便料金改正	☑ 桜 5・15.	5.22. 吉田内閣誕生
7.25.	7.23. 旧外地宛改正		7.20. 全特郵便発足
8.1.		富士 1	6.26. 郵便貯金制限
8.10.	外国郵便再開・復員郵便廃止	五重塔 30	11.3. 日本国憲法布告
9.10.			
9.15.		雁 1.30.	
11.1.		能面 50	
118		前島 15	
11.15.	11.25. ソ連宛抑留者郵便開始	金魚 5	
11.20.		錦帯橋 1.50	
12.1.		清水寺 2	
12.12.		郵便創始 75	
22.1.15.	22.2.-「日本郵便」左書	梅花 100.	1.10. 公共労組スト宣言
	3.31. 無料選挙郵便	☑ 桜連合 15.	4. 1 6.3.3.4. 学制.
4.1.	郵便料金改正		
4.15		数字 35	4. 5. 第五回地方選挙
		☑ 瀬戸内聯合 50.	4.20. 参院選
5.1.		数字 45	4.25. 第 23 回総選挙
5、3.		憲法記念	日本国憲法施行
5、7.	第 12 回万国郵便大会 (GHQ 参加)		
5.15.		五重塔 1.2・螺鈿 10	
		東京切手展	
6.10/	8.28. 外国宛料金改正	☑ 稲束 50.	
7.-.		捕鯨 5	
8.10.		能面 50. 梅花 100	8.4. 最高裁発足
8.15.		民間貿易再開	
8.19.		京都切手展	
8.31.	軍国主義・神童道切手葉書禁止	前島 1	
9.1.		雁 4	
9.13.		司法保護	
10.25.		2 回国体	16.30. GAT 調印
11.1.		切手趣味週刊	
11.25.		共同募金	12.17. 警察法公布
11.27.		札幌切手展	12.22. 改正民放公布
12.12.	新郵便法公布		
23. 1. 1.	郵政省発足		

江戸時代の国際郵便（4）

慶応2年・イタリア王国

吉田 敬

江戸幕府が列強と締結した不平等条約は、安政五カ国条約（1858年）とも呼ばれます。ところで、この「五カ国」がどこかというのは中学入試の問題に出ることもあるほどです。正解はアメリカ、イギリス、フランス、オランダ、ロシアで、それぞれの国と「日●修好通商条約」を締結しました。

ところが日本が不平等条約である同類の修好通商条約を締結した相手はこの5カ国にとどまりません。本連載の第2回でも紹介しましたが、スイスは1864年に日瑞修好通商条約を締結し、この条約もやはり日本にとっての不平等条約でした。プロイセンもやはり日本との間に不平等条約を締結しています。

今回、紹介するイタリア王国は、1861年に統一されるまで長い間、ドイツ同様に領邦に別れていた国ですが、1866年8月25日（慶応2年7月16日）に日伊修好通商条約を締結し、日本との国交を始めます。右図はその150年後の2016年に発行された「日本イタリア国交150周年」記念切手です。



2016 日本イタリア国交 150 周年



MILANO 1866/11/5 → Alexandria 11/10 → Yokohama

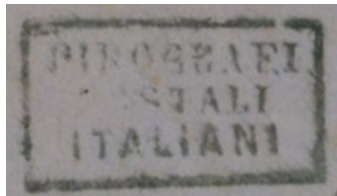
イタリアが日本との国交を開く動機は、蚕種及び良質な絹糸の輸入という目的があったと解釈されています。衣料産業の盛んな同国では、蚕の病気で養蚕業が危機に陥っていた為、蚕種や良質な絹糸の産出国と交易関係を締結し、ファッション産業の素材を確保することが、大きな課題となっていたからです。ちなみに、蚕の産地である群馬県へ初めて足を踏み入れた西洋人はイタリア人であると記録されています。

さて、このカバーは、日伊修好通商条約締結から約2ヶ月後のイタリア発横浜宛て書状ですので、日本・イタリア間の郵便物としてはかなり初期のものになります。

もっとも、条約締結以前にイタリア人が「条約の未済国人」として横浜などで活動することは不可能ではありませんでした。従って、このカバーより古い日伊コレスポンデンスが存在する可能性はまだあると私は考えています。ただ現時点で、その様なカバーは未確認です。

在日外国郵便局受発信のカバーは、だいた多く目にする様になりましたが、江戸時代に限定すると、どの国でもまだまだ少ないように思えます。在日外国郵便局を設置していたイギリス・フランス・米国以外になると、さらにハードルが上がります。

さて、カバー上の証示印を見てみましょう。書状左上には郵便船に関する黒の長方形印が押されています。



PIROSCAFI / POSTALI / ITALIANI
Italian Postal Steamships

イタリアの郵便史に関する資料を調べたところ、この印は 1867 年から 1872 年の間に、イタリアの Livorno 港に到着した郵便物ないしイタリアの郵便船内で押捺されたと簡潔に記載されているのを発見しましたが、本使用例はそれに先じる 1866 年の使用であることから、疑問がわきます。

また、ミラノ差出の後、イタリアと Alexandria の間の海上通送は、Genoa からだったのか？ Livorno からだったのか？はたまた違う港からだったのか？調べ甲斐のあるテーマです。

Alexandria までイタリア郵船で運搬された先はイタリア郵船は通っていません。横浜までのルートを運ぶために交換局である英国 Alexandria 局に引き渡され、同局の日付印が押されています。その先は英国船で運搬されたことが推測されますが、関連する日付印は押されていません。

ちなみに在横浜 英国郵便局は、開局当初は日付印を使用していませんでしたが、1866 年 9 月には導入済みであることが使用例上で確認されていますので、捺印はあってもおかしくありません。

郵便料金は、宛先地まで料金完納を示す「PD」赤印が押捺されている為、イタリアから日本までの郵便料金は 1 リラ 20 チェンテジミであったことが分かりますが、料金表で確認はできていません。

今後さらに江戸時代の日伊間コレスポンデンスの郵便物が見つければ、通送ルート（英国船、フランス船）選択の法則性も解明するのではないかと思います。

旧型凹版輪転印刷機の導入時期

昭和切手研究会

菊地 恵実

昭和切手研究会のオンライン例会に、毎回参加させて頂いています。先日(2021/11/21)で発表した内容に反響がありましたので、紙面で紹介させていただきます。

1949-1952年に発行された文化人切手は、全てが凹版印刷で発行された切手ですが、この一部の製造に、従来型の凹版印刷機(凹版速刷機)と異なる凹版輪転印刷機が導入されたことは、文化人切手の専門収集をされている宮崎幸二さんが研究発表され、作品も展示されておられるので、ご存知の方も多いかと存じます。

今回、例会で昭和切手作品の発表をするように、斎享会長からご依頼をいただき、作品発表にあたり家にある文献を調べていたところ「印刷機械と印刷製品」(小矢野皓夫、印刷朝陽会、2005)という単行本を持っている事に気づき、パラパラとめくっていたところ、次の記述(P.46-47引用)に目が止まりました。

4.1.3 凹版輪転印刷機 (rotary intaglio press)

① 旧型凹版輪転印刷機

1933年にわが国印刷局で始めて切手印刷用として輪転加圧方式の凹版印刷機が試作された。その概略は第28図の通りである。給紙板から差された紙は、前と横のゲージで位置決めされ、紙渡し胴の爪に咥えられ、さらに圧胴の爪に咥えられる。圧胴は版胴と接触しているので圧銅に咥えられた紙は紙送り胴を経て紙送り紐によって紙受台に運ばれる。一方、インキは着肉装置によって、版胴に取り付けられた版面に一様に着けられ、拭取り装置によって余剰インキを拭取る。着肉装置はインキ溝、インキ出し調節板、インキ着けローラからなり、インキ着けローラはラシャ布などでできていて、インキを版面に凹部深く詰め込むのに役立つ。また拭取り装置には2本の布または紙の巻取りがとりつけられ、拭取り部分を4箇所(4箇所)に設け、それぞれ粗拭き、中拭き、仕上げ拭きを行っている。この輪転印刷機の仕様は機械寸法が約124×490×263cm、版面最大寸法が250×317mm、印刷速度が25枚/分というものであった。

この頃の凹版切手は主として速刷機に頼っていたので、本機での切手製造は戦後になってからだった。最初の製品となったのは、1951年3月23日発行の文化人シリーズ、「内村鑑三」8円であった。その後「樋口一葉」、「森鷗外」、「菱田春草」などがこの機械で印刷された。

この単行本は 2005 年と割と新しい時期の発行であるにも関わらず、例会に参加されていたどの先輩方もご存知ない文献だったようです。旧型凹版輪転印刷機の印刷局への導入時期が 1933 年と明確に記述されているのは、私見では初めての確認であり、旧型凹版輪転印刷機が戦前から存在していたことが示されました。

この記述の中には、印刷局への導入（「試作」と表現）時期は 1933 年であったものの、「本機での切手製造は戦後になってからだった」と、切手製造への導入時期が戦後だったことも書かれています。

実は、この本を見つけるまでは宮崎さんに凹版印刷についてのご助言等をいただく中で、「昭和切手の凹版輪転印刷機使用が存在する可能性があるかも？」という話をしており、あったらいいな！それを証明できたらいいな！と思っていたのですが、この文献の記述が正確なのであれば、その可能性はなかったということが濃厚になりそうです。うーん。残念。

面白くなって、他の文献も当たってみようと思い、こちらも書棚にぐずずりと眠っていた 1977 年発行の「新版 切手と印刷」も読み進めてみたところ、p156~158 にかけて「旧型凹版輪転印刷機（国産）」の記事を見つけました。以下に引用します。

旧型凹版輪転印刷機（国産）

旧型凹版輪転印刷機は凹版速刷機が円圧式加圧方式であるのに対し、輪転加圧方式である点で大きな特徴を有しています。この印刷機は 1933 年（昭和 8 年）11 月に日本の印刷局で試作されたものですが、試作された動機はつぎのような事情があったからです。大正の中ごろ、わが国が国債をアメリカで売り出すために、アメリカの株式取引場に照会したところ、アメリカの有価証券の規格に合格しませんでした。というのは、その規格では凹版印刷でなければならなかったからです。この規格に合わせるためには、従来の速刷機よりはるかに大型の輪転印刷機で印刷する必要が生じたわけです。このような大型の凹版輪転印刷機は、世界でもまだ試作段階であり、どうしても国産で制作しなければならませんでした。当時の印刷局の工作課の人たちが鋭知をしぼって、昭和 8 年によりやく完成しました。その後、本機は公債証券や銀行券など、大量かつ要急製造にもつぱら使用されるようになりました。本機が切手製造に使われたのは戦後の一時期だけでした。

前出の「印刷機械と印刷製品」（小矢野皓夫、印刷朝陽会、2005）と内容は一致します。という事は残念ですが多分そうなのでしょう。やはり、昭和切手の製造に、凹版輪転印刷機が使用されたというのは夢物語で終わりそうです。確かに、切手よりも公債証券や銀行券などの方が優先されるのは当たり前ですね。製造のきっかけも切手では無かった訳ですし。

ただ、私は諦めが悪いので、両文献の記述が一部でも間違っている可能性を夢見て、戦前の国産機械（試作）の存在がこうして示されたのであれば、切手の製造がされた可能性もゼロではないはず！と考えを切り替えて凹版印刷の中では比較的安価に入手可能な 7 銭あたりで研究を進めてみたいと思います。

この様に研究への意気込みはたっぷりですが、如何せん私のボンコツな頭では印刷機械についての理解がなかなか進まず、構造や動きがもう少し理解できればもっと切手の製造について研究の糸口がつかめるかもしれないのになあと。少々自分にもどかしさを覚えています。それでも、自分なりに何かを導き出せるかも！というワクワク感は楽しいものです。

因みに、大正時代（1912-1926）の中頃に国債をアメリカに売り出そうと考えていたのに、旧型凹版輪転印刷機の完成が昭和 8 年（1933）ということは、結構試行錯誤したんでしょうね。



印刷機械と印刷製品（表紙）



無料登録・無料入札の流れ

Philasearch で検索!

- ① www.philasearch.com/jpを開く
- ② 最新オークションからロットを選択し、入札用紙に追加する
- ③ 個人情報登録後、担当会社に入札を送ってから入札完了!

世界の切手オークションが お手軽に

180社以上
参加中

以下の東アジア専門オークション等をご紹介します



Schuyler
Rumsey
Philatelic
Auctions



◆ CHERRYSTONE ◆
PHILATELIC AUCTIONEERS

interasia
auctions



www.philasearch.com/jp

おすすめ! ご自宅からリアルタイムで入札可能!

困難な時代の中でもご自宅の安全な環境から
リアルタイムでライブ・オークションにご参加を!

※ フィラサーチは、販売代理として日本語対応のウェブサイト及びサポート窓口を無料で提供します。各販売の担当オークション会社により手数料などが発生する場合があります。ご入札送付の際、入札規定をご確認ください。

※ 担当オークション会社へのご連絡、お問い合わせにつきましては、英語のみの対応となります。日本語対応のお問い合わせ・ご意見・ご質問・ご要望などは、service@philasearch.com までご連絡ください。

南方占領地のフィラテリー (17)

シャン地区における郵便

守川 環

日本占領下のビルマ(現ミャンマー)の東部に位置するシャン州は従来は占領ビルマのローカル切手の扱いでした。しかし、当時の状況を調べていくと日本軍はシャンをビルマの一部として考えているのではなく、ビルマ軍政監の総括を受けながらも全く別の統治を受けていた様です。



このことは 1943 年 10 月 1 日発行の正刷切手の図案からもうかがい知れます。両地区の正刷切手を見比べると、ビルマ正刷切手がビルマ語とともに描かれているのに対して、シャン正刷切手は表題に大日本帝国政府郵便、下部中央にシャン両脇に算用数字で額面が入れられておりマライや北ボルネオと同じ体裁をとっています。(図 1)

図 1



ビルマ語の描かれているビルマ正刷切手



印面ないの文字がほぼ同一構成内容の「マライ・北ボルネオ・スマトラ・ジャワ」と「シャン地区」

昭和 43 年の天長節に合わせ
て発行された、マライ含む 4
地区の正刷切手 (贈呈用)



1942 年 11 月 25 日シャン州政府が開庁され、シャン州貨幣調整令が施行されました。この日よりビルマと同じ貨幣単位セント・ルピーが使われるようになりました。

シャン地区における郵便がいつから再開され、どのような切手が使われていたのかは全く不明です。シャン州貨幣調整令が施行された 1942 年 11 月 25 日に合わせて、昭和切手への水力 3 銭に「3C」青加刷と東郷 5 銭に「5C」紫加刷が発行されたのではないかと思います。(図 2)



図 2



同 使用例

しかしながら、当初より東郷5銭切手は不足がちで、その供給を補うためマライペラー州の5cの漢字加刷切手を補給しました。(図3) マライペラー州の5cの漢字加刷切手の使用時期が1943年の6、7月に集中していることから正刷切手発行までの繋ぎの役目を果たしています(図4,5,6)。



図3 単貼書状（ロイコウ, 18.7.5）とペア貼り重量便書状（ロイレノ, 18.8.29）



図4 ペラー 5c 漢字加刷切手のシャン州使用。左下の手押印は料金収納印。重量便, 18.11.21 (1943)



図5 ペラー 5c 漢字加刷切手のシャン州使用, 18.7.2 (1943)。



図6 ペラー 5c 漢字加刷切手のシャン州使用。書留書状, 18.6.14 (1943)

また、東郷 5 銭切手の無加刷使用例が散見されますが、ビルマ・ラングーンからではなく、おそらくマライ・昭南から送られてきたものと考えられます。(図7)



図7 シボウ→Insein, 18.1.29 (1943)

正刷切手の発行日は周知のとおり 1943 年 10 月 1 日ですが、ジャワからの第 1 回目の船便が到着しなかったことから、おそらく第 1 回目の船便には 3 c、5 c、10 c の 3 種類の額面の切手が乗っていたと思われ、ビルマ独立に合わせて 1943 年 8 月 1 日に発行する予定だったのではないのでしょうか？この事は贈呈帳のシャン州政庁第一回発行切手という文字からうかがえます。(図 8) また、この贈呈帳の余白部分に残りの 4 種を貼ったものが少量確認されています。(図 9)

図 8



図 9





図 10 シヤン地区正刷切手 カラートライヤル



図 11 シヤン地区正刷切手 カラートライヤル「みほん」押捺



図 1 2 シヤン地区正刷切手 プレートブルーフ



図 1 3 シャン地区正刷切手の使用例, 18.12.2 (1943)

1943 年（昭和 18 年）12 月 24 日に、日本軍はビルマ・タイとそれぞれ条約を締結し、シャンの北部をビルマに、それ以外のシャンをタイに割譲しました。ビルマ領となった北シャンでは、シャン正刷切手は加刷切手が発売される 1944 年（昭和 19 年）10 月 31 日まで引き続き後も使用できました。（図 1 4）タイ領となったそれ以外のシャンについては、よくわかっていません。



図 1 4 割譲後の使用例, 2.5.(19)44

書状	10 グラムまで 5 セント 以上 10 グラムごとに 5 セント
葉書	単信 3 セント、往復 6 セント
書留	15 セント
小包	250 グラムまで 10 セント 450 グラムまで 20 セント 以上 450 グラム増すごとに 20 セント
為替	10 ルピーまで 10 セント 20 ルピーまで 20 セント

郵便料金（ビルマと同一）

1941 年 (昭和 16 年) 12 月 14 日	南部ビルマ ビクトリアポイント攻略
1942 年 (昭和 17 年) 3 月 9 日	ラングーン入城
1942 年 (昭和 17 年) 3 月 15 日	軍政部始動
1942 年 (昭和 17 年) 5 月 1 日	マンダレー占領
1942 年 (昭和 17 年) 5 月 10 日	治安維持委員会による孔雀加刷切手発行
1942 年 (昭和 17 年) 6 月 1 日	ビルマ矢野切手発行
1942 年 (昭和 17 年) 6 月 7 日	ビルマに軍政を施行
1942 年 (昭和 17 年) 11 月 25 日	シャン州政庁が開庁、シャン州貨幣調整令施行
1943 年 (昭和 18 年) 4 月 1 日	シャンにおける書留取り扱い開始
1943 年 (昭和 18 年) 6 月 19 日	シャンにおける小包取り扱い開始
1943 年 (昭和 18 年) 7 月 1 日	シャンにおける代金引換、為替取り扱い開始
1943 年 (昭和 18 年) 8 月 1 日	ビルマ独立、軍政を廃止
1943 年 (昭和 18 年) 10 月 1 日	風物図案正刷切手発行
1943 年 (昭和 18 年) 10 月 1 日	シャン正刷切手の発行 (下図上、FDC)
1943 年 (昭和 18 年) 10 月 18 日	ケントーン州とモンパン州をタイ国に編入
1943 年 (昭和 18 年) 12 月 24 日	北シャン州のビルマ編入
1944 年 (昭和 19 年) 10 月 31 日	シャン切手の使用禁止
1944 年 (昭和 19 年) 11 月 1 日	シャン切手へのビルマ語加刷発売 (下図下、FDC)

年表



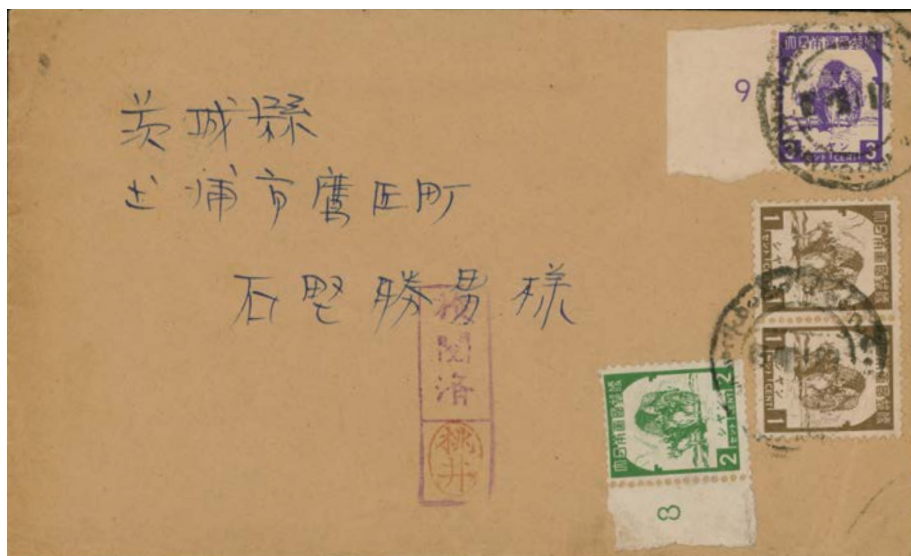


図 15 ビルマで使用された、シャン地区正刷切手



図 16 北シャン（カロウ）におけるビルマ切手の使用例。同地区のビルマ編入前，18.2.26 (1943)。

2021 年の日本切手

山崎 太郎

2021 年（令和 3 年）も結局、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大による混乱に終始した 1 年となってしまいました。前年ほどではないにせよ、切手発行も COVID-19 の影響を受けています。このほか世間的にも話題となる切手発行が多い年であったと言えます。細かなデータを交えて振り返ってみましょう。

発行枚数

筆者の集計では、2021 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで日本郵便が発行した新切手は 603 種でした。発行を予定していたものの、未発行となった切手を除いた数です。

昨年までとの比較をすると、やはり手元の集計で 2020 年は 620 種、2019 年は 552 種、2018 年は 623 種だったので、昨年より若干減ったとはいえ 1 年あたり 600 種類前後という傾向は変わっていません。

切手の額面

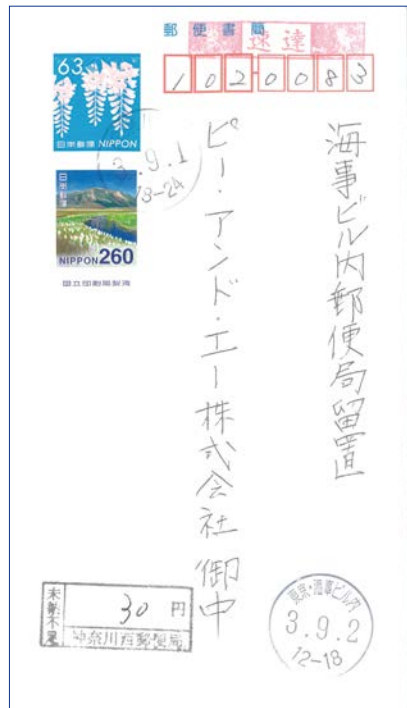
切手の額面に注目すれば一番多いのは 84 円で 406 種、次いで 63 円が 157 種、94 円が 13 種、500 円が 11 種です。500 円が例年になく多いのは、『東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 切手帳』や『郵便創業 150 年切手帳（下図）』に 500 円切手を含むシートが収められたからです。

今年はその他に、速達料金の値下げで新たに 260 円の普通切手が登場したり、普通切手 4 種に特殊加工が施されたりと、新たに登場した切手の額面のバリエーションも多かったのが特徴です。

9/1 発売の 260 円切手の速達料金 290 円期間の使用例

63 円ミニレター、2021 260 円 和文丸印
神奈川西→東京・海事ビル内 3.9.1 (2021)

323 円貼付・30 円不足料金を受取人より徴収
ミニレター 63 円、速達料金 290 円



発行	名称	形態	印刷会社	額面				合計
				63	84	94	他	
1/12	自然の風景	シール式	凸版印刷	10	10			20
1/15	ムーミン	シール式	Cartor	10	10			20
1/18	お年玉切手シート	シール式	Cartor	1	1			2
1/22	自然の記録シリーズ 第1集	シール式	凸版印刷		10			10
2/3	天体シリーズ 第4集	シール式	凸版印刷		10			10
2/3	天体シリーズ特別切手帳	シール式	Joh. Enschedé		25			25
2/19	春のグリーティング	シール式	国立印刷局	6	6			12
3/9	My 旅切手シリーズ 第6集	シール式	凸版印刷	10	10			20
3/9	My 旅切手レターブック (東北)	シール式	凸版印刷	2	2		120 円 *2	6
3/12	海図 150 年	のり式	Joh. Enschedé		5			5
4/1	おもてなしの花シリーズ 第16集	シール式	凸版印刷	5	5			10
4/13	普通切手 (偽造防止加工)	のり式	国立印刷局			1	*1	4
4/14	グリーティング (シンプル)	シール式	Philaposte		1			1
4/14	グリーティング (シンプル)	シール式	Joh. Enschedé				1 円 *1	1
4/20	切手趣味週間・郵便創業 150 年	のり式	国立印刷局		10			10
4/23	ハッピーグリーティング	シール式	凸版印刷	2	2	2		6
5/10	天然記念物シリーズ第6集	シール式	凸版印刷		10			10
5/17	グリーティング (ライフ・花)	シール式	凸版印刷	10	10			20
5/21	日本の伝統・文化シリーズ 第4集	シール式	凸版印刷	10	10			20
5/26	国土緑化 (島根県)	のり式	Joh. Enschedé		5			5
6/1	夏のグリーティング	シール式	凸版印刷	10	10			20
6/16	国宝シリーズ 第2集	シール式	凸版印刷	10	10			20
6/23	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会	のり式	Cartor		74			74
6/23	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 切手帳	のり式	国立印刷局				500 円 *1	1
6/25	近代通貨制度 150 周年	シール式	凸版印刷		10			10
7/1	海のいきものシリーズ 第5集	シール式	凸版印刷		10			10
7/7	ポケモン	シール式	Joh. Enschedé	10	10			20
7/21	ふみの日にちなむ郵便切手	シール式	Philaposte	5	5			10
8/16	秋のグリーティング	シール式	凸版印刷	5	5			10
8/25	ポケモン切手 BOX ~ポケモンカードゲーム 見返り美人・月に雇セット~	シール式	凸版印刷		8		120 円 *2	10
8/25	日本国際切手展 2021	シール式	凸版印刷		10			10
8/25	郵便創業 150 年切手帳 (通常版)	シール式	国立印刷局				500 円 *2	2
8/25	郵便創業 150 年切手帳 (特別版)	シール式	国立印刷局				500 円 *8	8
9/1	普通切手	のり式	国立印刷局				260 円 *1	1
9/8	美術の世界シリーズ 第3集	シール式	凸版印刷	10	10			20
9/15	ぼすくまと仲間たち	シール式	Joh. Enschedé	9	9			18
9/22	ハッピーグリーティング	シール式	凸版印刷	10	10	10		30
9/24	日本ウolgアイ外交関係樹立 100 周年	シール式	Joh. Enschedé		10			10
10/1	海洋研究開発機構創立 50 周年	シール式	Philaposte		5			5
10/8	国際文通週間にちなむ郵便切手	のり式	国立印刷局				*2	5
10/8	国際文通週間にちなむ郵便切手 (日本郵便・ラ・ポスト共同発行)	のり式	Philaposte				70 円 *2	2
10/13	自然の風景シリーズ 第1集	シール式	凸版印刷		10			10
10/20	おもてなしの花シリーズ 第17集	シール式	凸版印刷	5	5			10
11/1	令和 4 年用年賀郵便切手	シール式	国立印刷局	1				1
11/1		のり式	国立印刷局	1	2		*3	3
11/5	グリーティング (シンプル)	シール式	凸版印刷		1			1
11/11	おいしいにっぽんシリーズ 第3集	シール式	Joh. Enschedé	10	10			20
11/19	冬のグリーティング	シール式	凸版印刷	5	5			10
11/26	絵本の世界シリーズ 第5集	シール式	凸版印刷		10			10
12/6	鬼滅の刃	シール式	凸版印刷		15			15
12/10	ピーターラビット™	シール式	凸版印刷		10			10
	<合計>			157	406	13		603

2021 年の日本の新切手一覧 *1 100,120,140 円各 1 *2 7,70,90,110,130 円各 1 *3 63,84 円各 1 寄附金付

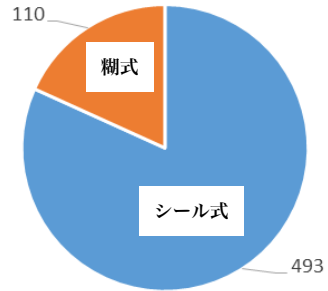
発行形態

切手の形式では、シール式切手が493種で全体の81.8%と全体の8割以上を占めています。のり式切手は110種で18.2%です。

『東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会』でのり式切手が75種も加わったにもかかわらずシール式切手の比率は昨年と比べて高まっています。その理由の一つとして、従来はのり式切手であったはずの記念切手が一部シール式になったことが挙げられます。

これまでは記念切手は大方、のり式で発行されてきましたが、しかし今年は『近代通貨制度150周年』『日本ウルクアイ外交関係樹立100周年』『海洋研究開発機構創立50周年』はシール式で発行され、その他にも『お年玉切手シート』や『令和4年用年賀郵便切手』のくじなし63円切手までシール式になりました。

利便性向上のほか、COVID-19の感染拡大により裏糊を舐めて貼ることへの敬遠が広まったことによるシール式の拡大なのかわかりませんが、思い切った方向転換であると言えます。アメリカ合衆国のように、特殊切手がほぼ全てシール式になる時代が来るのかもしれませんが。



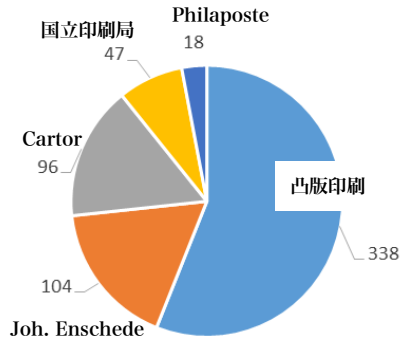
2021年日本切手の形態

発行会社

印刷会社の傾向には大きな異変が見られ、凸版印刷がダントツで1位の26件338種でした。これにエンスケデ社が8件104種、カルトールが3件96種、国立印刷局が8件47種と続きます。

昨年はカルトールが310種で全体のちょうど半分ほどだったので明らかに傾向が変わっています。その理由は不明ですが、COVID-19流行により海外への自由な往来が不可能になったため、カルトールやエンスケデなど海外勢が日本切手の受注を見送ったということなのでしょう。凸版と国立印刷局を合わせた日本勢で過半数となっており、こちらも近年にない傾向です。

逆に昨年は0件だったPhilaposte社は、今年は4件18種を受注しました。



2021年日本切手の印刷会社

日本郵便・ラ・ポスト共同発行
国際文通週間70円郵便切手(のり式)
Philaposts 社銘版



発行中止の切手

去年よりは少ないですが、今年も残念ながら COVID-19 流行の影響で予定されていた切手が 1 件、発行中止となりました。9 月 3 日に発行予定だった『第 76 回国民体育大会（三重県）』で、これで国体切手は 2 年連続お蔵入りとなりました。

ただし今回は直前に大会中止が決定したため切手の発行も直前で中止となり、このため一部の郵便局では既に発行案内のパンフレットを配布してしまっていました。当然のことながら既に切手そのものは製造された上で全国の郵便局に配備され、あとは発売当日を待つだけだったと思われます。既に全回収の上廃棄されているはずですが、将来、どこからか横流しされた不発行切手が出てこないことを祈るばかりです。



【第76回国民体育大会】パンフレットと切手
*切手画像は日本郵便 HP より転載



話題になった切手

ぼすくま 1 円切手

1 円切手の意匠といえば長らく日本近代郵便の父・前島密ですが、4 月 14 日発行の『グリーティング（シンプル）』にぼすくまを意匠とした 1 円切手が登場することは発表時から大きな話題になりました。前島密がどうこうというわけではなく、他の普通切手が動物や植物、風景など日本の自然をテーマとする中、1 円切手だけが偉人の肖像というのは郵便物に貼った時に統一感に欠けると思っている人が一定以上いるということのようです。当たり前の話ですが、大多数の人々にとって切手はあくまで「郵便物に貼って使うもの」なのです。なお中には前島 1 円切手がなくなるという勘違いも見受けられましたが、現在も前島 1 円切手は継続して発行されています。



ぼすくま 1 円切手



ポケモン切手 BOX（日本郵便 HP より転載、次ページも）

ポケモン切手 BOX

2021 年に発行された切手の中で最も入手しにくいものがこの『ポケモン切手 BOX ～ポケモンカードゲーム 見返り美人・月に雁セット～』に入っている切手シートでしょう。

価格は 4,000 円、当初は 8 万セットを発売予定で、そのうち 150 セットを 8 月下旬の『日本国際切手展 2021』にて販売し、残りを事前に抽選した上で 10 月に一般販売する予定となっていました。あまりに反響が大きかったため 10 万セット販売に増量し、国際切手展での販売も事前抽選を行った上での販売となりました。さすがにコロナ禍では多くの人が集まる事態は避けざるを得なかったと思われます。



2021 年はポケモンカードゲームの 25 周年記念にあたる年で、ただでさえ人数の多いポケモンファンからの注目度がいつも以上に高く、また生産数が少ない一部のカードが再販市場で高騰していることもあり、おそらく相当数の応募数があつたものと思われます。ツイッター上では、Web 申込み時の整理番号は 30 万あたりまでいったのではないかという書き込みもあります。

販売の注意書きには転売禁止と書かれていますが、仮に転売を行っても罰することは事実上不可能で、現在でもヤフーオークションやメルカリで頻繁に取引されています。販売直後は価格が数万円と高騰していたようですが、10 月の一般販売開始後はさすがに価格は下がっていますし、切手だけを販売するケースもあるようです。それでも 10 枚シートの切手とすればお高めではありますが、今年世間で一番話題となった切手として入手しておくのも一興でしょう。ただし、8 月 25 日の初日印が押された切手シートは、数点程度しか存在していないと思われます。

キャラクター・鬼滅の刃

令和 3 年度の特設切手発行計画では 12 月 6 日に新切手の発行予定はありませんでしたが、急遽キャラクター切手の発行が追加されました。しかも題材は昨年の映画大ヒットが記憶に新しい『鬼滅の刃』で、TV アニメ第 2 期『遊郭編』が放送開始された 12 月 5 日のまさに翌日が発行日となりました。通常のキャラクター切手だと 1 シート 10 種類なの今回は 15 種類という気合の入れようで、発行が公表されてすぐ大きな話題となりました。



グリーティング切手 鬼滅の刃発行案内（日本郵便）と特設ホームページ（右）

メータースタンプ

本題とは例外的な扱いになりますが、今年は新しい証紙切手（メータースタンプ）も登場しました。7月26日より東京中央郵便局にセルフ引受機が予告なしに設置されており、郵便物を計量して郵便種別を選択しお金を払うとその場でメータースタンプが発行される仕組みなのですが、このメータースタンプが通常のものとは違うデザインになっています。セルフ引受機は平日の午前11時から午後7時くらいまで設置されており、当日中に郵便物に貼って隣にある郵政150年ポストに投函する必要があります。



【東京中央セルフ引受機】
メータースタンプ



【東京中央セルフ引受機】機械



【東京中央セルフ引受機】
領収書



【東京中央セルフ引受機】速達使用例

おわりに

COVID-19 流行が郵趣に与えた影響は様々なものがありますが、日本切手の発行に限って見た場合、去年は切手発行計画の一部延期・中止が主であったのに対し、今年はシール式切手のさらなる拡充といった根本的な部分への変革をもたらしたように思います。

また 2018 年の日本郵政の株主総会では、株主からの質問に対する返答という形でシール式切手の額面拡充についてコスト等の観点から難色を示していたにもかかわらず、シール式の 1 円切手を大々的に発売したことで、需要を模索し実行に移す姿勢も垣間見えました。ここ数年の日本切手は代り映えないように見えて、実は着実に変わっています。

2019 年の元号改元に始まり、2020 年予定の東京五輪、そして 2021 年の郵政 150 年、国際切手展と、切手発行の格好の題材となる大イベントは一通り終わりましたが、2022 年以降もまた新たな題材の切手が登場することでしょう。2022 年こそは発行延期・中止の憂き目に遭う切手が発生しないことを願っています。



郵便創業 150 年切手帳、前島密 500 円切手貼りゆうパック同一都道府県・100 サイズ・同一宛先

伝統郵趣家による

テーマティックコレクションへの挑戦（1）

吉田 敬

本連載執筆の動機

筆者は PHILANIPPON 2011 への出品をきっかけに、競争展への参加を開始した伝統郵趣家です。メイン収集テーマのスイスクラシックを少しでも良い作品にする為に、古今東西の伝統郵趣に挑戦し、技を磨いてきました。そして、その過程で、郵便史（2-A）、マルコフィリー、ステーションナリー、トビカルも嗜んできました。

この結果、大抵の収集テーマでどのようにすればベストな競争展作品が構成できるかのイメージができるようになりましたが、ただ一部門だけ考えても考えても分からない部門があります。それがテーマティック部門です。

テーマティック部門の審査規則を全く知らないわけでもありません。国際セミナーも何度か聴講し、世界のテーマティックのトップと言われる郵趣家と交流がないわけでもありません。国際展テーマティック部門に挑戦する日本人のトップクラスの方の大半とは、Philatelic Journal の記事や、単行本の出版と一緒に仕事をさせていただいたこともあり、なんとなくわかった気持ちになったこともありました。

しかし、作品名を「フランス植民地帝国の盛衰」と決めて、いざ作品を作ろうと思っても、キーボードを叩く指が途端に止まります。「一体どこから始めたらいいのだろう・・・」

この新鮮な気持ちは PHILANIPPON 2011 の出品権利を得る為に全日本切手展 2010 の出品作品を作っていた時の戸惑いと一緒ではないのか？ならば、この瞬間に感じたことをメモしていけば、将来自分がテーマティック作品作りに慣れた時になったらもう書けない『真の初心者本』になるのではないだろうか？そう思って、本連載をまとめることにしました。

左脳で作る伝統郵趣と、右脳で作るテーマティック

ちなみに、作品作りで私の指が止まった原因は、作品の組み立てが論理的に行えれば、展開が自然と決まってくる伝統郵趣に対して、テーマティックでは、物語が仮に決まったとしても、そのページに展開すべきマテリアルが何なのか？は閃きの割合の方が大きいからだと思います。左脳よりも右脳を使うことが多く、伝統郵趣家はそれに慣れていないのです。

例えばフランス革命（1789 年）を語るページがあったとして、関連する使える切手や郵趣マテリアルは多岐に渡ります。特に 1989 年はフランス革命 200 年ということで、世界各国から収集家向けの記念切手が多数発行されました。

非競争切手展での展示や書籍の執筆であれば、ページ数の限度はありませんし、そもそもコンペティションではありませんから、これらの切手から入手できたものを紹介すれば良いと思います。

しかし競争展となると話は別です。テーマティックでストーリーは大事なものの、展示マテリアルが平凡では点が伸び悩むのは当然です。何を展示すれば、フランス革命を表す切手としてベストか？考えても容易に答えが見つかりません。



1989 仏、フランス革命 200 年記念切手

本項冒頭に書いた通り、伝統郵趣、郵便史、マルコ、ステーションナリー、トピカルな様な左脳で論理的に考えることができる部門では、少し調べれば、各ページにどのようなマテリアルを配置したらベストなのか？が案外簡単に導き出せます。もちろん、実際に持っている・入手できるとは別の問題ですから、その入手が叶わない場合は次善策を考えることになります。

しかし、テーマティクでは、展示して良いマテリアルが安価な最近の記念切手だった場合、本当にこれで良いのか？悩まされます。クラシック切手を展示できるように話をもう少し捻った方が良いか？とか、同じ安価にしてもせめて郵趣知識をもう少し示すことが可能な消印やステーションナリーを当たった方が良いのではないかとかです。

第2章 18世紀後半の、植民地獲得競争における致命的敗退と財政危機 (2-e) 度重なる戦争による財政危機が原因の1789年フランス革命 (P.14)

2 e

Fatal Defeat in the Colonial Acquisition Race and Financial Crisis in the late 18th century

Financial Crisis Caused by Repeated Wars Caused French Revolution in 1789

Bourbon family owned almost **one fifth** of the territory and also was the biggest beneficiaries of tax relief privileges



Costly Involvements in the Seven Years' War and the American Revolutionary war caused financial crisis, and **Stamp duty system** was proposed to solve this crisis.

This proposal was refused by opposition movement of rich citizens such as financiers and bankers, and the **Estates General** was held at Versailles in May, 1789.



1872 Japan Etched Revenue Stamp 1 Sen

The King and the National Assembly had an all-out confrontation in the Estates General, and a large crowd began to attack **the Bastille** following the King's army's inbound to Paris on July 12th, 1789.



The Bourbon was taken to **Tuilleries** in 1789, and was guillotined in 1793.






1793 - Le Palais devient Musée
1993 - Le Grand Louvre

Louvre Museum was opened on Aug. 10th, 1793 to celebrate an anniversary of the death of Louis XVI, France 1993 *Delux sheet*

The Name of the Island BOURBON, French Territory in the Indian Ocean was changed into **REUNION** in 1793 with the fall of the House of Bourbon




1852 Reunion, 15c type IV

1852 Reunion, 30c type III



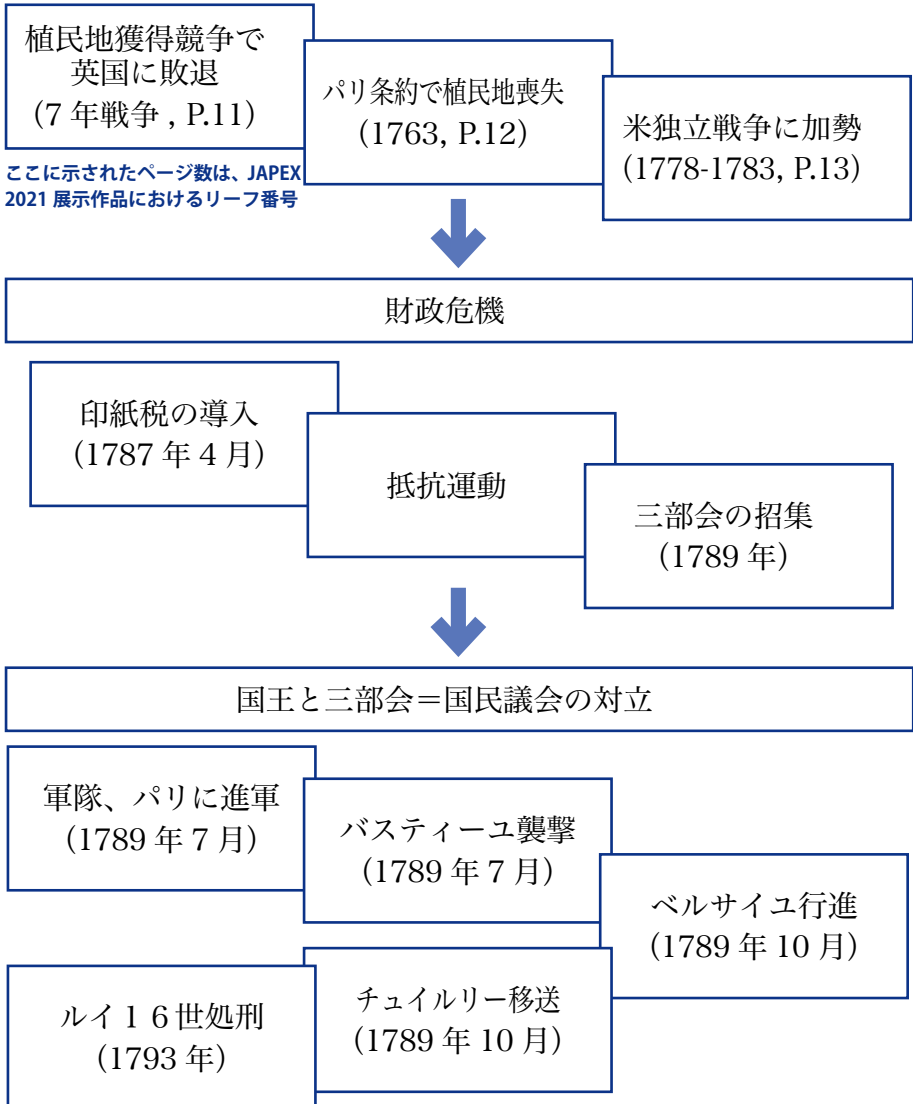
1852 Reunion. A combination franking of the first issue, only three covers recorded with the two values tied to the envelope. 15c type II & 30c type I. St. Andre, Oct 16th, 1852 to Nantes, Jan. 16th, 1853. 45c correctly paid for a letter to France, 15 for inland fee and 30 for fee until France. (ex-Boker)

本作品のテーマである「フランス植民地」を獲得する過程での財政危機が原因となった「フランス革命」を描くにあたり、歴史を学び、キーワード（制度、建物名称）を抽出し、それを表す切手を展示した。

ブルボン王朝を表す最適なマテリアルとして、旧名称「ブルボン島」が革命後に「連帯」を意味する「レユニオン島」に変更された話を知っていた為、入手していたレユニオンのカバーを展示した。

ところで「フランス革命」を表現する切手を探すにあたり、私は自身が「フランス革命」について何も知らないことに気づきました。実は私の亡父は、とある大学の東洋史の教授でしたが、任官するまでは、高校の世界史教諭でした。その父に高校生の時に「世界史は覚えることが多くて大変だから、大学受験では選択しない方がいいよ。」とアドバイスを受けたのです。

父の話は案外冗談だったような気が今となってはするのですが、間に受けた私は、大学受験の社会科は「地理」と「日本史」を選択し、高校の世界史の授業はほとんどサボってグラウンドで走っていたので、2007年にビジネスの一線を引退して教養として歴史を学ぶようになって初めて、オスカル・フランソワは「ベルサイユのばら」にしか登場しないキャラクターだということを知ったほど、世界史のことは何も知りませんでした。そこでまるで受験生のようにですが、フランス革命（1789）の原因・過程・結末を私なりにまとめて見るところからはじめました（下図）。



ベルばらで知った知識は役立ったところもあるし、全くの創作の部分もありましたが、少なくとも、フランスに興味を抱かせてくれたので、この受験勉強みたいな作業は私にとって、特段苦痛にはなりませんでした。

次は、このそれぞれの事象に合致する切手が存在するかどうかのチェックです。本当は、切手だけでなく、ステーションナリーや図入消印なども当たらなければならないのですが、最初からそこまでやるのは無理だという前提に立つことにしました。

以前「競争切手展に出品するリーフの作り方 テーマティックコレクション 編（スタンペディア、2018）」執筆中でテーマティック部門で国際展金賞を獲得している榎沢祐一さんにテーマティック作品を初めて作る時の注意点をお聞きしたことがあるのですが、『初めて間もない時間は、安価な未使用切手でも良いので、まずは一度作品を完成させるべき』とのお話をいただいたことがあるからです。

伝統郵便作品で、切手のセンターやフレッシュさ、カバーの美しさや印影の明確さを少しずつ改善していくことで、年季の入った良いコレクションが完成すると同様に、テーマティック作品でもストーリーに沿ってとりあえず配置した安易なマテリアルが、時間をかけて、よりこだわった安易でないマテリアルに置き換わっていくことが、年季の入ったコレクションになる過程かもしれないと今では考えるようになりました。

左の事象に合致する切手を手元にあるものから安易に選択してみたのをお見せしたところで、第一回の連載は終わりたいと思います。

印紙税の導入



うん。こうなりますよね。違和感ありますが、古今東西だから、これもありかも？

三部会の召集



ズバリそのものの記念切手がフランスから発行されています。安い切手なので、イマイチですが。

バスティーユ襲撃



バスティーユは何度も切手になっています。おそらく図入消印にもなっているでしょうから、そっちの方がいいのかな？

チュイルリー移送



チュイルリーも安い切手です。

フランス革命 200 年に絡み、元仏領のアフリカの国々から、ルイ 16 世を描く切手は発行されています。それらを選ける為、処刑 1 周年を記念し開館されたルーヴル美術館の 200 年記念切手のデラックスシートを使ってみました。

ルイ 16 世処刑



ハワイステーションナリー 切手付き封筒 2 セント逆加刷エラー

山崎 文雄

ハワイ切手関係の収集をメインとして約 50 年間近くなるが、同様にハワイのステーションナリーの収集にも力を入れている。国際切手展にもステーションナリー部門に「Hawaiian Postal Stationery」の主題で出品をし、これまでに G(金賞)を受賞している。

今回、ドイツのクリストフ・ゲルトナー (Christoph Gärtner のオークション (2021 年 10 月に開催) に、図版 1 のハワイの 2 セント切手付き封筒で「Provisional Government 1893」の加刷が逆刷が出品された。公開セールへの登場は、約 50 年ほど前に報告されて以来初めてで、出品時の記載内容は下記の通りであった。

1893 Provisional Government: Postal Stationery envelope 2c red with OVERRPRINTED INVERTED, fine unused. This envelope is the original famous one discovered by Karl Haas (see UPSS catalogue) and has been certified by the APS Expertizing Committee (Cert #40651, July 1, 1960, which was lost meanwhile, unfortunately, old photocopy attached). A GREAT RARITY AND FAMOUS ITEM OF HAWAIIAN POSTAL STATIONERY.

この切手付き封筒はカール・ハースによって発見され、アメリカン・フィラテリック・ソサイエティ (アメリカ郵趣協会) の鑑定を受けたオリジナルの有名なものである。残念ながらその鑑定書は失われているも、コピーが添付されている。希少で有名なハワイのステーションナリーである。(筆者訳)



図 1 Hawaii 2c overprint inverted

鑑定書がついてこないということなので、小生が所持している UPSS(United Postal Stationery Society) から発行されている「The Postal Stationery of Hawaii」のカatalogを開いてみた。その 89 ページ右上 (図版 2) の画像と関連記事を転載する。

Through the courtesy of Mr. Karl Haas of Germany, a hitherto unknown variety was reported to the Hawaii Postal Stationery Study Group. The inverted overprint on the 2c envelope has been certified by the APS Expertizing Committee as being genuine in all respects.

ドイツのカール・ハース氏の好意により、ハワイ・ポスタル・ステーションナリー研究グループにこれまでに知られていないバラエティーの報告がなされた。それは 2 セントの切手付き封筒に逆加刷をしたもので、APS の鑑定委員会が本物として鑑定されたものであった。(筆者訳)

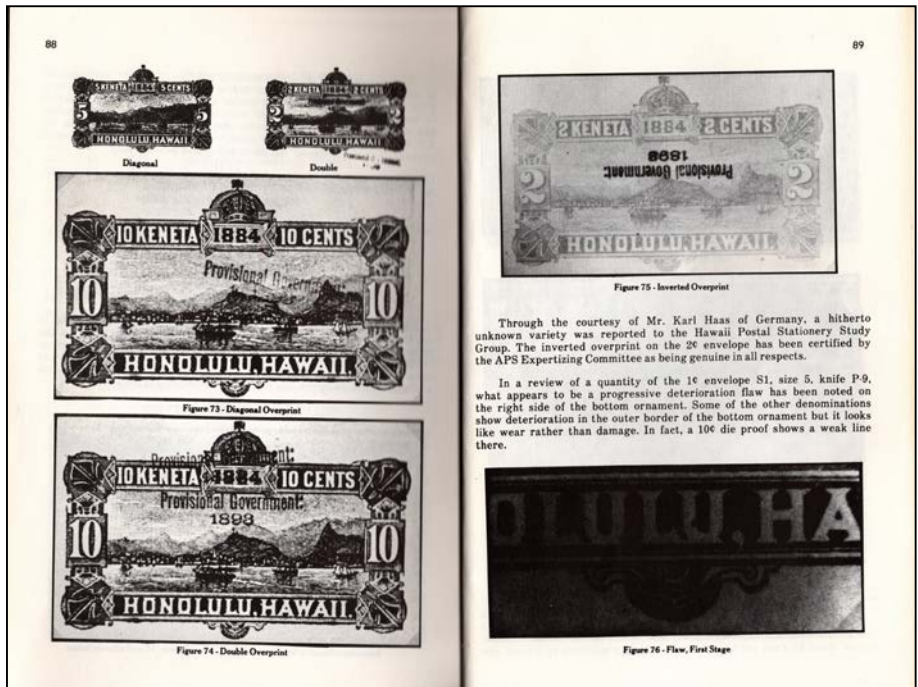


図 2 UPSS The Postal Stationery of Hawaii より

これまでの長年の収集歴の中で、初めて拝見するものであり、著名なコレクター達のコレクションにも拝見することのなかったマテリアルである。これ以外の報告はなく、確認数はこの一点だけで唯一のものである。

今回、ゲルトナーのオークションに参加をし、無事、この逆刷エラーを入手することができた。スタートは 1,000 ユーロであったがハンマーは 4,200 ユーロであった。23.8%の手数料などを含めると邦貨約 70 万円強となった。比較的安く入手できた感がある。

ハワイのステーショナリーでの希少なマテリアルは他にもいくつかあるが、アーカイブス（ブルーフなど）を除けばこの「Provisional Government 1893」の加刷エラーの切手付き封筒および葉書がほとんどである。

二重加刷エラーでは1セントの切手付封筒が圧倒的に少なく、数点の報告しかなく、市場では8000ドルを超えるものになっている。それより難しいのは葉書の二重加刷エラーで2セント、3セント葉書ではそれぞれ1点しか確認されておらず価格は上記の2倍以上になっている。ほとんど市場には出ないマテリアルで筆者も過去に1度だけオークションで拝見したことがあるだけである。

切手付封筒では他に、3重加刷エラーの存在も確認されているが極めて希少で、現存数も1、2点である。但し、1セントでの確認事例はない。

また、ハワイのステーショナリーで切手付封筒でのアーカイブスの「Specimen」（見本）の加刷が存在するが、これはハワイが、加盟国に配布するために万国郵便連合加盟国に切手付封筒を提供し、これらの加盟国は、封筒の印面の上に「Specimen」または「Ultramar」の加刷を施して配布することがありました。（図版3）



図3 1c specimen

この画像はウェブサイト Post Office in Paradise に掲載されているものであるが、これらのマテリアルも非常に希少で、その市場にはほとんど出てくることがないものである。

前述の UPSS のカタログにもその記載はなく、鑑定においてもその比較対象がないため、真正品としても鑑定が困難なものの存在がある。そのため、切手展での出品には展示されないケースもある。最近では PC 技術も進歩した関係で偽物を製作する輩も出現している状況では、なかなか真贋を判定する難しさもあるため注意が必要かと思われる。

以上、ハワイ 2 セント切手付封筒への逆加刷エラーを取り上げましたが、130 年の時を過ぎて、未だに、同様の報告事例がないエラーとして USPP のカタログ記載だけにとどまっているマテリアルがその時を経て市場にでてきたことは、本当にラッキーだったのかも知れない。

参考文献

「The Postal Stationery of Hawaii」 by United Postal Stationery Society 1982

「Post Office in Paradise」 by Fred Gregory website POST OFFICE IN PARADISE - Postal Envelopes (hawaiianstamps.com)

香港中華 2 版孫文切手の単線目打

重山 優

いわゆる香港中華版孫文切手とは、1938 年の終わり頃から香港の中華書局という印刷所で印刷・発行された孫文像を描く普通切手のことを指します。この切手には製造方法や原版の違いなどから 1 版（空芯半鉤・空芯全鉤）、2 版（改版含む）、すかしあり、中華版大東細齒（P14）などに分類されますが、今回取り上げるのは香港中華版孫文切手の中でも一番多く流通し現存数も多い香港中華 2 版孫文切手の切手についてのお話です。

香港中華 2 版孫文切手（以下、香港中華 2 版）は、香港中華 1 版孫文切手（以下、香港中華 1 版）がどちらかといえば試行錯誤を繰り返して印刷されたのに対し、香港中華 2 版はある程度慣れてきたのかスムーズに製造された印象を受けます。そして、香港中華 1 版では 1 円・2 円そして 5 円の 3 額面しかないのに対して、香港中華 2 版では 1 円以下の低額面も印刷されています。1 円以下の低額面（以下、「分」単位切手）については単色刷りでシート構成は横 20× 縦 10 の 200 面でした。そして、この「分」単位切手は印刷された順番が知られており、このことは Springstead 氏が記事として纏められております（参考文献参照）。この記事を参考にして「分」単位切手に存在する目打（単線目打及び櫛形目打）を組み合わせると一覧表にしてみると、次の表のようになります（表 1）。

表 1 をご覧いただくとわかる通り、単線目打は限られた、そして比較的初期の段階でしか使用されていないことがわかります。そして、15 分赤と 25 分は単線目打しか存在しないことになっています。

グループ	額面	目打	
		単線	櫛形
1	2 分	○	○
	5 分	○	○
2	15 分赤	○	
	25 分	○	
3	8 分		○
	10 分		○
4	3 分		○
	16 分		○
	2 分（改版）		○
	8 分（改版）		○
	15 分茶		○

表 1 香港中華 2 版「分」単位切手の印刷順序と目打

“○” が存在するもの

Springstead 氏は前出の記事の中で印刷時のペーン（窓口用シート）の数にも言及しており、円単位（50 面シート）で 6、分単位（200 面シート）で 2 であると書かれています。通常、切手の印刷は用紙に印刷→目打の穿孔→窓口用シートの大きさに裁断という流れになるはずですが（裏糊の工程は省略）。従って、通常の単線目打はこのような目打の穿孔となります（図 1）。



図 1 単線目打が穿孔されたブロックの例（香港中華版大東細齒）

図1をご覧くださいればお分りの通り、シートの耳紙にも目打が全て穿孔されています。恐らく、どの国でも単線目打であればこのような状態が普通だと思います。しかし、香港中華2版の場合は少し様子が違います。図2をご覧くださいましょう。分りにくいと思いますので、拡大した画像をお見せします。(図3)



図2 香港中華2版25分のシート



図3 同拡大図（左上及び右上）

いかがでしょうか。拡大画像では、上下の耳紙には目打が穿孔されているのに対して、左右の耳紙には目打が穿孔されていない事がわかります。しかも、横目打は縦目打に合わせるように穿孔されています。

これは、25 分だけの特徴であるかというそうではなく、手持ちにはこのようなカバーがあります。図4をご覧くださいましょう。



図4 15分赤3枚他貼 アメリカ宛封書

図4は差出人も受取人も切手商である船便書状です。通常であれば50分1枚貼あるいは25分2枚貼が定番なのですが、このカバーには15分赤の横3枚ストリップと5分1枚で合計50分としています。この15分赤のストリップの左に耳紙が付いているのがお分かりと思いますが、この部分を拡大してみるとこのような感じになります(図5)。

赤矢印の部分をご覧くださいとわかる通り、耳紙に目打が穿孔されていません。そのため、手で切り離したことがよくわかると思います。貼ってある切手が手持ちのものだったのか、あるいは郵便局の窓口で貼られたものであるかは今となっては分かりませんが、大変だったと思われます。



図5 15分赤3枚他貼 アメリカ宛封書(拡大)

これらのことを元にして、今回横浜アジア展の出品作品として作ったリーフが図6です。

今回のリーフでは、右耳紙の付いているブロックを使用し、それぞれ横目打が耳紙には穿孔されていないことを示すために矢印を入れました。もちろん、ブロックを切り離れた箇所にも目打は入っていないわけですが、この部分はわかりにくいのであえて矢印を入れなくてもおきました。



図6 横浜アジア展の香港中華2版単線目打のリーフ

以上のことから見てくることがあります。それは、裁断前のペーン（窓口シート）の配置です。前述の通り、200面シートの場合、ペーンの構成数は2でした。これが正しいとすると、ペーンの構成は縦あるいは横のいずれかということになります。従って、ペーンの構成のイメージとしては図7のようになるはずです。図7のような構成であるとして、どのように目打（単線目打）を穿孔したのかを考えてみましょう。

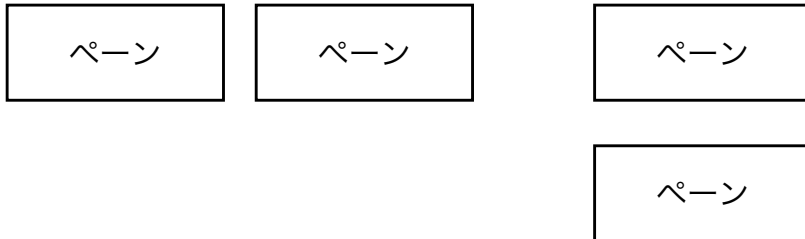


図7 裁断前のイメージ「横」（左図）,「縦」（右図）

まず、「横」の場合です。この場合縦目打は普通に横移動をすれば穿孔は可能ですが、横目打はペーンの耳紙には穿孔されていないことから一度に2ペーン分穿孔したとは考えにくく、一旦右（あるいは左）のペーンを穿孔してから再度もう一方のペーンを穿孔するという手順になると思われます。

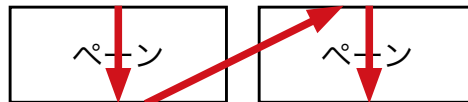


図8 目打穿孔のイメージ「横」

次に、「縦」の場合はどうでしょうか。この場合は、縦目打は「横」と同じく横移動で穿孔が可能で、横目打は一旦戻ることなく単一方向に動くだけで目打が穿孔できることがわかります。従って、目打の穿孔は「横」よりも「縦」の方は効率が良いことが分かります。このことから、裁断前のペーンの構成は「縦」であったであろうと想像できます。

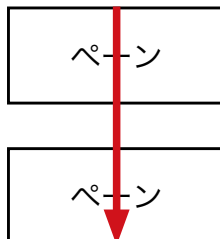


図8 目打穿孔のイメージ「縦」

それでは、円単位の切手はどうでしょうか？図9及び図10はそれぞれ香港中華2版の1円と2円の単線目打のシートです。これら2点のシートに共通しているのは、いずれも横目打がシート右側の耳紙には穿孔されていない部分がある、ということです。特に2円の方は全く穿孔されておらず分単位切手の状態とよく似ています。なぜこのような状態となったのかは今の私には説明することはできませんが、ヒントとなるものがこのシートには隠されていると私は考えています。



図9 香港中華2版1円単線目打のシート



図10 香港中華2版2円単線目打のシート

それは、円単位切手の横目打の穿孔方法です。前出の Springstead 氏の記述によれば円単位切手のペーン構成は「6」ですから、横 2×縦 3 あるいは横 3×縦 2 の 2 通りの構成を考えることができます。しかし、用紙は同じ大きさのものを調達する方が管理上有用だったと考えると、ペーン構成は横 2×縦 3 ではなかったかと考えることができます。

この時、横目打はどのようにして穿孔されたのでしょうか？再度、図 9 及び図 10 をご覧いただきましょう。各シートの右側の耳紙にピンホールと思われる小さな穴が空いているのがおわかりでしょうか？該当する部分を拡大してみます（図 11～図 13）。

拡大図からお分かりの通り、1 円のシートには上下 2 箇所、2 円のシートには下に 1 箇所のピンホールが空いていることがわかります。2 円には 1 箇所しかピンホールは空いていませんが、窓口シートへの裁断のタイミングで切り取られてしまったのかもしれませんが。



図 11 1 円シートの右上部分



図 12 1 円シートの右下部分



図 13 2 円シートの右下部分

そして、1円の方は上下の穴が空いている部分を結んだ線を描くと、その線を境目として目打の穿孔がされていないことがわかります（図 14）。

このことは、どういうことを意味しているのでしょうか？私は、目打を穿孔するときの目印としていたのではないかと考えています。詳細な方法は分かりませんが、何かしらの目印があって、それを元にして正確に目打を穿孔していたのではないかと思います。

といいますのも、香港中華2版の単線目打は、目打が印面に食い込んだいわゆる“著しいオフ・センター”と呼ばれる切手はあまり多くなく、多少のバラツキはあるものの印面と印面の間のギャターと呼ばれる部分に正確に穿孔されている切手が多数を占めるからです。



図 14 1円シート

それでは、実際にどのように横目打を穿孔していったかを考えてみることにします。まず、ペーンの構成は前述の理由より横 2×縦 3 であったと仮定します。そして、右側にピンホールを配置して目印として横 2 シートを一度に目打の穿孔を行ったのではないかと考えています。そのため、左耳紙は全て横目打が穿孔されているものの、右耳紙はそうになっていないペーン（窓口シート）が存在しているのではないかと思いますのです。

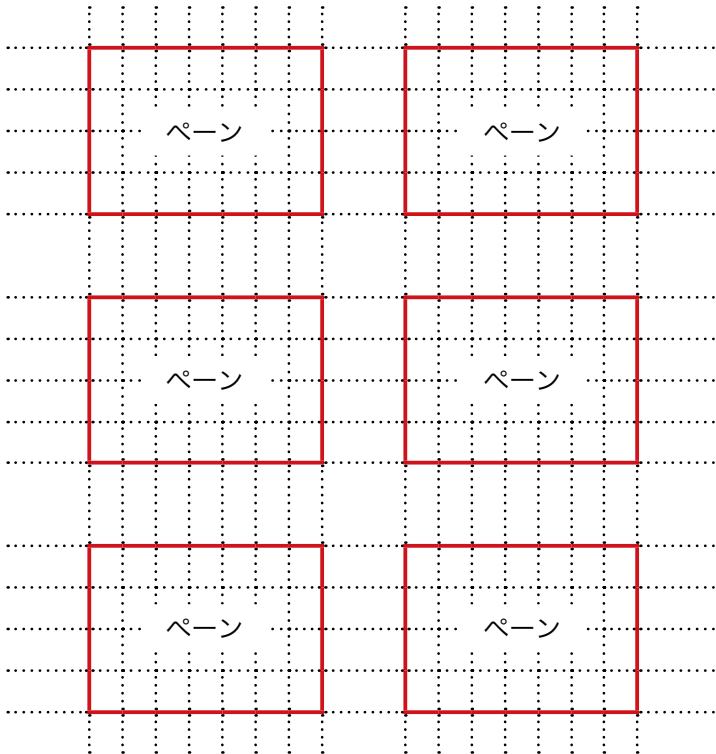


図 15 円単位切手のペーン構成によるピンホールの位置（想定）

従って、今回例示した図9および図10のシートは、裁断前は右側の列に印刷されたペーンではなかったかと想像しています。

それでは左側の列はどうだったのか？というのが気になるところですが、残念ながら断定できるような資料を持ち合わせておりません。ひょっとしたら右側の逆パターン（左耳紙の横目打は全部穿孔されておらず、右耳紙は全部穿孔されている）かもしれませんし、ごく普通の単線目打のシートの様に全ての耳紙に目打が穿孔されているかもしれません。この辺りは今後の課題となりそうです。

話は少し戻って、分単位切手のピンホールとはいうと、残念ながら手持ちの25分のシートにはそのような穴はなく全貌が掴めないのですが、ブロックの耳紙にピンホールと思われる穴が空いているものを所有しておりますので示しておきます (図16～18)。



図16 25分のピンホール



図17 2分のピンホール



図18 15分のピンホール

シートの全体像が分からないので同一のシートにピンホールは1つなのか、あるいは複数存在していたのかはわかりません。また、位置も左右バラバラなのでこれだけではどのような使われ方だったのかはわかりません。さらに多くの事例を集めることが必要と思います。また、余談になりますが、図16の25分の横目打は左に飛び出ているように見えますが、これは横位置のズレと合わせて縦目打のズレも関係していると思われます。図16の一番右側の縦目打は印面に食い込んでおり、シート全体でズレてしまっているものと思われます。

香港中華2版の単線目打は、表1および現在知られている発行日（出現日）より考えてみると、一定の、それも比較的早い時期に使われて、その後は殆ど使われなかった可能性があります。

特に、表1ではグループ2に分類されている15分赤と25分は他の切手と比べても比較的厚い用紙が使われており、裏糊の状態も独特です。このことは製造面の観点より大変興味のあるところですがこの辺りの因果関係も今後の課題となるでしょう。

従って、香港中華2版は目打・用紙・裏糊など試行錯誤を繰り返しながら切手の製造を行っていたことは間違いないと思います。

最後になりましたが、今回香港中華版孫文切手の単線目打について私の知り得る限りのことを手持ちのマテリアルを使用して考察を加えてみました。このように自分なりの考えをまとめてみると香港中華2版はまだ未解明の部分が多いと改めて感じています。そして、今回取り上げたマテリアルと同様の特徴を持つ切手が皆さんのアルバムの中にひっそりと残されている可能性は十分にあると思います。今回の小文についての皆さんのご指摘・ご報告を歓迎します。

参考文献

Clarence S. Springstead: A Study of The Chung Hwa Dr. Sun Issue Die Progression of The Cent Values The China Clipper 56 巻2号（通巻314号）1992年1月発行

重山 優：孫文像普通切手 第11回 香港中華2版1圓のフルシート 「蒐郵」2020年4月号

琉球の航空郵便（7）

天女航空 13 円

木戸 裕介

今回から天女航空に入ります。最低額の 13 円からスタートです。50 円に到達するまでも一年以上かかりますね。(笑) といっても、ここ 3 年くらいはほとんど増えていません。13 円は昨年 2 通増えました。後程ご紹介します。

天女航空は 1951.10.1 の発行です。先にご紹介した、ハト航空切手の時代、1951.2.1 の距離別航空料金の改正に対応する額面として、13 円、18 円、30 円の 3 種が発行されました。

当初は、葉書の航空料金は一段低い料金設定になっていたため、発行初期は単貼での葉書の適正料金は存在しません。翌年、1952.11.1 の料金改正で、地帯別料金に移行。全ての地帯で葉書と封書は同料金に改められました。これ以降は、単貼の葉書適正使用が存在します。

また、地帯が 5 つに区分され、第四第五地帯料金にはそれぞれ 40 円 50 円が設定されたので、当初は対応できる切手がありませんでした。天女航空でこの高額 2 種が発行されるのは料金改正からなんと 2 年後の 1954.8.16 です。そして 10 ヶ月後には航空料金全面改正なので、40 円 50 円の適正使用例は短期間で希少となります。

前段が長くなりました。13 円手持ちの使用例をご紹介します。まずは適正 1 枚貼で日本宛の航空便です。図 1 は那覇の丸二型で TYPE B と呼ばれる時期の印額、日本宛には珍しい横型封筒で気に入っています。

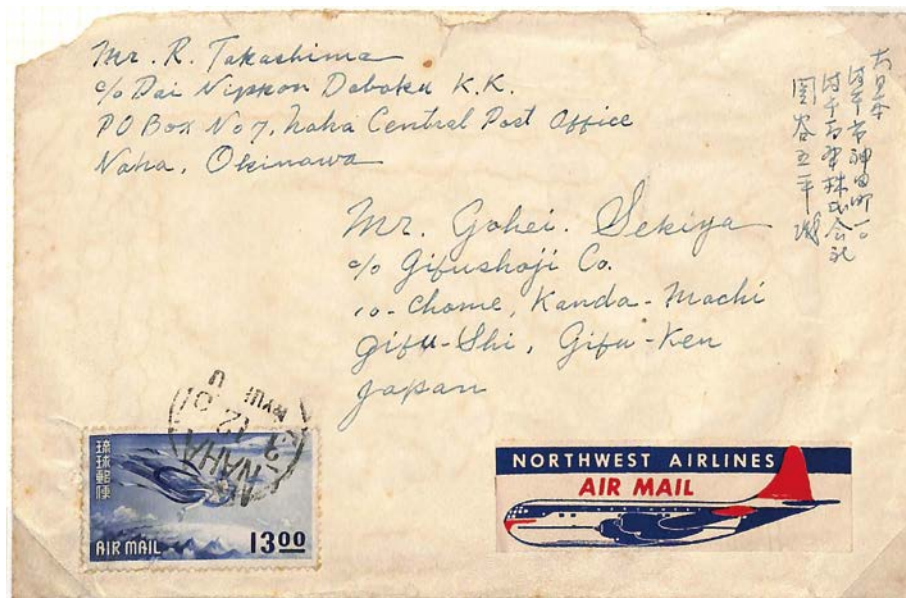


図 1

図2は離島の差出。久米島の半楕印です。52年なので比較的初期の使用。図3は宜野湾の楕型印ですが、53年の使用例。中期の印刷です。地帯別料金時期の第一地帯宛使用例です。



図2

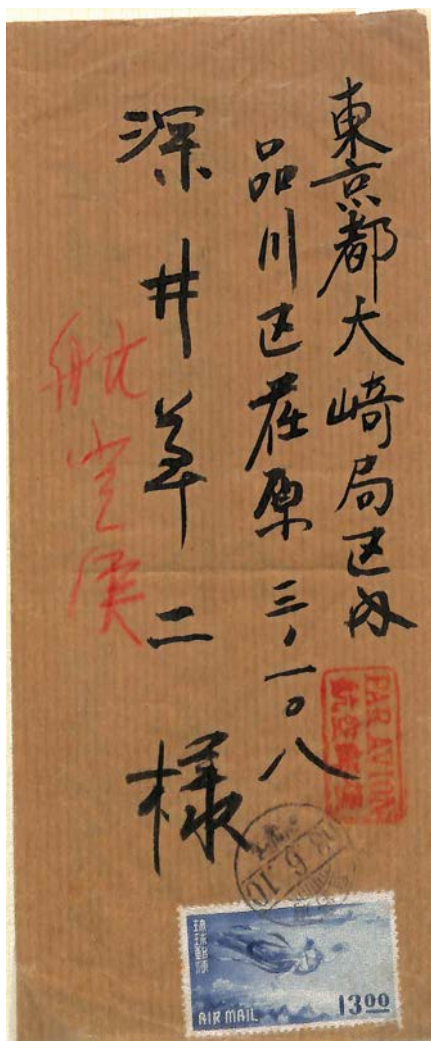


図3

日本宛は変化がなく退屈ですが、書留、重量便を加えるとアクセントがつきます。図4は書留料金として建造物10円を加貼、那覇の書留抹消印で消しています。使用例としては55年3月と、13円としては後期の使用例です。

図5は3枚貼日本宛3倍重量便使用例です。日本宛であっても多数貼の重量便は難しく、珍しいものです。2倍も実はないかもしれません。筆者は見たことがありません。



図4



図5

先述の通り 1955.6.1 に航空料金が全面改正となり、日本宛の第一地帯は 13 円→15 円となりました。図 6 のこのカバーは料金改正直後のもので、7 月の使用例。この料金改正に適應する航空切手は 2 年後の 1957.8.1 まで待たねばなりません。それまでの貼り合わせが適應使用例となり、自然な貼り合わせです。

日本宛の封書はこれで終わりですが、葉書が 1 通あるのでご紹介です。葉書と封書同料金時代の、自然な 1 通です。図 7 は年賀使用ですが、はがきの航空便はほとんどないでしょう。13 円と 30 円が比較的入手しやすいとはいえ、マーケットにはほとんど現れません。

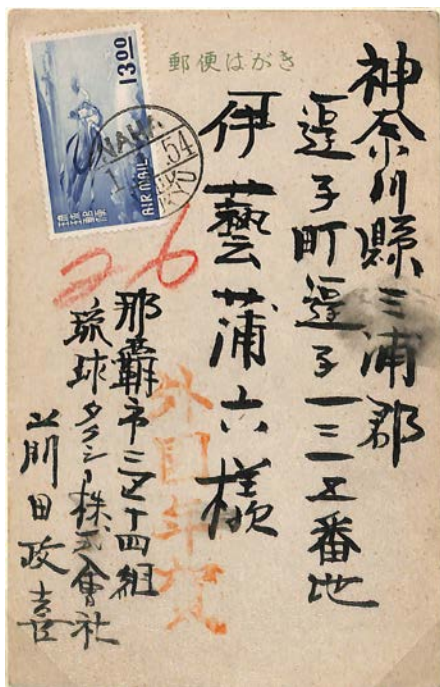
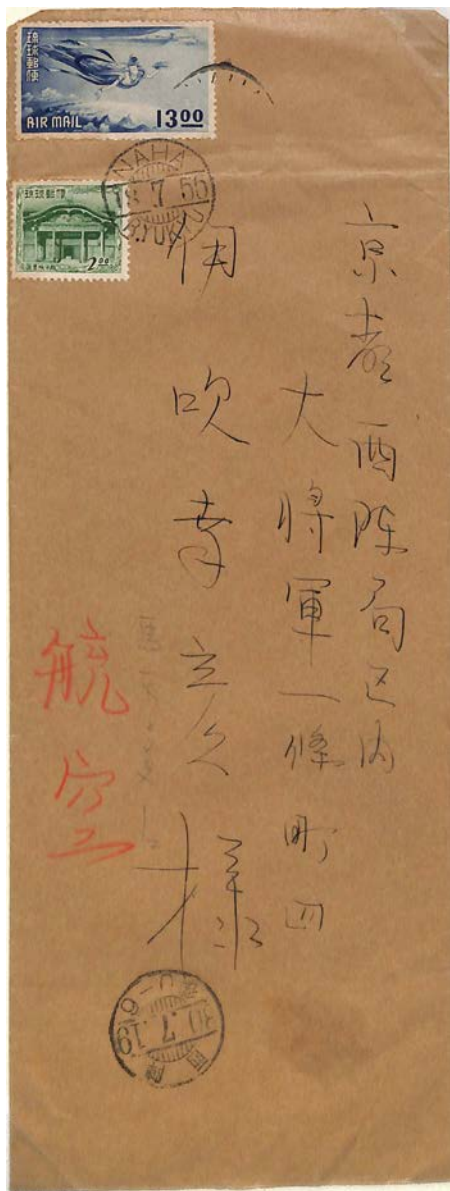


図 7

日本宛以外の宛先の外信便はあまり持っていませんでした。図8は台湾宛の使用例。1955年6月1日に日本と同じ第一地帯に編入され、日本宛と同料金になりました。

図9は葉書の使用例です。一番最初の距離別料金時代の使用例で、米国宛は封書は30円、葉書は半額の15円でした。当然15円切手はありませんので、この貼り合わせで適正となります。



図8

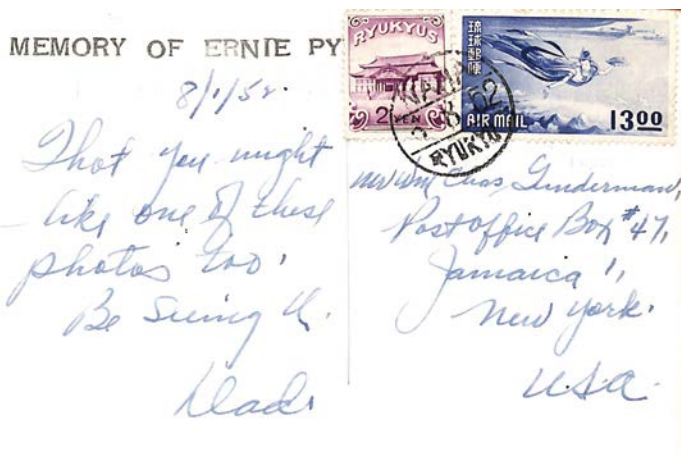


図9

以上が航空便の使用例。あとは内国使用例を紹介します。13 円切手は内国封書料金に比べ 4 倍以上と高額のため、あまり内国では使用されていませんが、内国 3 円、書留料金 10 円でぴったり適正になるので、奄美地区では単貼書留使用例が存在します。

ハト航空の時に述べましたが、奄美では航空切手を内国便に適応使用する傾向があり、実例が複数残されています。図 10 は鹿児島・喜界の県名入消印。喜界島の使用例です。書留ラベルはなく手書きで、干マークに局名と書留番号を記載した奄美スタイルです。奄美の各局でこの書式が見られます。図 11 は同じく内国書留ですが、消印は書留抹消印、消印は母間です。この局は徳之島に位置します。

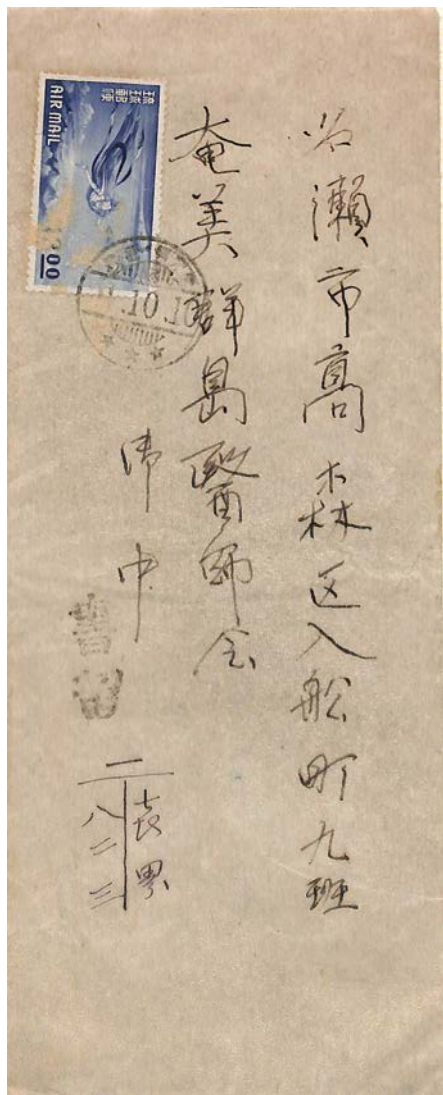


図 10

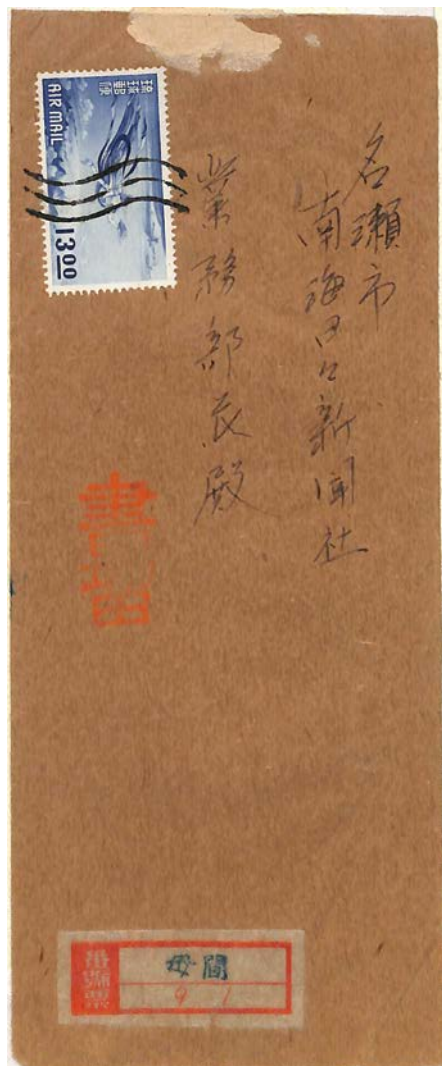


図 11

以上が航空、内国使用例のラインナップですが、特殊なものを最後に2点ご紹介します。図12を見てください。何の変哲もない日本宛の1枚貼ですが、額面13の上部に青い点が見えますでしょうか。これは初期印刷分の42番切手に存在する定常変種です。定常変種が使用例上に現れるのは珍しく、見つけた時は大喜びでした。

また、内国の特殊な貼り合わせとして、特別送達をご紹介します。特別送達自体は珍しいものではありませんが、この貼り合わせは希少です。同時期に名護治安裁判所から差立られた同一コレスポンデンスのものしか存在しないと思います。今までに4-5通目にしましたが、他にあるでしょうか。



図 12



図 13

戦後の欧文櫛型印（１０） 事務用印流用グループ

神宝 浩

欧文櫛型印は、一般に１９５２年（昭２７）の年末をもって使用が終了し、その後の欧文印は、すでに一部で使用が始まっていたいわゆる三日月型印に全面的に移行しましたが、１９５３年以降いくつかの局では、局内事務に使用する欧文事務用印が例外的に日付印として外信郵便物に流用されました。

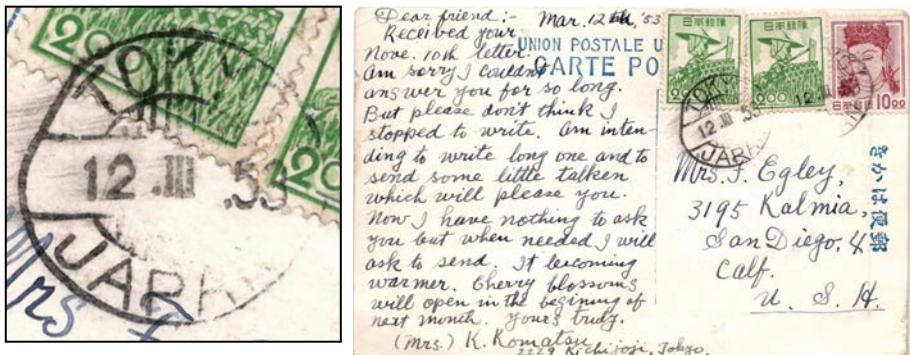
①	C 欄 NIPPON グループ
②	C 欄 JAPAN・先行グループ
③	C 欄 JAPAN・中間グループ
④	C 欄 JAPAN・後発グループ
⑤	事務用印流用グループ

この欧文事務用印は、年月日の「月」の活字がⅠ、Ⅱ、Ⅲなどのいわゆるローマ数字になっている点が特徴ですが、形態としては従来の櫛型印と同様、D、E 欄が縦線の櫛型となっていて、印影は「欧文櫛型印」ということが出来ます。このため本稿では、この欧文事務用印の郵便物への使用例を、表の⑤のとおり「事務用印流用グループ」として、今回独立して取り上げることとしました。

欧文事務用印は、C 欄は「JAPAN」で、ほとんどがゴム印ですが、一部に金属印も存在します。印色は一般に黒色ですが、局によっては青色印もあります。

TOKYO

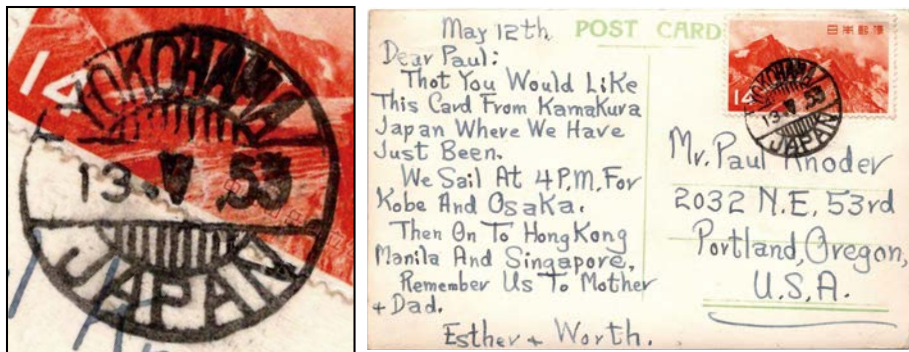
東京中央局の欧文事務用印は、日付印としての使用例はあまり多くなく、実郵便の収集はそう楽ではありません。図１は、米国宛の船便はがき（１４円料金）に TOKYO の事務用印が押されたものです。



【図１】TOKYO 1953.3.12

YOKOHAMA

横浜局の欧文事務用印の使用例は、神戸中央局と並んで比較的多くみられます。図2は、中部山岳14円を貼った米国宛船便はがきに YOKOHAMA の事務用印が鮮明に押されたものです。



【図2】YOKOHAMA 1953.5.13

OSAKA

大阪中央局では、欧文事務用印の郵便物への流用は原則として差し控えていたようで、筆者はこれまでのところ典型的な流用事例は見たことがありません。図3は、1965年にチェコスロバキア宛航空書状（郵便料金100円）に、消印洩れの抹消印として事務用印が使用された稀な例です。



【図3】OSAKA 1965.4.20

神戸中央局の欧文事務用印の使用例は、少ないながらも上記のとおり横浜局と並んで、他局よりは多く見かけます。図4は、立山航空や国立公園など、計288円分の切手を貼った米国宛書留航空書状3倍重量便で、料金内訳は、書状80円×3+書留48円＝288円です。図4のカバーの印色は黒色ですが、のちに青色印のKOBЕも使われています。

なお、神戸中央局では、図4のようなゴム印のほかに金属印も使われていて、式紙をカットした金属印の局内使用例は筆者も確認していますが、実通便への金属印の使用例については、筆者は未見です。



【図4】KOBE 1953.3.24

高知局については、金属印の欧文事務用印を日付印として郵便物に使用した例が数件知られています。外信便取扱量の多くない地方局で、しかも金属印の欧文事務用印を使用している点で、高知局はユニークな存在と言えます。

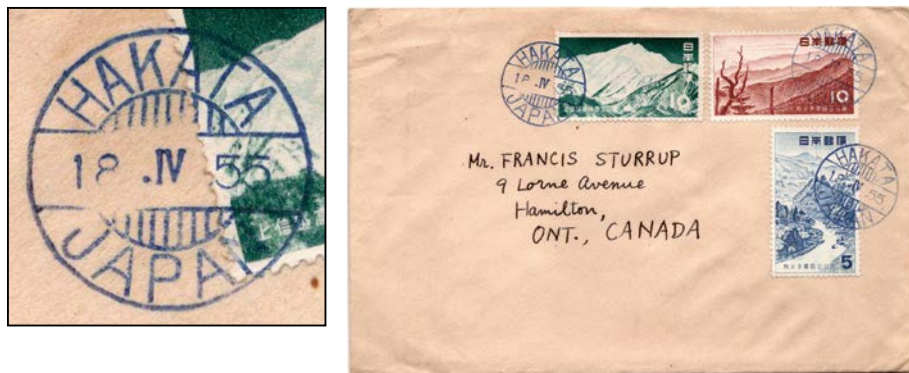
図5は、記念や公園など計52円分の切手を貼ったチェコスロバキア宛の平面路3倍重量便にKOCHIの事務用印を押したもので、郵便料金の内訳は書状基本料金24円+重量加算14円×2=52円です。



【図5】KOCHI 1956.12.7

HAKATA

九州の博多局でも欧文事務用印が日付印として使用されるケースがありました。図6は、上信越高原10円と秩父多摩2種、計25円分の切手を貼ったカナダ宛船便書状（1円過納）に HAKATA の事務用印が使われた例です。HAKATA の事務用印の印色は一般に青色のようです。



【図6】HAKATA 1955.4.18

以上、これまで全国各局の戦後の欧文櫛型印を、C 欄 NIPPON 印、C 欄 JAPAN 印の双方についてご紹介してきました。連載開始から今回までの記事をいわば第1部とし、次回からは第2部として、とくにいろいろなタイプの欧文櫛型印を使用している4大局（TOKYO、YOKOHAMA、OSAKA、KOBE の4局）について、各局ごとにその印影をやや詳しく見ていくこととします。

和欧文機械印トピックス（第74回）

3期中2期印混合使用

水谷 行秀

第67回と73回にて紹介した波が3期で局名部が2期のものであるが、前2回で紹介したような切り替え時でもないのに3期に入ってから2期の局名部を使用した局が確認されている。

3期への切り替わり時期でもなく、印色変更のタイミングでもない時にである。この使用理由が未だ謎であるが、出現順に紹介して行こう。

釧路中央 1991年1月1日のものが単片で1点だけ確認されている（図1）。

熊本東 1991年1月4日のものを単片で1点とカバーを1点確認している（図2）。少ないものの2点が同じ日付というのはたまたまなのか、この日にしか使われなかったのか。今後新たな発見・報告が望まれる。



図1 釧路中央



図2 熊本東

浜松西 1991年1月4日から3月11日の2ヶ月強の期間で確認している（図3）。

使用期間がこれだけあるので、単片であれば入手は可能な範囲。カバーとなると少々ハードルが上がるが、何とかなるレベルであろうか。



図3 浜松西

姫路 1991年1月8日から3月1日までの2ヶ月弱の期間確認されている(図4)。こちらも単片ならば入手は可能。カバーでは少々難しくなる。

博多 1991年1月10日のものを1点のみ確認している(図5)。局が大きいのでもう少し出て来そうと思うが、現時点では1点に留まっている。

千葉中央 1991年3月11日から3月29日までのデータが確認されている(図6)。個人的には単片1点しか所持しておらず、入手は難しいイメージを持っている。

土浦 1991年3月30日のデータが報告されている。

中野 1991年7月10日のものを1点確認している(図7)。

荒川 1991年10月7日のカットを1点確認している(図8)。この1点しか見た事も聞いたことも無く、局の大きさからこれ以上の発見は困難か。



図4 姫路



図5 博多



図6 千葉中央



図7 中野



図8 荒川

郡山 1992年1月7日から2月24日までのデータが確認されている(図9)。1ヶ月半しかない割に確認数は多く、入手も中程度の難易度か。

甲府中央 1992年2月13日から4月12日が確認されている(図10)。こちらも2ヶ月の使用の割に多くの実例が確認されており、時々中小のオークションやYahooのオークションにも出るの
で入手は可能であろう。

千歳 1992年10月17日から11月14日までの確認(図11)。1ヶ月弱と局の大きさからか確認数は数点のレベル。この局が使った理由を噂レベルで耳にした。丸形では都道府県名が入っていない、東京と特定される2期印を使用したとの理由らしい。しかし丸形では既に和文で東京・千歳、欧文でTOKYO・CHITOSEと表記が変わっておりこの噂は憶測ではないかと思っている。

横浜集中 1992年10月30日から11月25日の確認(図12)。1ヶ月弱しか無い割に見かけるのは局の大きさや集中処理体制が理由と考えている。とは言え、多い訳ではなく入手には運が必要か。



図9 郡山



図10 甲府中央

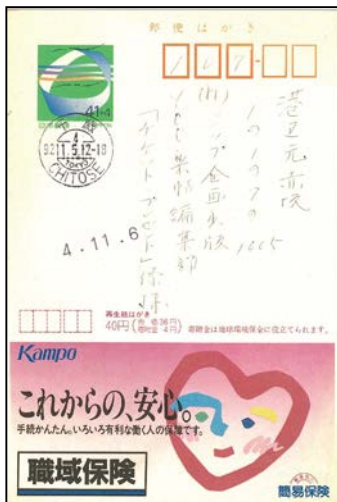


図11 千歳



図 12 横浜集中

本郷 1993年1月7日から9日が確認されている(図13)。その間わずかに3日間。たまたまキロボックスから複数発掘されたようで、当時私も購入し何点か所持している。その時の物が回りまわって入手できるかがキーとなろう。カバーは未見。存在しているのだろうか。

日本橋 私蔵では1993年8月6日の物(2点)しかないが(図14)、他にも何点か見た記憶有り。データを控えなかった私のミスであるが1日だけではなかったと思う。使用期間は短いだろうが、局が大きく郵便取扱量も多いため現代切手収集家のストックブックに入っている可能性は高いと思われる。こちらもカバーは未見だが、これは発見される可能性はあると思う。

豊中南 現在2点の確認。その2点は単片とカットで共に1999年7月11日のデータ(図15)。1日のみとは限らないが相当短い期間と思われる。2期印に移ってから9年も経ってからの使用。印架を洗う時にでも間違えたのだろうか。この局のカバーの発見は可能性が低そうである。



図 13 本郷



図 14 日本橋

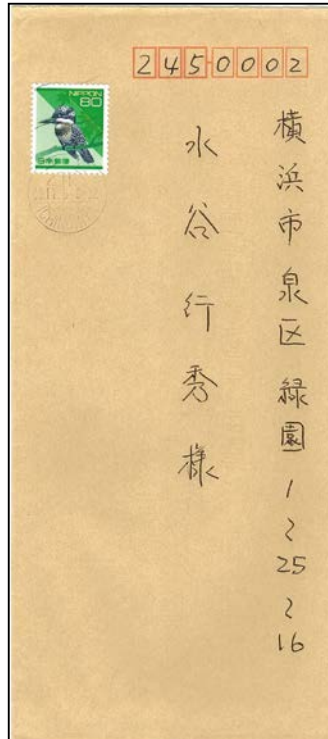


図 15 豊中南

一宮 これも 1999 年の使用。1999 年 7 月 22 日から 11 月 25 日のデータを確認している。これはもう少し期間の更新が期待できると思う。4 ヶ月もあったため、使用期間中に郵趣界に情報が回った。私もこれを聞いたので郵頼したところ成功した (図 16)。12 月に入って 2 度目の郵頼をしたら既に正常な 3 期となっていた。1 回目は試しの 3 通しか作っていず、もっとたくさん作っておかなかったことが悔やまれる。他にも作った人はいたようで、作り物と思われる単片などを複数見ている。



図 16 一宮



次ページの表にこれまで 6 6 回・6 7 回・6 9 回・7 3 回で紹介したものを含め、2 期印と 3 期印の混合印と 2 期印そのままの誤使用の一覧表を掲載しておく。全体的にこの混合印・誤使用のカバーを入手するのは難しい。

参考文献：「すたんぷふれんど」12 号「TOKYO」14 号 高崎真一

3 期における、2 期印（部分）誤使用

形式	局名	使用確認期間
A	名古屋集中	1990.10. 1 - 1991. 4.19
	麹町 (M6)	1990.10. 1
B	八戸	1990. 9.30
C	板橋北	1990.10. 1 - 1990.10. 2
D	新宿	1990.10. 1
	杉並南	1990.10. 1 - 1990.10. 5
	静岡南	1990.10. 1 - 1990.10. 3
	豊橋南	1990.10. 1 - 1990.10. 6
	岐阜中央	1990.10. 1 - 1990.10. 6
	新潟中央	1990.10. 1
	和歌山中央	1990.10. 1 - 1990.10. 2
	那覇中央	1990.10. 1
	釧路中央	1991. 1. 1
	熊本東	1991. 1. 4 -
	浜松西	1991. 1. 4 - 1991. 3.11
	姫路	1991. 1. 8 - 1991. 3. 1
	博多	1991. 1.10
	千葉中央	1991. 3.11 - 1991. 3.29
	土浦	1991. 3.30
	京橋	1991. 4.20 - 1991. 7.12
	米子	1991. 4.20
	倉敷	1991. 4.20 - 1991. 5.10
	福山東	1991. 4.20
	仙台東	1991. 4.22 - 1992. 2. 4
	中野	1991. 7.10
	荒川	1991.10.17
	郡山	1992. 1. 7 - 1992. 2.24
	甲府中央	1992. 2.13 - 1992. 4.12
	千歳	1992.10.17 - 1992.11.14
	横浜集中	1992.10.30 - 1992.11.25
	本郷	1993. 1. 7 - 1993. 1. 9
	日本橋	1993. 8. 6
	豊中南	1999. 7.11
	一宮	1999. 7.22 - 1999.11.25

形式 A. ハブ 2 期標語無し縦 6 本波

局名部 2 期

形式 B. ハブ 2 期ハッキリと

局名部 3 期

形式 C. ハブ 2 期標語無し縦 6 本波

局名部 3 期

形式 D. ハブ 3 期横 2 本波 3 期

局名部 2 期

和欧文機械印トピックス（第75回）

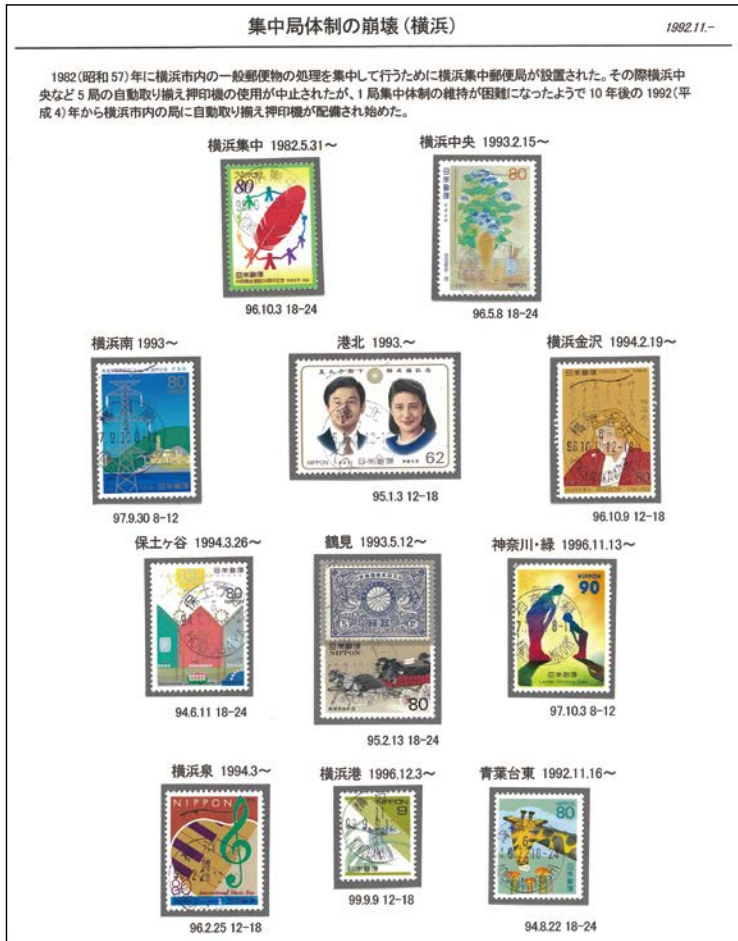
集中局体制の崩壊（1）

水谷 行秀

第45回で紹介した通り1982年5月31日に横浜集中局が開局した。市内の一般郵便物の処理を集中局でまとめて取り扱うこととした全国初の試みであった。これに合わせ横浜中央・鶴見・横浜港・戸塚西・港北の5局は自動取り揃え押印機の使用を中止した。

それから10年経過した1992年に青葉台東に配備されたのを皮切りに1993年横浜中央、鶴見、横浜南、港北、1994年横浜金沢、保土ヶ谷、横浜泉、1996年神奈川緑と配備が続いた。これは1局集中体制が困難になったためと思われる。

収集の観点ではこれらの中に特に珍しいものはないので、図のリーフのように単片で揃えれば充分ではないかと思う。横浜集中局の開局と共に集中局体制を崩す郵政の施策を表わす出来事であるため、それを示すことの出来るアイテム達と言えるであろう。



和欧文機械印トピックス（第76回） 中央局の復活使用

水谷 行秀

第17回、62回で紹介した通り地方の中央局とは別に新規の局を設置し、機械と共に集配業務を移した例が相次いだ。

しかし1994年10月に青森中央と松山中央に再配備され使用を再開したのを初めとし、1994年中に静岡中央、熊本中央と続き、1995年には長野中央と富山中央も使用を再開した。

注意したいのは新規の局から中央局に戻ったのではなく、新規の局は使用を継続している中で中央局に追加で配備されたのである。1局に集中させるよりも効率が良いと判断されたためであろう。

地方とは言え中央局である。郵便量もそれなりにあり、使用期間の短いものもなく、収集上困難なものはない。これらを図のように1リーフに整理してみた。こんなまとめ方も面白いのではないだろうか。

中央局の復活使用

1994.3-

これまで地方の中心局や中央局から新規に設置された局に集配業務と共に自動取り揃え押印機も移した例が相次いだ
が、1994(平成6)年に降にそれら新規の局に加えて中心局や中央局への自動取り揃え押印機再配備が行われた例が
見られた。

青森中央 1994.10.24~



97.9.5 12-18

富山中央 1995.10.1~



97.5.15 13-5

長野中央 1995.3.25~



01.11.3 12-18

静岡中央 1994.11.13~



96.6.21 12-18

松山中央 1994.10.24~



95.12.29 12-18

熊本中央 1994.11.28~



03.8.16 8-12

昭和 28 年 7 月 5 日と 7 月 15 日

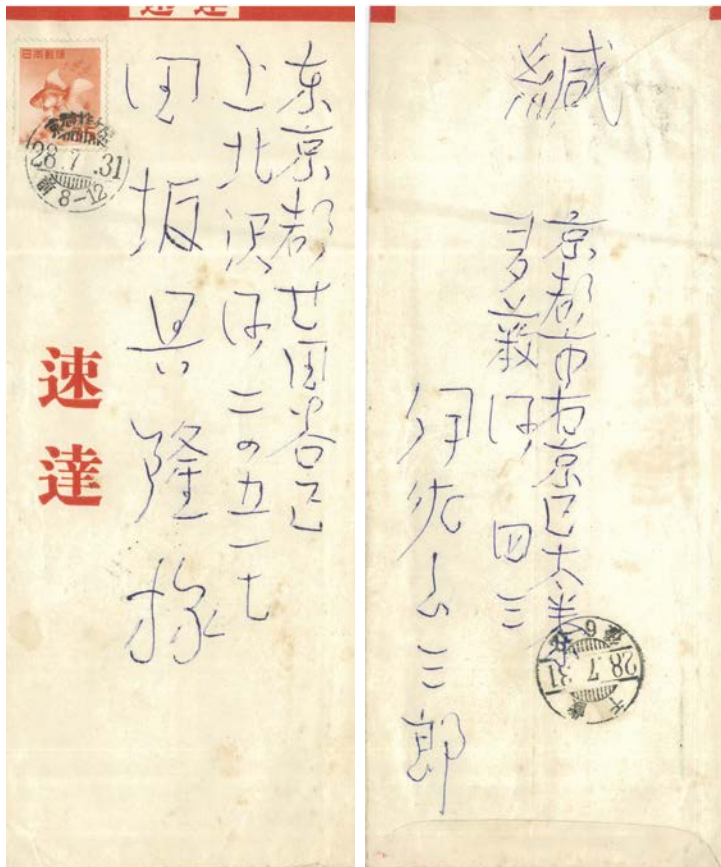
—国内航空郵便の速達郵便制度への統合—

行徳 国宏

「昭和 28 年 7 月 5 日から、(国内) 航空郵便制度は速達郵便制度に統合されることになった。」
そして「速達郵便物中第 1 種及び第 2 種郵便物は、航空便により運送する方が速達すると認められる場合は、航空便により運送することとされた (郵便法第 56 条、郵便規則第 100 条 1 項 1 号)」(28 年 6 月 30 日付け郵政公報号外第 38 号中の郵業第 179 号より)。

この郵便規則をそのまま読むと、7 月 5 日から国内航空郵便扱いだったものが速達郵便物として航空路に搭載されることになったと受取られてきた。

航空郵便制度が速達郵便制度に統合された日は 28 年 7 月 5 日であることは発表された通りであるが、統合された速達郵便物が実際に航空路に搭載されることになった日と同じ日なのか否かにつ



京都桂ヶ原 28.7.31 前 8-12 → 千歳 (東京) 7/31 後 6-12

大阪から東京へ空輸され、差出日中に配達局に到着した。半月しかない速達航空運送初月使用例。

いて、最初に発表された文献は、天野安治氏の『エンタイアを読む』（日本郵趣出版、1984年6月5日）である。「このようにして出発した国内航空郵便も速達便に統合され、**昭和28年7月15日限りで姿を消しました。**」（85ページ）

次に発表されたのは『日本普通切手専門カタログ（郵便史・郵便印編）』中の「航空郵便」75ページに「**28年7月14日**、航空郵便制度の廃止、速達と統合。廃止。法律50号」（公益財団法人日本郵趣協会、2018年11月20日第1版。）

そこで、主題の国内航空郵便の速達郵便への統合の時間的経過に関して、廃止・施行日と実際の施行日について紛らわしく思われる向きもあるうかと考えて一覧表にしてみた（昭和年号を省略した）。

廃止・施行日	内容	公報番号
28年7月4日 廃止	26年10月郵政省告示第411号（航空郵便の廃止取扱地域）及び28年1月郵政省告示第98号（郵便物を航空路により運送する区間及び日時）は28年7月4日限り廃止する。	告示875号
28年7月5日 施行	郵便法の一部を改正する法律第57条中「航空郵便、」を削る。第60条第2項を次のように改める。 速達の取扱は、郵政大臣の定める地域にあてる郵便物につき、これをするものとする。 付則この法律は28年7月5日から施行する。	法律第50号
28年7月5日 施行	航空郵便制度が速達郵便制度に統合され、…（中略）航空郵便制度が廃止された。 取扱の内容「速達郵便物中第1種及び第2種郵便物は航空便により運送する方が速達すると認められる場合は、航空便により運送することとされた。	郵業179号 後段
28年7月5日 施行	（速達郵便の配達方法） 速達郵便物は最もすみやかな運送便により遅滞なく運送すること（第100条） 郵便法第60条第2項に地域は配達局から郵政省の定める路程による陸路4km以内の場所及び郵政省において特に適当と定める場所とし、郵便局にこれを提出する。	省令24号
28年7月5日 施行	「取扱地域外あて速達郵便物の取扱い」 速達の地域外以外の場所にあてた速達郵便物であって、「地域外承知」と朱記していないものは、便宜「地域外承知」と朱記してあるものに準じて、速達としない郵便物と同一の方法により配達しなければならない（第133条の2） この公達は28年7月5日から施行する。	公達67号
28年7月15日 施行	速達郵便物のうち第1種と第2種郵便物については、航空郵便線路を経由運送することによって速達と認められる場合に限り、航空路により運送する…。 …本件実施は28年7月15日とする。	東京局輸二 4424号

以下に 28 年 7 月 15 日とした資料を引用する。28 年 7 月 10 日付け東京郵政局報第 416 号に掲載の局輸ニ 4424 号（上記）の詳細を以下に引用する。

「速達郵便物の送達速度を向上し、あわせて事務取扱いの合理化を図るため、…速達郵便物のうち、第 1 種及び第 2 種郵便物については、航空郵便線路を経由運送することによって速達と認められる場合に限り、航空便により運送することとなる予定であるから、準備方よろしく取り計らわれない。なお、確定のうへは、別途通達する。

1 利用する航空郵便線路及び運送便数、発着時刻

(1) 航空郵便線路および運送便数

東京博多間航空郵便線路

東京博多間 上下各 2 便

東京大阪間 上下各 2 便

東京札幌間航空郵便線路

東京札幌間 上下各 2 便

(2) 航空郵便線路発着時刻

別表 1 及び 2 の航空郵便線路発着時刻表のとおり。

2 航空便利用地域

航空便を利用して運送される地域は、別表 3 のとおりである。

(中略)

5 実施期日

本件実施は昭和 28 年 7 月 15 日とする。」

別表 1 東京博多間航空郵便線路

便名、発着時刻：航空機便名

局名	飛行場名	下り		上り		局飛行場間 km	同運送時間 時分
		1 号 (301)	2 号 (303)	1 号 (304)	2 号 (302)		
東京中央	羽田	発 8:00	15:20	着 12:55	21:00	18.0	0.50
名古屋中央	小牧	着 ……		発 ……		14.0	0.40
		発 ……		着 ……			
大阪中央	伊丹	着 9:50	17:10	発 11:05	19:20	14.3	0.40
		発 10:20	17:40	着 10:40	18:35		
岩国	岩国	着 11:35	……	発 9:25	……	4.5	0.15
		発 11:55	……	着 9:10	……		
博多	板付	着 12:50	19:35	発 8:15	17:00	5.0	0.20

東京大阪間		下り		上り	
		1 号 (101)	2 号 (103)	1 号 (104)	2 号 (102)
東京中央	羽田	発 11:10	17:30	着 9:50	16:30
名古屋中央	小牧	着 12:30	18:50	発 8:30	……
		発 12:45	19:05	着 8:15	……
大阪中央	伊丹	着 13:30	19:45	発 7:30	14:40

別表2 東京札幌間航空郵便線路

便名、発着時刻：航空機便名

局名	飛行場名	下り		上り		局飛行場間 km	同運送時間 時分
		1号(501)	2号(503)	1号(502)	2号(403)		
東京中央	羽田	発 7:30	14:00	着 14:20	21:20	18.0	0.50
札幌	千歳			発 11:20	18:20	39.3	1.40
		着 10:30	17:00				

別表3 航空便利用地域一覧表

差出地域		同左
受渡局名	到着地域受	渡局名
札幌	宮城、福島、新潟、長野、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、静岡、愛知、岐阜、三重の各県	東京中央
札幌	名古屋市	名古屋中央
札幌	大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山、滋賀、石川、福井、岡山、広島、鳥取、島根、山口、四国各県	大阪中央
札幌	広島、山口各県	岩国
札幌	九州一円	博多
東京中央	北海道一円	札幌
東京中央	名古屋市	名古屋中央
東京中央	大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山、滋賀、岡山、広島、鳥取、島根、山口、四国各県	大阪中央
東京中央	九州一円	博多
東京中央	広島、山口各県	岩国
名古屋中央	九州一円	博多
大阪中央	北海道一円	札幌
大阪中央	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、東京中央、東北6県	
大阪中央	広島市	岩国
大阪中央	九州一円	博多
岩国	北海道一円	札幌
岩国	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、東京中央、新潟、長野、東北各県	
博多	北海道一円	札幌
博多	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、静岡、長野、東北各県	
博多	岐阜、愛知、静岡、長野、福井、石川、富山、新潟、山形、秋田、大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山、滋賀各県	大阪中央
博多	広島市	岩国

さらに、実施日を確認できる他の地方郵政局報を引用する。

28 年 8 月 4 日付け熊本郵政局報第 425 号に掲載の郵施局第 3527 号より。

「航空郵袋の運転について

7 月 15 日から速達郵便物の航空郵便線路による運送実施に伴い航空郵袋の需要増を予想し、目下本省において相当数の調達方取運び中である…。」

7 月 5 日と 7 月 15 日の日数的なズレが生じた事由は、航空会社と郵政省との間に速達郵便物の搭載重量に応じた再契約に要した時間差にあった。航空会社と郵政省との間に速達郵便物の搭載重量に関する契約内容が分かったので、以下に引用させていただく。

「昭和 28 年 7 月 5 日、航空郵便制度が速達郵便制度に統合されて、第 1 種及び第 2 種の速達郵便が航空輸送されることになり、郵便物数が飛躍的に増加した。この機会に従来の航空運送料率に再検討を加え、スペースチャーター制を廃止して、すべて重量距離制に改め、[1 キログラム／1 キロメートルにつき 40 銭] とした（実施日、昭和 28 年 7 月 25 日）。

算定に当たっての基本的考え方は、日本航空の国内線に要する年間諸経費の中から、旅客・貨物及び郵便物の運送に要する共通経費を求め、当該経費に総有償等最重量の中に占める貨物及び郵便物の有償搭載重量の比率を乗じ、さらにそれを、貨物及び郵便物の年間見込運送重量で除して算定した。」

（笹尾 寛著『航空郵便のあゆみ』（郵研社、平成 10（1998）年 5 月刊）の「第 2 部第 4 章第 2 節「航空運送料率の変遷等、2. その後における航空運送料率の改正、189 ～ 190 ページ）。

郵政省は日本航空との契約締結に向けて協議中であったが、契約を目の前にした 7 月 15 日というキリのよい日、7 月 15 日から速達郵便物の航空搭載を開始した。両者の契約は上記のように、7 月 25 日であった。

富士鹿 DIE I (旧版) 印刷版の十字トンボ導入時期

吉田 敬

コロナ禍が始まって以来、外出して、切手を買に行く機会が少なくなりました。インターネット上で購入できる切手やカバーの質・量は十分であり代替できていますが、全てが異なる古物からの宝探しでは、即売会やフリマだけにしか足を運ばない人は、インターネット上に登場する品物の入手機会を失います。その逆も同様です。

12月最初の週に有楽町で開催された切手商協同組合の催事は、私にとっては久々の外出して切手を買に行くチャンスでした。30分程度の滞在でしたが、顔馴染みのディーラーに見てもらったストックブックを見ていて、息を飲み、入手機会が遂に訪れたことに感謝したのが、図の富士鹿改色4銭切手 DIE I (愛称「富士鹿旧改4銭」)です。

冒頭に書いた通り、インターネットにせよリアルにせよ、隈なく切手を探すことは簡単ではありませんが、少しでも機会を増やすことによりようやく入手が叶い喜んでいきます。

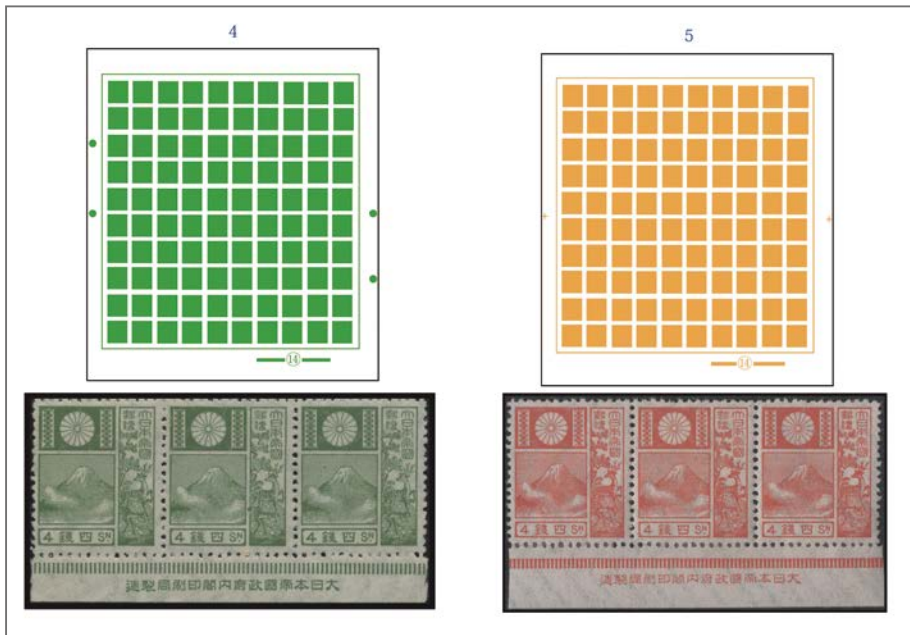
ところで、筆者が興奮気味に紹介している切手に、トンボの印刷された耳紙がついていることはどなたでもお気づきになると思いますが、この状態の切手の存在が確認されたことがどれだけエポックメイキングな出来事であるかは「ポカン？」な人も多いと思いますので次ページで解説します。



2020 年に「富士鹿切手の製造面 (Stampedia Philatelic Journal 2020, スタンペディア)」という 38 ページだての記事を執筆し、天野さんに始まる先行研究に、自分の研究結果を加えて発表しました。

同記事中に「DIE I の印刷版の実用版の違い」という章があります。日本では富士鹿切手の DIE I は「旧版」と呼ばれることが慣例ですので、本稿では以後「旧版」と記載します。同記事で私は、『旧版富士鹿の印刷版は 5 種類に区分できる』という仮説を立てました。従来説では 4 種類でしたので、私の仮説では一つ増えたことになります。当該部分の記事を引用して以下に表示します。

	刷色 SHADE	銘版の文字数 Num of imprint	銘版 Pos. Pos. of imprint	罫線 Ruled line	発売開始時期 issue date	製造時期 Production period	トンボ register mark	糊 塗布時期 gumming *
1	緑	12	95-96	○	1922.1.1	1921-1923	ドット dot * 2	印刷後 after
2	緑	12	95-96	×	1924.-	1924-1925	不明 unknown	印刷前 before
3	緑	14	95-96	○	1925.-	1925-1926	ドット dot * 4	印刷前 before
4	緑	14	97-98-99	○	1926.-	1926-1929	ドット dot * 4	印刷前 before
5	橙	14	97-98-99	○	1929.9.-	1929-1930	十字 cross * 2	印刷前 before



引用：富士鹿切手の製造面 (Stampedia Philatelic Journal 2020, スタンペディア)

印刷版の分類を一つ増やすにあたり、私が注目した点は上記表をご覧いただければ分かりますが、従来同一とされてきた「3 枚がけ 14 文字銘版」の印刷版には、トンボの形状が「ドット」と「十字」の 2 種類が存在するのではないだろうか？という点でした。

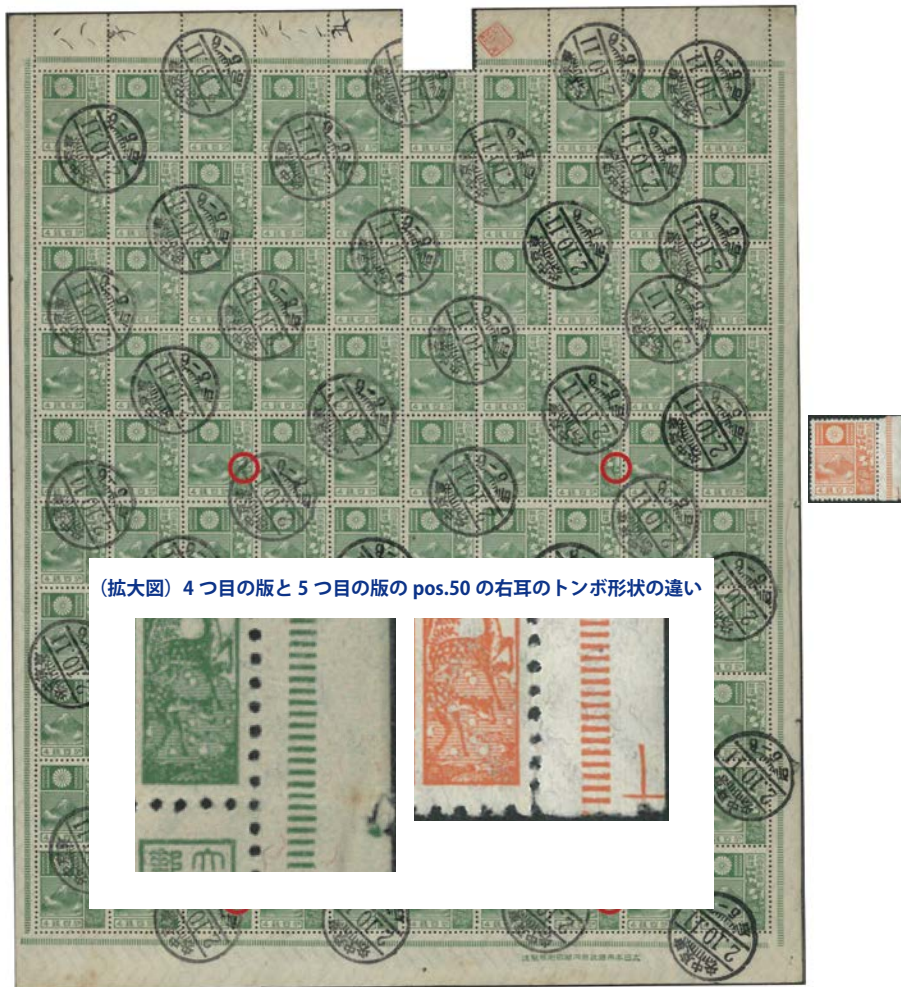
この仮説を導き出したのは、2007 年 3 月の香港 John Bull 社のオークションカタログに掲載されていた「旧改富士鹿 20 銭のシート」画像に十字トンボが存在しているのを確認したからです (Pos.41-51 の左と Pos.50-60 の右)。このシートは不落札となり、その後の行方も知れていません。

一方で外国のオークションでの取り扱いですので、旧版ではなく新版の可能性もあるとも考えました。どの額面でも良いので、旧改富士鹿切手の十字トンボ付きの存在を確認できるまでは、仮説の域を出ないと考えていましたので、ここ 3 年ほど気にして探していました。

今回の入手で、旧版富士鹿改色4銭切手の印刷版に5つ目の版（前ページ右図）が用いられたことは証明されました。下図左の様に、旧版富士鹿4銭切手（緑色）の印刷版には4つ目の版（前ページ左図）しか現在は確認されていません。

過去には「旧版富士鹿改色切手は、直前まで製造されていた旧版富士鹿切手の印刷実用版をそのまま用いて、インクの色だけ変えた」と言う仮説も存在しましたが、現在存在するマテリアルによれば、「旧版富士鹿切手の改色前と改色切手の印刷実用版は異なる」方がより正しいと導くことが可能です。

もちろん、^{はざかい}端境期は何事にも存在しますので、今後、4つ目の版で刷った橙色や5つ目の版で刷った緑色が絶対に出てこないとは断言できません。しかしながら「無いことの証明は困難」ですので、その議論は、そのようなマテリアルの出現を待って帰納的に考えたら良いと思います。



(拡大図) 4つ目の版と5つ目の版の pos.50 の右耳のトンボ形状の違い



4つ目の印刷実用版で刷られた旧版富士鹿4銭シート（ドットのトンボ付き）と、
5つ目の印刷実用版で刷られた旧版改色富士鹿4銭 Pos.50（十字のトンボ付き）

切手コレクション紹介

JAPEX 2021 金銀賞受賞作品 付録1に全リーフ掲載 (1F)

<支那>加刷・大正白紙切手 2、4、10銭切手

柳川 英幸

<支那>加刷・大正白紙切手 2、4、10銭切手は外国郵便・基本料金の額面3種です。この3額面はU.P.U. 規定色で印刷されました。U.P.U. 3色の切手でまとめました。

<支那>加刷・大正白紙切手

2、4、10銭

U. P. U. 規定色切手



2 銭 (緑色)

外信印刷物料金



4 銭 (赤色)

外信はがき料金



10 銭 (青色)

外信書状料金

標型目打 12 X 12 ½ : P. 12 X 12 ½
(確認された目打はこの目打のみ)

<支那>加刷・大正白紙切手 2、4、10銭は外国郵便の基本料金切手としてU.P.U. 規定色で印刷された。在中国日本郵便局でこの3額面は1913年(大正2年)10月31日から発売・使用された。次の<支那>加刷・旧大正毛紙切手は翌年1914年(大正3年)5月20日より発売・使用された。この為<支那>加刷・大正白紙切手(計11額面)は短命であり、発行数は普通切手としては少ない。この為 未使用・使用済の残存数は共に少ない。

推定発行数=100面シートより 2銭:10万枚 4銭:4万枚 10銭:1.4万枚

=外信用切手帳100冊(1冊:2銭2ペーン 4銭6ペーン 10銭3ペーン)

- ・2銭 : 10万+1200枚(200ペーン)
- ・4銭 : 4万+3600枚(600ペーン)
- ・10銭: 1.4万+1800枚(300ペーン)

この作品は<支那>加刷・大正白紙切手の外国郵便・基本料金の額面3種(UPU3色)をまとめました。最近報告された定常変種等も加えました。

- ・<支那>加刷・大正白紙2銭(外信印刷物料金) : P. 2~6
- ・<支那>加刷・大正白紙4銭(外信私領はがき料金) : P. 7~11
- ・<支那>加刷・大正白紙10銭(外信書状料金) : P. 12~16

参考文献

- ・日本普通切手専門カタログ Vol.1 戦前編 日本郵趣協会 2016年
- ・いのうえやすひこ 田沢切手専門カタログ 秋坂RIM企画 1980年
- ・山口 亮 郵趣研究 日本郵趣協会 139号、151号、161号
- ・天野安治・古家美和 日本の郵便切手帳 日本郵趣協会 2007年
- ・山口 亮 JPS「菊・田沢切手研究会」会報

1

タイトルリーフ

なお、作品オーナーのご好意で本作品は全リーフが付録に収められています。付録は「マイスタンプペディア」よりダウンロードできます。入手後は個人の利用の範囲で印刷等してご利用ください。

〈支那〉加刷

大正白紙

2 銭

1913. 10. 31. 発行

外信用切手帳ペン



P. 12×12½

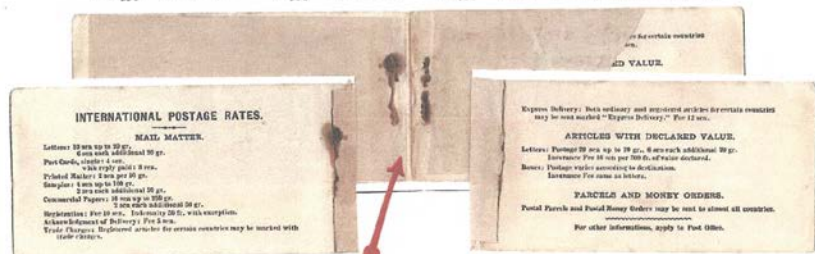
間紙

下2枚切り離し使用

切手帳表紙



10 銭 3 ペーン 4 銭 6 ペーン 2 銭 2 ペーン: (上よりセット)



左右の遊び紙に約 1 mm の隙間 (ペン+間紙厚 11 セット分) 内側コピー X 8 6 %

3

3 ページ

切手コレクション紹介

JAPEX 2021 大銀賞受賞作品 付録1に全リーフ掲載 (1F)

北海道の発時刻入櫛型鉄郵印

長野 行洋

1906 (明治39) 年4月より鉄郵印は丸一印から櫛型に順次移行された。C欄に始発駅・発時刻が表示された、いかにも日本人らしい几帳面な消印が約7年間、全国で200余路線使用された。国策で線路が伸びた北海道では5路線18区間使用されたがいずれも少なく、12路線を示したマルコフィリーの作品である。

北海道の発時刻入櫛型鉄郵印		○：発字(ユウ) △：乗車 △：降車											
路線	区間名	使用期間	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上
道	函館小樽線	M39.9.1~M41.4.30	前8:15 后8:00	前8:15 后8:30					前7:50 后11:30	后7:30			
	函館札幌線 (函館小樽線の増設)	M41.5.1~M44.4.30	前8:00 后8:30	前8:30 后8:00					前8:00 后11:00	后8:00			
	小樽旭川線	M40.3.1~M41.4.30	前8:00						前8:30			后1:20 后2:10	
	札幌旭川線	M41.5.1~M44.4.30	前6:00 前10:55	后4:00 后5:00									
道	旭川網走線 (札幌旭川線の増設)	M44.5.1~T 2.3.31	前9:00										
	旭川札幌線 (旭川網走線の増設)	M44.5.1~T 2.3.31	前11:00						前8:00 前9:25				
	旭川小樽線 (旭川網走線の増設)	M44.5.1~T 2.3.31	前8:10										
	旭川名寄線	M39.9.1~M44.11.2	前7:00 后10:30	前8:00 后4:00									
道	旭川苫小牧線 (旭川名寄線の増設)	M44.11.3~T 1.1.4		后7:00									
	旭川帯広線 (旭川苫小牧線の増設)	T 1.1.3~T 2.3.31		后2:30 后4:10									
	帯広旭川線 (旭川帯広線の増設)	M39.9.1~M40.8.31	前6:00	前11:30									
	帯広小樽線 (帯広旭川線の増設)	M40.9.1~M40.8.31	前8:00										
道	帯広小樽線 (帯広旭川線の増設)	M40.9.1~M44.4.30	前7:00 前8:30	前11:00 后12:20									
	帯広小樽線 (帯広旭川線の増設)	M44.5.1~T 2.3.31	前5:10 前7:00	前11:00 后12:20					后1:50	后8:00			
	帯広小樽線 (帯広旭川線の増設)	M44.5.1~T 2.3.31	前11:00										
	帯広小樽線 (帯広旭川線の増設)	M44.5.1~T 2.3.31	前7:40										
道	帯広小樽線 (帯広旭川線の増設)	M43.9.22~T 2.3.31	前9:00										
	帯広小樽線 (帯広旭川線の増設)	M44.9.22~T 2.3.31	前5:00										
	帯広小樽線 (帯広旭川線の増設)	T 2.3.10~T 2.3.31	后1:20										
	帯広小樽線 (帯広旭川線の増設)	M43.9.1~M40.8.31	前7:15 后1:41						前8:00				
道	帯広小樽線 (帯広旭川線の増設)	M40.9.1~T 2.3.31	前10:22 后4:00	前9:10					前7:00 后10:30	后3:00			
	帯広小樽線 (帯広旭川線の増設)	M40.9.1~T 2.3.31	前10:40 后5:55						前8:30				
	帯広小樽線 (帯広旭川線の増設)	M43.11.23~T 2.3.31	前3:20 后4:40						前10:10				
	帯広小樽線 (帯広旭川線の増設)	M43.11.23~T 2.3.31											

9 ページ目

なお、作品オーナーのご好意で本作品は全リーフが付録に収められています。付録は「マイスタンプペディア」よりダウンロードできます。入手後は個人の利用の範囲で印刷等してご利用ください。

函館線

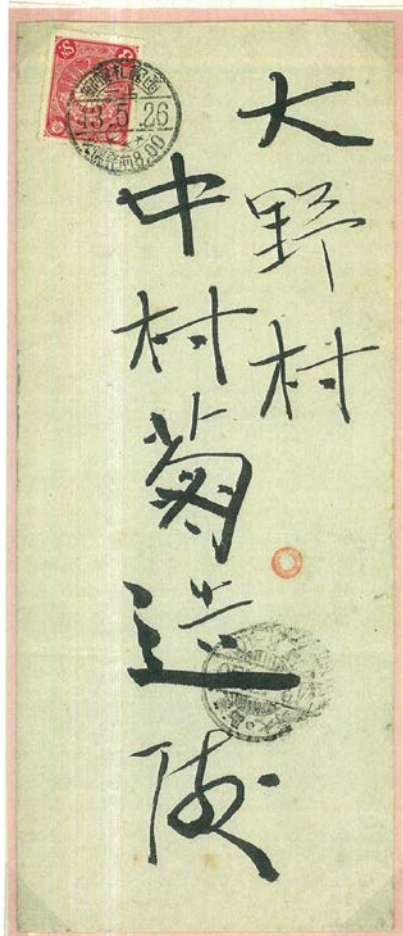
函館札幌線

(函館小樽線の伸延)

(最古使用例)

上ー札幌発 前 8:00

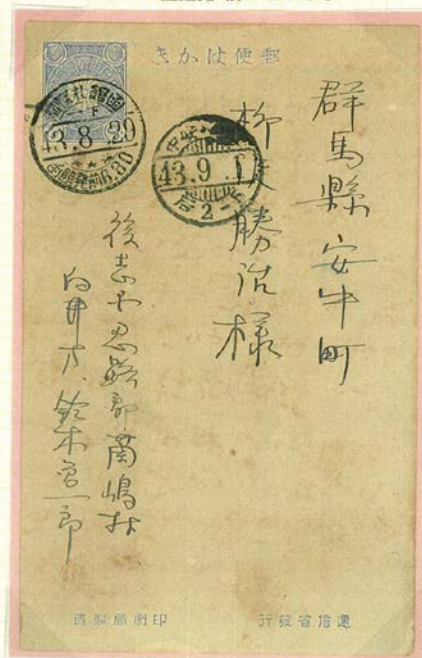
下ー函館発 前 6:30



M43. 5.26

<最古データ>M42. 8. 1

<最新データ>M44. 6. 28



M43. 8.29

<最古データ>M43. 8. 29

<最新データ>M43. 11. 10

切手コレクション紹介

スタンプショウ=ヒロシマ2021 展示作品 付録1に全リーフ掲載(1F)

英連邦占領軍 B.C.O.F. 加刷切手

吉田 敬

スタンプショウ=ヒロシマ2021を記念し、当地に深く関連する『英連邦占領軍の切手等』を紹介する作品の展示をご依頼いただきました。この10年ほどB.C.O.F.切手を収集していますが、リーフを作ったのは、2015年のJPS英国切手部会展の時の2リーフのみで、その後はずっと放置していましたが、展覧会への出品は、それが競争展であれ非競争展であれ、整理の良い機会です。ありがたく出品させていただき事にしましたが、困ったことに今度は1リーフでは足りないほどマテリアルが集まっていることがわかりました。そこで今回は抜粋展示とさせていただき、改めて数年内にレギュラーフレーム作品を作ることができたら、と考えています。良い気づきの機会をいただき、スタンプショウ=ヒロシマ実行委員会の皆様には感謝しております。

戦後、広島県を中心とする中国地方で使用された 英連邦占領軍の切手

本展示の目的

スタンプショウ=ヒロシマ2021を記念し、当地に深く関連する『英連邦占領軍の切手等』を紹介いたします。

本作品は将来、海外の展覧会で展示を予定している為、次ページ以降の記述を英語で行っていることをご了解ください。

出品者による解説(予定)

9月11日(土)15:30(20分ほど)

英連邦占領軍および、その軍事郵便

1945年9月2日に、日本は東京湾に浮かぶ米戦艦ミズーリ上で、対連合国の降伏文書に調印し、太平洋戦争は終結した。

10月2日には連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)が東京に設置され、連合国各国の軍隊から派遣された最大43万人を統括したが、その直下に指揮された英連邦占領軍は、中国・西国地方を担当し、残る都道府県はアメリカ占領軍が担当した。

英連邦軍の実際の占領業務は、1946年2月13日に開始され、それに伴い、広島県を中心に中国・西国地方の一部の都市に英連邦軍の野戦郵便局が設置された。野戦郵便局は軍に所属する兵士らの発信/受信する本国等との郵便物を取り扱った。これらの軍事郵便物に貼られる切手は日本切手ではなく、英連邦各国、すなわち英国、オーストラリア等の切手だった。



英連邦海外派遣軍の占拠地を示す日本地図

発売中止後は、再び本国と同一の切手が使用されたが、発売再開の交渉が継続され、半年以上経過した1947年5月8日になり、ようやく発売中止中の3種の再発売が決定し、同時に新額面4種も発売された。

加刷切手発行の背景

オーストラリア軍においては、占領地で使用される通貨の価値が本国に比べて低かったにも関わらず、軍事郵便局で販売される切手は本国と同一の切手であったが、兵士の中には、購入した切手を本国に送り換金することで利益を得る者が現れた。

この不正を止めるため、軍は軍事郵便局で販売する切手に「英連邦海外派遣軍」を意味するB.C.O.F.の加刷を施すことを決定し1946年10月11日に3種類の切手(1d, 1d, 3d)を発売した。

しかし加刷切手の発売は、郵政当局との合意の成立前に開始された為、翌々日の13日には発売中止となった。

展示プラン

今回の展示リーフの割り当ては16ページしかない為、抜粋展示とした。加刷切手発行前の郵便使用例および切手発行のための試作品を最上段に並び、2段目に一部額面のシート及び初期使用例を展示した。3、4段目では、額面ごとに製造面を中心に展開した。

参考文献

BCOF 加刷切手と日本及朝鮮における英連邦軍及インド軍の軍事郵便業務(1981, 伊藤 由巳 ジャパンフィラテリスタクラブ)

なお、作品オーナーのご好意で本作品は全リーフが付録に収められています。付録は「マイスタンプペディア」よりダウンロードできます。入手後は個人の利用の範囲で印刷等してご利用ください。

Archive Materials

Proofs

Trial stamps are only known for three denomination values of half penny, one penny, and two pence

Thin Fonts, Color Trials

Several inks were tried to check if the overprinted characters were easy to see and etc.



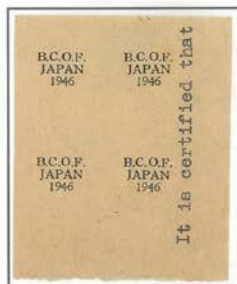
black



brown



red



Pos.71/80



Block with 44 mm right margin

Thick Font

As the overprinted characters with upper thin font was hard to see, another font was tried.



Only black is known

2021 年度 第3回 郵博特別切手コレクション展 第4回 南方占領地のフィラテリー展 開催報告

(博物館) 2021 年 11 月 20 日～2021 年 11 月 21 日

(クラウド) 2021 年 11 月 20 日～2021 年 12 月 23 日

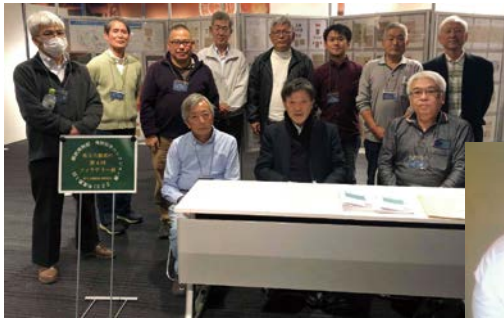
南方占領地切手コレクターズクラブ

南方占領地のフィラテリー展は、2018年に始まった年一度の専門切手展（非競争）で、今年で4年目を迎えました。本年は無競争公募切手展として開催し、会員に限定せず、南方切手収集家であればどなたでも出品できる展覧会としました。

当初、今年の展示会は6月に開催予定でしたが、都合により JAPEX 後の開催としました。感染爆発している国が増えています、日本だけは奇跡的に不思議な数字で、このまま治まって欲しいものです。

会期中の会場のスカイツリーには、ちびっ子広場や大道芸人コーナーなどの催しもあり、大勢の家族ずれで賑わい、昼飯など長い行列で、以前の賑わいが戻ってきたと感じました。

1日目の夜、皆さんと笑顔で久しぶりの大人数の夕食会ができました。2日目には田中氏（ベンクーレン消印）・三宅氏（蘭印収入印紙）がオランダのオークションで入手した、驚きの現物を見せていただき、よくぞ日本に持ってきてくださった！と、感激しました。



設営完了後の記念写真



コレクション閲覧



初日夜の懇親会

来年の南方占領地のフィラテリー展は、第5回目となり、6月18-19日に開催します。今年同様の非競争展の形態の開催を予定しており、初めての出品者を優先しますので、ご関心のある方は、いまからご準備いただくと共に主催者にご連絡をお願いします。

今回も郵政博物館 学芸員の富永様、郵趣振興協会の吉田様にご支援・ご指導を頂きましたこと、御礼申し上げます。来年も南方切手を楽しみたいと思います。

展示作品

作品名称	作品オーナー	Frame
私の南方占領地切手備忘録 ーサラリマンの紆余曲折	三宅 広和	1
南方占領地切手万博 (南博'21) ～変種・バラエティ・使用例を求めて～	比留間 晃則	1
南方占領地における郵便関連物	三木 和也	3
Borobudur 遺跡の発見と修復	田尾 美能留	1
自由インド仮政府	田中 雅史	1
南方占領地のはみ出し加刷	田中 雅史	1
ビルマ 日本軍政下切手	谷口 詔彦	5
ビルマ農耕切手	木戸 裕介	4
フィリピン・ゲリラ切手	鍋木 顕	1
Postal Stationery under Japanese Naval Occupation Area	守川 環	5
Postal Money Order of Sumatra under Japanese Occupation	守川 環	5
1943,Thailand Colonial Issue	守川 環	1
マライの郵便印	上遠野義久	2
日本占領下のフィリピン	若園 泰三	8

郵政博物館における展示は終了しましたが、谷口氏、若園氏以外の展示作品は、12/23 までインターネット上でご覧いただくことができます。

作品解説パンフレット (12 ページ、PDF) は、以下の URL でダウンロードできます。

<http://www.stampedia.net/stamp/ex/3/> 第4回南方占領地のフィラテリー展 /ja



2021年度 第3回 郵博特別切手コレクション展

第4回

南方占領地のフィラテリー展

2021 **11月20日(土)** → **12月23日(木)**

郵政博物館における展示期間：11/20(土)～21(日)

PHILATELIC EXHIBITION OF POSTAL MUSEUM JAPAN

郵趣振興協会 活動報告（19）

2021 年度 第 3Q

2021 年 9 月 7 日～2021 年 12 月 9 日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会（以下「当協会」と略す。）は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で正会員・賛助会員にお伝えすると共に、無料でご掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

国際競争切手展情報の収集と報道の強化

当協会では、設立以来、活動の一環として、国際切手展情報の充実に注力して参りました。

最近、COVID-19 感染症の流行の影響で流動的な国際競争切手展の開催情報等について、国内で流れる情報が質・量ともに十分でないとの声を受けて、情報収集と報道をさらに強化することになりました。

国際郵趣連盟及び下部機関のホームページや冊子における公式情報を読み解くだけでもかなりの情報収集が可能です。これに加えて、各国のフィラテリストとの間の独自の情報網に取材し、確度を高めた記事を提供してまいりたいと思います。なお、冊子での報道はタイムリーに行うことが難しいため、当協会からの国際展情報の発信は原則として、ホームページで行います。

全国切手展「スタンペックス ジャパン 2022」の作品募集を開始

来年 2022 年 3 月 26 日から 28 日の三日間開催を予定している、全国切手展「スタンペックス ジャパン 2022」について、出品作品の応募受付を予定通り 2021 年 11 月 1 日から開始しました。初日から複数のご応募を頂戴し、過去 2 年に勝るとも劣らない出品者の熱意を感じております。

応募受付の締め切りである 12 月 21 日まで出品募集を行い、翌日から出品作品の選定を行います。出品作品のアクセプトの可否に関するご連絡は、12 月 27 日までに当協会が郵送するほか、1 月 1 日にホームページで発表します。

2022年度の郵博 特別切手コレクション展 開催スケジュールの決定

11 月 22 日に、来年度（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日）に開催される、郵博 特別切手コレクション展の開催スケジュールを発表しました。詳細は次ページの「各種事業の進捗について」をご覧ください。

2017 年度の開催から 6 年目となりますが、この間に展示パネルのメンテナンスに加えて、オンライン展示の導入などを進めてまいりました。来年度も、アイデアを具現化させて、特に一般層に訴求できる切手展に進化させてまいりたいと考えています。

各種事業の進捗について

当協会は5つの事業「エキシビション事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」を行っています。当クォーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

エキシビション事業

スタンペックスジャパン2022実行委員会（横山裕三 実行委員会事務局長）の活動

11/1 出品受付の開始（12月21日まで）

審査委員会（佐藤浩一審査委員長）との打ち合わせ

郵博 特別切手コレクション展（2021年度）の開催。

9/25-10/24 第8回ヨーロッパ切手展（博物館展示は、9/25-26のみ）

11/20-12/23 第4回南方占領地のフィラテリー展（博物館展示は、11/20-21のみ）

郵博 特別切手コレクション展（2022年度）の郵政博物館における開催日程を決定。

5/7-15 沖縄復帰50周年記念切手展

6/18-19 第5回南方占領地のフィラテリー展

9/23-9/25 第9回ヨーロッパ切手展

郵政博物館主催事業への協力

9/23-11/28 『スポーツ切手展 & from 1896 to 2016』への展示作品の紹介等

12/4-12/26 絵手紙展『みんなで応援！絵手紙でエール!!』へのパネル貸与

フィラテリー必需品サプライ事業

「ヒンジ・カバー用コーナー・透明マウント」の3品目を最重要対象品とした、Amazon.co.jpにおける供給体制を維持。（本事業は随意契約の形で、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社委託しています）

リサーチ及び研究推進事業

リーフ作成雛形提供事業の準備を継続中

フィラテリックPR事業

ウェブサイトにおける情報発信を実施（9-11月で20件。対前四半期-29%）

オンライン郵趣例会 振興プロジェクト（斎享リーダー）の活動の継続

（1）当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催

日本切手研究会 6回

外国切手研究会 10回

昭和切手研究会 3回

南方占領地切手コレクターズクラブ 3回

（2）WEBセミナーの主催

該当期間におけるWEBセミナーの新規開催はありませんでした。

- (3) オンライン郵趣例会を開催する切手サークルに対する集客支援方法の提供
 当協会ホームページにおける、例会報告コーナーの提供
- | | |
|------------------|-----|
| 外国切手研究会 | 10回 |
| 南方占領地切手コレクターズクラブ | 2回 |

当協会では、今後とも、技術面およびマーケティング面で様々な取り組みを行うことで、オンライン郵趣例会の振興を図っていきたいと考えております。

次世代育成事業

特になし

総務ほか

総会決議を受けて、登記変更の準備（対応中）
 日常的な経理業務、問合せ業務への対応

（報告者：代表理事 吉田敬）

国内競争切手展 受賞結果抜粋等

JAPEX 2021

2021/11/5（金）～11/7（日） 会場：都立産業貿易センター台東館（浅草）

部門	作品タイトル	F	出品者	結果
チャンピオン	JAPAN 1871-1876 Hand Engraved Issues	8	山田 祐司	97 大金
伝統日本	手彫切手	5	秋元 利昭	83 大金銀
	手彫切手	6	奥田 重俊	85 金
	明治の普通切手	5	栗原 久	57 銅
	田沢 1913-38	5	奥田 和弘	77 金銀
	大正切手 時系列展開の試み	5	西本 正賢	90 大金
	新大正毛紙切手	5	濱谷 彰彦	68 銀
	第1次昭和切手	4	内海 省一	74 大銀
	新昭和切手	8	遠藤 浩二	82 大金銀
	産業図案切手	5	永吉 秀夫	77 金銀
	文化人切手 1949 - 1952	5	宮崎 幸二	82 大金銀
	奥の細道シリーズ	5	須谷 伸宏	64 銀銅
	写真付き切手・マイ切手	4	中尾 英雄	52 佳作
	Japanese Naval Occupation Area 1942-45	8	守川 環	80 大金銀
	ロンバルディ・ベネチア 1850	5	斎藤 環	91 大金
伝統外国	日本の郵便創始に並ぶノルウェイの現用ポストホルン切手の150年歴	4	井上 龍太郎	50 佳作
	米国普通切手 1847 - 1888	5	榎原 晃二	80 大金銀
	ドイツ帝国普通切手 1872 - 1921	3	石野 義夫	67 銀
	IMPERIAL KOREA 1884 - 1905	5	岩崎 善太	85 金
	米国1922年シリーズ 2c切手	8	小林 伸佳	80 大金銀
	Republic of Korea War Time Overprinted Definitive series	5	木戸 裕介	80 大金銀
	税済印を使用した郵便制度	5	永富 功	85 金
郵便史	年賀郵便（明治・大正時代）	5	中尾 謹三	72 大銀
	上野国 安中に発着した明治・大正期の電報	3	板橋 祐己	72 大銀
	日本の軍事郵便（日露戦争編）	8	森下 幹夫	79 金銀
	昭和41年7月1日の郵便改革	5	行徳 国宏	73 大銀
	郵便の効率化と機械化	5	水谷 行秀	87 金
	中国国家郵政郵便史 1897 - 1912	5	藤本 博嗣	82 大金銀
	伊勢国の消印	8	中世古 誠	87 金
マルコフィリー	安房国・上総国・下総国の記番印	6	加瀬 嘉文	87 金
	武蔵国の丸一型日付印	8	上遠野 義久	73 大銀
	播磨の國・丸一型日付印	5	志水 正明	75 金銀
	鉄道郵便中央線東京長野間	3	濱村 一雄	65 銀

部門	作品タイトル	F	出品者	結果
マルコフィー	日本の標語印	6	矢嶋 基之	84 大金銀
	押印機 (和文機械印) による封書への押印ー大正 8 年～昭和 41 年ー	5	横山 裕三	74 大銀
	樺太の郵便局とその消印	4	藤波 誠治	68 銀
ステーション	日本の記念特殊葉書 1968 - 1993	5	須谷 伸宏	69 銀
	郵便切手貯金台紙	3	藤波 誠治	66 銀
	郵便切手貯金台紙	5	川村 公一	84 大金銀
航空郵趣	国際航空郵便	7	若園 泰三	74 大銀
テーマティック	琉球の植物	3	嘉ノ海 暁子	77 金銀
	数学の世界	3	嶋根 浩	64 銀銅
	ウミガメ類の生態と保全	5	立川 賢一	67 銀
	日本の郵便 150 年、その記念歴拾収	3	井上 龍太郎	56 銅
	凹版切手の変遷とその魅力	5	村山 良二	65 銀
	日本の歴史 III 鎌倉時代～桃山時代	3	高塚 純一	63 銀銅
	A History of France	3	吉田 敬	76 金銀
	神聖ローマ皇帝カール 5 世とその時代	3	斎藤 良昭	75 金銀
	ロシア海軍 330 年の歩み	4	中島 好行	67 銀
	ドラクロワの芸術と生涯	5	川辺 勝	83 大金銀
	紙の変遷とその利用	5	神戸 信司	73 大銀
	ディーゼルエンジンと鉄道	5	大崎 誠一	75 金銀
	世界的高速鉄道	6	三浦 正悦	69 銀
ユース	日本の国立公園	2	千葉 郁実	74 銀
ワンフレーム	<支那>加刷・大正白紙切手 2、4、10 銭切手	1	柳川 英幸	78 金銀
	富士鹿・風景切手コレクションミニ	1	栗山 章	59 銅
	満州国建国 10 周年記念	1	木下 朋英	62 銀銅
	ブラックライト下で観る昆虫シリーズ	1	清水 政男	58 銅
	1943, Thailand Colonial Issue	1	守川 環	74 大銀
	大阪の坂と阪	1	近辻 喜一	69 銀
	同文内容証明郵便	1	町屋 安男	78 金銀
	ルイスカバー	1	藤波 誠治	56 銅
	大東亜戦争に関連する返戻郵便	1	池田 健三郎	77 金銀
	50 円：弥勒菩薩像 茶色 (円位) 貼・国内特殊取扱郵便	1	石野 逸雄	70 大銀
	那覇郵便局の二重丸型日付印	1	石澤 司	78 金銀
	北海道の発時刻入櫛型鉄郵印	1	長野 行洋	71 大銀
	D 欄★	1	栗 篤吉	67 銀
	暫定予納はがき	1	山田 克興	75 金銀
	暑中見舞葉書 (1950 ～ 1951)	1	須谷 伸宏	80 大金銀
	Great Britain Air Letter for Prisoners of War in Germany and Italy	1	佐藤 浩一	83 大金銀
	日本の航空書簡 (2 羽のかり)	1	立川 賢一	64 銀銅

部門	作品タイトル	F	出品者	結果
オープン	稲と稲作文化ー日本の稲作を中心にー	4	柴田 公子	67 銀
	軽井沢物語 ～文学者たちの足跡～	4	池澤 克就	72 大銀
	「奥の細道」をたずねて	3	今井 節子	56 銅
	大好き？声優・野沢雅子さん (JAPEx2021 Version)	2	竹内 鷹微	50 佳作
	日本を飛んだ飛行船	4	伊藤 裕介	76 金銀

部門	作品タイトル	出品者	結果
文献 (単行本)	郵便でみる四日市	小坂 彰宏	81 大金銀
	植物切手 藻類・地衣類・コケ編	石田 徹	77 金銀
	植物切手・図案別収集の展開ー植物界と郵趣界ー	石田 徹	76 金銀
	日比家所蔵葉書図録 (明治 37 年 - 昭和 19 年)	古田 良治	76 金銀
	全国郵便局消印蒐集叢書第 28 巻「九州・沖縄 8 県全郵便局索引」	小島 純二	77 金銀
	全日本切手展第 71 回 <全日本切手展 2021 >	小藤田 紘	72 大銀
	和欧文機械印機械印の研究第 2 期 1979-1990	水谷 行秀	77 金銀
	明治前期における朝鮮航路と郵便	立山 一郎	81 大金銀
	エンタィア集 雪月花風信Ⅳ	内野 高明	64 銀銅
	簡易書留郵便の歴史 1961 - 1989	町屋 安男	72 大銀
文献 (雑誌)	津田沼徒然草 NEXT 第 1 号～第 3 号	永富 功	77 金銀
	JPS ポーランド郵趣研究会会報「ポーランド郵趣」	ポーランド郵趣研究会	79 金銀
	JPS 昆虫切手研究会 50 周年記念誌	昆虫切手研究会	80 大金銀
	Railway Stamps 2020 年度合本	鉄道郵趣研究会	79 金銀
	Railway Stamps 2020 年度合本 CD	鉄道郵趣研究会	79 金銀
	JPS 航空郵趣研究会会報「つばさ」(153 ～ 157)2020 年度合冊	航空郵趣研究会	74 大銀
	秋田支部会報「あきた郵趣」	秋田支部	72 大銀
	「郵趣ひらの」(平野支部会報)	平野支部	67 銀
	長崎支部会報「長崎郵趣」2020-2021	長崎支部	68 銀
	宇宙郵趣会コスモス会報「コスモス」	宇宙郵趣会コスモス	74 大銀
	郵便史研究 第 50 号 (25 周年記念号)	郵便史研究会	81 大金銀
	いずみ切手研究会会報	いずみ切手研究会	80 大金銀

JAPEX2021 参観記

長野 行洋

11月5日(金)～7日(日)、恒例の浅草・都立産業会館で開催された。コロナ禍の劇的な小康状態も、万全の感染対策を実施された関係者一同に心より感謝致します。

今年の企画は「郵便創業150年 手彫り切手とその時代展」、競争出品3作品含め、国際展大金賞受賞者はじめ9作品が好みの作品構成で。郵政博物館所蔵資料の数々も興味深く。また8月の横浜で開催された「日本国際切手展2021 凱旋展」招待出品・大金賞7作品は、地方ば方含めてコロナの影響で参観できなかった方々には何より。いずれも眺めるだけで眼福。重量感あるセンターコート展示であった。以下敬称略にて失礼。

チャンピオンクラス

「JAPAN 1871-1876 Hand Engraved Issues」(長野・山田祐司) 大金賞・グランプリ。

横浜国際展のナショナルグランプリ作品。竜500文額面逆刷はじめ、手彫りの珍品・稀品の殆どを揃えた空前のコレクション。あれ見たが参観者の合言葉。



「JAPAN 1871-1876 Hand Engraved Issues」(長野・山田祐司)

伝統郵趣く日本及びその関連地域>

明治ゼネラルの作品あり、手彫から戦後・記念・南方まで13作品。手彫2作品は企画に展示。

「手彫り切手」(東京・奥田重俊) 金賞・JAPEX 実行委員会賞、旧小判4銭・羽後の初期消印・テーマ植物切手と多彩な大ベタラン、長い収歴に裏打ちされたシート・多数のリコンストラクション交えた重量感溢れる作品。

「手彫り切手」(千葉・秋元利昭) 大金銀賞、状態の良いアイテムを素直に並べて、金賞にあと一步。

「明治の普通切手」(福岡・栗原久) 銅賞、小判・菊で使用済みのアプ帳もどきが惜しい。手彫他良い素材も散見、他の切手展作品を参考に再構成再出品で数段階特進は間違い無し。種類も限られる記念切手も加え、明治の切手とするのも一手かも。

大正切手3作品。「大正切手 時系列展開の試み」(香川・西本正賢) 大金・日本郵便株式会社賞、大正切手の名称で一早く競争展に出品された氏の久々の登場で頂点に。やはり長い収歴でのパラエティ揃えにこだわり。1リーフ全体の赤座布団はいささか頂けないが、状態ピカ一(死語?)で清々しい。時系列との新しい切り口は明治や、特に昭和では面白いが作品に構成するには年季が必要。



「大正切手 時系列展開の試み」
(香川・西本正賢)

137

大金銀賞 3 点。米国 2 作品が並ぶ。「米国普通切手 1847-1888」(広島・榎原晃二)「米国 1922 年シリーズ 2c 切手」(神奈川・小林伸佳) 特定期間のゼネラルと特定切手のスペシャライズドと対極のコレクションながら、それぞれつぼを押さえたリーフ作り・作品構成。以前に比べ更に充実のマテリアル。

もう 1 点「Republic of Korea War Time Overprinted Definitive series」(東京・木戸裕介)、韓国の朝鮮戦争下の戦時加刷という特殊な対象、スタディと難関な使用例の数々、住野正顕賞も受賞。

「ドイツ帝国普通切手 1872-1921」(京都・石野義夫) 銀賞、基本に忠実なカタログコレクション、このような出品が増えて欲しいもの。

「日本の郵便創始に並ぶノルウェーの現用ポストホルン切手の 150 年歴」(広島・井上龍太郎) 佳作、意図分らないでもないがタイトルには一考か。

郵便史 (ポスタルヒストリー)

日本 6 作品、金賞 2 点。「郵便の効率化と機械化」(静岡・水谷行秀)、横浜国際展大金銀賞作品、日本語テキストが有難い。古参コレクターには動植物国宝が現行も、数々の試作品は垂涎の的。それゆえ郵便史作品ながら未使用が散見される。

「税済印を使用した郵便制度」(千葉・永富功)、マルコとのボーダーが悩むが今回は郵便史作品として昇昇。スタンプレスが多いが布告等新アイテムやスタディで単調さを感じさせない。

「日本の軍事郵便 (日露戦争編)」(群馬・森下幹夫) 金銀賞、種別を明確にした判り易い展開。審査員よりどれが珍しいか分りにくいとか、赤座布団だらけよりはよっぽどマシ。って

大銀賞 3 点「昭和 41 年 7 月 1 日の郵便改革」(埼玉・行徳国宏)、今は当たり前封筒の定型。という基準他が消印の自動押印等に及ぼした影響をマテリアルで見現。

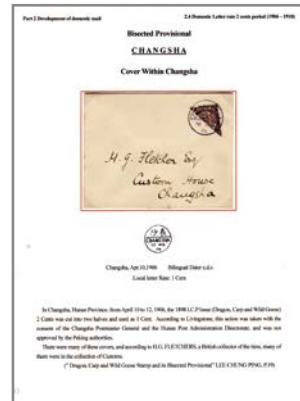
「年賀郵便 (明治・大正時代)」(奈良・中尾謹三)、年賀郵便制度のある日本独自の通史の人氣は衰え知らず。

「上野国 安中に発着した明治・大正期の電報」(神奈川・板橋祐己)、特定地域の特定局の電報 1 万通から当時の世相史・通信史を読み解いた労作。地元の方には喉から手が。

唯一の外国作品、「中国国家郵政郵便史 1897-1912」(兵庫・藤本博嗣) 大金銀賞、横浜国際展金銀賞作品。英文テキストながら分量が適当で手馴れたエイフ。バイセクト (半裁) 切手のカバーが目惹いた。



「郵便の効率化と機械化」
(静岡・水谷行秀)



「中国国家郵政郵便史 1897-1912」
(兵庫・藤本博嗣)

郵便印郵趣 (マルコフィリー)

高位入賞はじめ8作品。金賞2点、いずれも完成度の高い故郷の郵便印。「伊勢国の消印」(千葉・中世古誠)、不統一・記番・二十九印の明治初期消印を街道筋ごとに判り易く分類展示。詳細ナテキストの合間に郷土愛がひしひしと。

「安房国・上総国・下総国の記番印」(千葉・加瀬嘉文)今年新設された手嶋康賞(日本の伝統郵趣・郵便史の新出品者の優秀作)も受賞、早熟の高校生が40年の時を越えて衝撃の登場。使用局限られ難しい安房国を頭に置いたタイトルが物語る。上総・下総とも見かける局と希少局で雲泥の格差が。千葉先達の薫陶を受け先人を越えたコレクションに。昨年の楠公はがきに次いで連続金賞。

「日本の標語印」(千葉・矢嶋基之)大金銀賞、貴重な手押印に目が向くが本人分類で31タイプ中29タイプの完成度。機械印の展示の取捨選択も長い経験で世相を反映する鏡とのサブタイトルにふさわしい。

「播磨の國・丸一型日付印」(兵庫・志水正明)金銀賞、地方で珍しい姫路など市内局が充実。

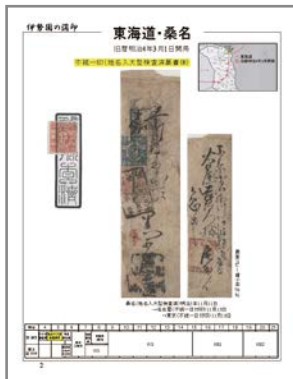
大銀賞2点。

「押印機(和文機械印)による封書への押印 - 大正8年~昭和41年 -」(東京・横山裕三)、機械印押印に適している統一規格の葉書。

「武蔵国の丸一型日付印」(埼玉・上遠野義久)、東京のパートありふれた印象でやや損する面も、東京市内局の非郵便満月12リーフは圧巻。小平の全身小川局も丸一印は珍しい。地元埼玉のパートはさすがぬかりなく。

銀賞2点。「樺太の郵便局とその消印」(東京・藤波誠治)、充実している昭和時期に比べ、明治期がやや手薄のような。タイトルも再考要。

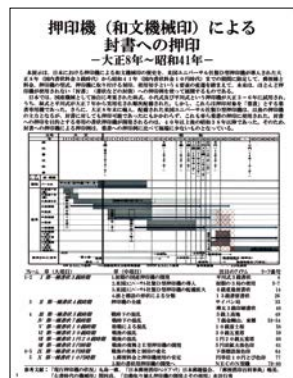
「鉄道郵便中央線東京長野間」(長野・濱村一雄)、幹線とはいえ、3フレに構成するボリュームには驚き。



「伊勢国の消印」(千葉・中世古誠)



「日本の標語印」(千葉・矢嶋基之)



「押印機(和文機械印)による封書への押印 - 大正8年~昭和41年 -」(東京・横山裕三)

ステーションナリー

「日本の記念特殊葉書 1968-1993」(大阪・須谷伸宏) 銀賞、昨年の戦前・戦後編の続き。最近物で見応え作品にするのはセンス次第。

競争展に単独出品去れる事が減多にない貯金台紙が 2 作品競作。「郵便切手貯金台紙」(秋田・川村公一) 金賞にあと 1 点と迫る大金銀賞、新発見含む台紙自身の真摯な時期的分とその使用例ともいかに豊富なアイテムがバックボーンにあるかが伺える。朝鮮等外地や南方まで完全に。昭和切手貼の貯金台紙が珍しいとは寡聞だった。

「郵便切手貯金台紙」(東京・藤波誠治) 銀賞、丹念に収集品を構成好感。2 作品目の大谷なみ二刀流。

航空郵便

「国際航空郵便」(三重・若園泰三) 大銀賞、戦後間もなくの国際航空郵便の流れをマテリアルに限りある中 7 フレに展開。内容が郵便史とのボーダーがいささか疑問。

テーマティック

今年は 13 点とやや多い。「ドラクロワの芸術と生涯」(愛知・川辺勝) 大金銀賞・小倉謙賞、近代画家の生涯を巧みにストーリー展開が評価されたのでは。

金銀賞 4 点。「琉球の植物」(神奈川・嘉ノ海咲子)、すっかりテーマの女王が新テーマも手慣れた手法で。

「A History of France」(東京・吉田敬)、全世界ゼネラルから日本伝統郵趣(セミモダンからモダン)・ステーションナリー・初期郵便史まで多岐分野の奇才もテーマ作品にはご苦労の由もストーリー展開は基本に忠実のよう。

「神聖ローマ皇帝カール 5 世とその時代」(大阪・斎藤良昭)、最大版図の英雄の先見性を上手く表現。

「ディーゼルエンジンと鉄道」(大阪・大崎誠一)、自動車でも使われている鉄道のディーゼル化は電化の前の大きな功績。ディーゼル博士の発明とは寡聞にして知らなかった。

「紙の変遷とその利用」(東京・神戸信司) 大銀賞、内容的には紙が発明・一般化する前の情報伝達手段の表現に苦心の跡。



「A History of France」(東京・吉田敬)

銀賞 4 点内容様々。「世界の高速鉄道」(東京・三浦正悦)、電気の鉄人病後も連続出品。

「ウミガメ類の生態と保全」(東京・立川賢一)、テーマの方はいくつも引き出しが有りビックリ!

「ロシア海軍 330 年の歩み」(東京・中島好行)、昨今のきな臭い数百年の歴史を体現。

「凹版切手の変遷とその魅力」(千葉・村山良二)、日本人の好きなテーマで見ていて楽しい。

銀銅賞 2 点。「数学の世界」(埼玉・嶋根浩)、数学者という人物切手と科学・技術への数学の貢献のパートの融合がやや苦しいよう。

「日本の歴史Ⅲ 鎌倉時代～桃山時代」(静岡・高塚純一)、今回は鎌倉～桃山時、1 年に 1 回の連作出品にはやや無理が。3 フレ作品なので、圧縮して 1 回にまとめたら(作品作りは格段に大変だが)?

「日本の郵便 150 年、その記念歴拾収」(広島・井上龍太郎) 銅賞、残念ながら記念拾収の 3 項目が今ひとつ分からなかった。

ユース

「日本の国立公園」(兵庫・千葉郁実) 銀賞・ベストユース賞。小学生の時より競争展出品。ジュニア唯一の出品有難いがやっぱり女性の関心の方が大きい?

ワンフレーム

17 点、展示順に。「<支那>加刷・大正白紙切手 2、4、10 銭切手」(静岡・柳川英幸) 金銀賞、支那加刷エキスパートの田沢 U P U 色の専門コレクション、誰でも作れる 1 フレではないが。

「富士鹿・風景切手コレクションミニ」(茨城・栗山章) 銅賞、楽しい展示も 1 フレにふさわしくないと低評価。

「満州国建国 10 周年記念」(長崎・木下朋英) 銀銅賞、今回も 4 種で 1 フレ、戦時下で使用例も難しく。

「ブラックライト下で観る昆虫シリーズ」(茨城・清水政男) 銅賞、20 面シートと小型シートでの差異も研究論文向き。

「1943, Thailand Colonial Issue」(東京・守川環) 大銀賞、南方タイ地方切手、難しいノンフィラテリックカバーにこだわり。

「大阪の坂と阪」(東京・近辻喜一) 銀賞、二重丸印での字体の差異の時代的確定は使用年不明のエンタの年号確定に役立つのでは。

「同文内容証明郵便」(埼玉・町屋安男) 金銀賞、完全と不完全の 2 種の識別を局内保管簿本と郵便物で示した力作。

「ルイスカパー」(東京・藤波誠治) 銅賞、これで 3 作品目、大谷を超える三刀流。見映えるルイスカパー何通でも貼りたくリーフに貼りたいもの。

「大東亜戦争に関連する返戻郵便」(東京・池田健三郎) 金銀賞、大東亜戦争下様々な理由で差し戻された数々の郵便物、それらを 1 フレ分しかも広島・長崎原爆関連も。



「<支那>加刷・大正白紙切手 2、4、10 銭切手」(静岡・柳川英幸)

「50 円：弥勒菩薩像 茶色（円位）貼・国内特殊取扱郵便」（兵庫・石野逸雄）大銀賞、弥勒はやはり茶色が落ち着く。国内便でも見応えあるカバー揃い。

「那覇郵便局の二重丸型日付印」（東京・石澤司）金銀賞、沖縄エキスパートの DK スタディ含めた凝縮された 1 フレーム。ここでは、那覇ボタも脇役。

「北海道の発時刻入櫛型鉄郵印」（東京・長野行洋）大銀賞、1 フレに向かないもっと材料を集めレギュラー出品をとの審査評、一体どこにエンタがゴロゴロしているか教えてもらいたいもの。

「D 欄☆」（大阪・栗篤吉）銀賞、昨年に続いてのご出品、使用時期 3 期とのスタディも。

「暫定予納はがき」（東京・山田克興）金銀賞、戦争末期の郵便事情を物語る作品、二度目の登場で高評価。

「暑中見舞葉書（1950～1951）」（大阪・須谷伸宏）大金銀賞、初期の高価な 2 年分、焼けている物が当たり前の中、コンディション良好で高位入賞。

「Great Britain Air Letter for Prisoners of War in Germany and Italy」（神奈川・佐藤浩一）大金銀賞・ベストワンフレーム賞、第二次大戦時、ドイツ・イタリア軍のイギリス人捕虜が出した郵便物は希少でワンフレームに好適と高評価。

「日本の航空書簡（2 羽のかり）」（東京・立川賢一）銀銅賞、航空のテーマのひとつ、守備範囲広いこと。



「北海道の発時刻入櫛型鉄郵印」
（東京・長野行洋）

オープン

5 作品。

「日本を飛んだ飛行船」（千葉・伊藤裕介）金銀賞・ベストオープン賞、ツェッペリンが有名だが、企業・商品の PR 絵葉書等手紙戦どう後的高度成長が懐かしく感じられた。

「軽井沢物語 ～文学者たちの足跡～」（神奈川・池澤克就）大銀賞、戦前より高原避暑地としてどうしょうの軽井沢を多くの著名な作家を絡めて興味深く。

「稲と稲作文化 - 日本の稲作を中心に -」（栃木・柴田公子）銀賞、郵趣品以外のアイテムにお米に対する愛着がひしひしと。

「奥の細道」をたずねて」（神奈川・今井節子）銅賞、やや明内郵趣材料の比率が高いような。個人的に今回一番楽しみにしていた「大好き♡声優・野沢雅子さん（JAPEX2021 Version）」（埼玉・竹内磨微）佳作、昭和 30 年代のアニメ黎明期より今でも現役のレジェンドの大ベテラン、選暦世代にもラララ、鉄腕アトム。作品の作り方は二の次三の次。

全ての出品者と、関係スタッフに心より感謝。ありがとうございました。

スタンペディア日本版

早期会費更新 特典配布のご案内

2021年分及び、2022年分

2021年度早期更新特典の内、2020年に未了のもの

(1) 書籍の贈呈

対象者：2020年10月15日までに年会費更新を完了した方

書籍「スタンペディア 日本切手カタログ 2020（仮称）」を差し上げます。発送時期は2021年3月の予定でしたが、2021年3月30日に、発行時期が伸びる旨の手紙を特典該当者にお送りし、遅刊についてお詫びしました。12月に入り、ようやく編集を再開することができ、書籍タイトルも「フィラテリーハンドブック2022（仮称）」にほぼ決定しました。切手収集に関するガイドブックと明治時代の日本切手図鑑が合体した単行本（A5判 84ページ、フルカラー）として発行予定です。大変お待たせして申し訳ございませんが、今しばらくお待ちくださいますようお願い申し上げます。

2022年度早期更新特典

(1) 1000円 キャッシュバック

対象者：2021年10月31日までに年会費更新を完了した方

マイスタンペディア預託金口座に千円を2021年11月2日に入金済みです。今後の会費更新に充当できる他、単行本などのご注文にもご利用いただけます。

(2) 書籍の贈呈

対象者：2021年11月30日までに年会費更新を完了した方

書籍「スタンペディア 世界クラシック切手カタログ 1840-1849（仮称 A4判 20ページ程度の小冊子）」を差し上げます。発送時期は2022年3月の予定です。

(3) 2022年版スタンペディア郵趣カレンダーを進呈

対象者：年会費更新を完了した方 先着333名

毎年作成しているカレンダーで、機関紙33号発送時に同梱します。2021年10月23日までに更新を完了した方（+α）が対象になります。

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

ジャパNSTAMPオークションニアレポート

鯛 道治

2021年11月7日の119回フロア・JAPEX Special Saleのレポートです。今回は物に絞って書いて行きましょう。何れもプラーベートの取引とオークションでの売買に於いて、類似品を扱った経験が有るので結構いいネタを持っているのです。

Lot 90 2 昭 5 銭 9 面シート 米戦略事務局製謀略切手 極美

最低値 250,000 応札 8 スタート 540,000 落札値 580,000

値段を抜きにすれば今のはやりだと思うのです。数がそこそこあって、リーフに映える大きさと、理屈が書けるマテリアルです。紹介記事が幾つも出ています。最初は1983年10月号のJapanese Philatelyであり、次いでAmerican Philatelistの1999年1月号に現地の方が執筆されており、国内では郵趣研究30号☆1999夏号に成田弘氏が引用されています。米国の公文書館に15シート収蔵されていたというのは事実だと思うのですが、何故か私が3点扱っていて何れもを弊社のオークションで3名の方に売っているのです。

最初の入手は正に記事の通りで、1984年1月27日のSuperior Stamp & Coin Co.でした。思ったより安く買えた記憶が有るのです。日を置かずにオークションで売りました。次がサンフィラUSAホリデーイン東京でのセールでした。この時は最低値がそこそこ付いていたのですが競らずに落せたとします。ただ未だに悔しく思っているのですが、連続番号で単片貼のカバーが有ったのです。郵便料金が7銭なので実通では有りません。見るからにヘンテコな消印でしたが、メイドカバーの参考品とすれば十分に使える物だったと思います。でも、ユニークなカバーという触れ込みで結構な値段が付いていたので、手が出なかったのです。未使用はストレスなく買えているので、このカバーは日本人は買ってないと思います。超ゲテモノなので私以上に飛び込む人はいなかったはずなのです。私が扱った3点は当然ながらアメリカから来ています。2点ははっきり覚えているのですが、最後の物の記憶が無いのです。売れるであろう値段には自信が有るのでプライベートディールで買ったのかも知れません。

今回のビッドはメールの2番値が52万なのでスタートは54万、場で手が挙がって58万のハンマーでメールに落ちました。お買い上げはヤフオクがきっかけになった人なのですが、普通の物はあらかたお持ちで、チョットしたひねり物がお好きな人が買ってくれたのです。まだまだ余裕が有る1番札だったのです。ビッドが8名という事は次に出て来ても大丈夫だと思います。今回の出品物は昭和切手の大家の遺品です。かつて私が売った物が戻って来たのかなと思うのですが定かな記憶が無いのです。案外国内の存在数は3点だけでは無いのかも知れません。

P.S. 今回の記事の入稿には、折悪しく間に合わないのですが、興味深い情報を貰いました。米国公文書館の所蔵数15シートが12シートになっていたという事実、読み過ぎかも知れませんが、マイナス3は私が押さえている数字とキッチリ一致しています。

それ以上に。モノクロですが飛びきりの図版が有るそうです。5銭単貼りのエンタイヤ、宛名はどこかの派遣軍の軍人さん、軍事郵便印風のヘンテコな消印の同じような物が2通だそうです。多分、私がかつて見た現物だと思います。更に予想外だったのが、新楠公2銭の謀略用の偽物の画像も有るのです。

近日中に貰えることになったので、次回の記事でお目に掛けることを約束いたします。2022年新年号になるのかな。



Lot924 旧小5厘カラートライアルブルーフ7種 OH

最低値 1,000,000 応札 2 スタート 1,150,000 落札値 1,150,000

お買い上げは東郷5銭の9面シートと同じ方でした。期待通りのビッドだったのです。

1998年でした。WiesbadenのHeinrich Koehlerで素晴らしい日本切手の売り立てがあったのです。目玉は竜500文の最初期Pos1+Pos2の横ペア・タスキ落ちを含む未使用でした。メールで落ちたのですが、落札者は金井宏之氏だと後に知れました。場ではアイホン君が代行札でアゲインストしていたので、実際のアンダービッドはナタニエル氏だったと思います。これに関しては私も含めて日本人の参加者は傍観者だったのです。

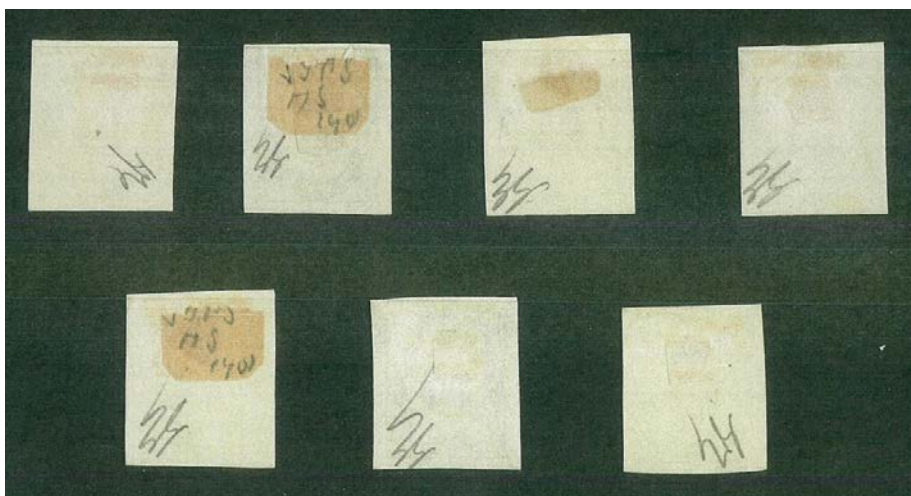
この数年前からこのコレクションは随分と話題になっていたのです。所有者はKoehler氏の娘で、1945年(私のオークションでの記載の1920年以前に亡くなった)は勘違いでした。この年は、彼が1918年にオークション業務に身を投じたことを因として、収集を止めたということだったと思います。)に亡くなったHeinrich氏のコレクションを引き継いだ物だと言う風評だったのです。不思議な事なのですが、このコレクションはWiesbadenのKoehlerの金庫にでなく、娘さんの嫁ぎ先のLondonのPhillipsが一時期持っていて、天野先生が下見されたと聞きました。どういう売り方になるかを気にしていたのですが、結局は無難な形に収まったのです。

このセールで私が最もソソラレたのが、旧小5厘のカラートライアルブルーフ7種です。一緒に行った人と談合して、旧小12銭11Lx10貼のカバーを降りてこちらを貰ったのです。プライベートで【至宝さん】に売りました。このロットのアンダービッドは西尾明さんだったので安くはなかったと思いますが、すんなりとディールは成立したのです。元の持ち主の素性からしてブルーフで何の問題も無いと思います。でも、これに対して四の五のいちゃもんを付ける人がいるのです。戦前に亡くなった一流のフィラテリストの遺品だという事は物の真偽に於いてポジティブに見て良いと思います。今回の出品物の方は数年前にE-Bayで売られて安く落ちた物なのですが、Koehlerのそれと全く同じ性質なのです。

現在進行形の【鑑定】に関して色んな不具合が出て来ているのです。一般論とすれば欧米の鑑定機関の場合、ペーパーの結論が全てであり、それに対しての一切の問い合せには応じない事実が有るのです。日本の場合はそれをそのまま機械的に行なうのはどうかなと思える事案が起きています。数年前から温めているのですが、郵便創始75年小型シートの初版の判断です。切手の博物館と全日本郵趣連合で同じ物に対しての結論が真二つです。両者以外の詳しいであろう個人と組織の意見も貰ったのですが、見事にスプリットデジションで割れています。このケースは真偽でなく、一定の基準に合致するかどうかという判断なので、割れることは有るのですがディールに於いてもまたコレクションとして持つにしても悩ましい事なのです。

それ以上に、カバーの真偽に関してもチョット違うかなと思えるケースが少なからず有るのです。日本切手に関しての鑑定の場合、結構入手ルートで分かるケースが有るのです。

視点を変えて論ずるなら、鑑定者が筆跡が変なカバーと似ているから偽物だと結論付けるなど私は怖くてやれません。筆跡鑑定はプロに頼めば10文字で30万はかかります。それをその分野の素人が出来ると勘違いして、エンタの鑑定の根拠にするのは犯罪的だと思うのです。もし間違った結論を導いて後でそれが証明されたならどう責任を取るのでしょうか。勘違い的なプライドだけで結論を出して後は一切議論に応じないというスタンスでは、社会的には容認されなくなると思います。鑑定ではFakeの判断を出すならば、最低限のマナーとしてその理由を依頼人に開示すべきだと思います。それをやれば、悪意の輩が参考にして罪を重ねるのでやれないと意見は、鑑定者が安全圏に居座る為の後付けの理屈だと思うのです。偽物師がバージョンアップさせるなら、鑑定者はそれ以上に研鑽を重ねねばいけません。この件は、別の機会に論じましょうか。一杯勝負できるネタを持っているのです。



Lot1648 青島軍事田型 NH 下部 2 枚に紙シワ 美 日本郵趣連合鑑定書付

最低値 4,000,000 応札 5 スタート 6,200,000 落札値 6,400,000

目玉のロットに移ります。青島の田型は表に出ている情報では 4 点だと思います。今回の物と左耳付の再接 8B は、前田為之助氏が現地から持ち帰った同じシートの物で、センターが少し下に有るのが特徴です。単片にすればオフセンターが目立つので嫌なのですが、この特徴故に真正品だと安心感が得られるのです。もう 1 点はグルックナーに有った物で、数人の手を経て四国の田沢のコレクターがお持ちです。これは何故かセンターが良好です。縁あって私がプライベートでお世話したので、折に触れ、切りましようよ。良い値段で売れますよと声を掛けているのですが、即刻却下されてしまっています。

今回の出品に際しては当然ながら問い合わせがあったのです。ご希望値は 500 万でした。でも商売としてリスクヘッジを掛けるなら、単片で売らざるを得ない値段を踏むのです。田型を必要とする人の顔が見えないのですが、同時に単片なら欲しい人は一杯いるのです。不落は嫌なので単片の単純倍数での 400 万にしたのです。予想外に反応がありました。最初にお問合せをくれた人は踏ん切りがつかなかったのですが、マジの数字だけのビッドで 4 人からのメールが入ったのです。順不同なのですが、田沢で国際展を目指している人、幅広い珍品コレクター、本当は単片が欲しいけれど、日本切手のコンプリを目指す人、この人は和桜政府印刷の秋田調と玉六ヨの白抜十字の美品他を買ってっているので限りなく目標に近い人なのです。もし単片が出れば落し切ってくれるのですが、8 月の国際展セールの単片の際はバカンスで海外におられて残念なことに見落としされたそうなのです。次は落とすと宣言されていますし、今回のビッドでも単片も田型も同じだろうと言われてしまいました。綺麗な未使用の単片をお持ちの方、今が絶好の売り時だと思います。

メールの 2 番値が 600 万、スタートは 620 万でした。場でディーラーさんが一声上げての 640 万がハンマーです。単片で 200 万で 4 人に売れるという計算だったのでしょうか。1 番札はまだまだ余裕があったのです。お付き合いは最近なのですが、不発行 4 完とか高い物を結構買ってくれている人なのです。前送したらお礼のメールが届きました。それなりに過去の青島の取引データをお持ちで、その数字に比して割安だと思って喜んでくれました。オークショニアは物に対しては厳し目で控えめで考えるのです。売れてこそその商売ですから。



お買い上げは、この人もヤフオクをきっかけにしてお付き合いが始まった方なのです。国際展での LG を目指すトラッドのコレクターよりもこういうの方が、オークショニアにすれば遙かに有難いお客さんなのです。この方以外にも 10 人ぐらいは同じステータスの人がいてくれます。ビジネスの継続性からしても最も大事な人達なのです。出来る限りの面倒は見たいと思います。

スタンペディアオークション

第 19 回セール (2021.10.2 フロア 綿商会館) レポート

スタンペディアオークション株式会社

10月2日に日本橋富沢町の切手市場第二会場（綿商会館）で第19回セールを開催しました。マスク着用、手指消毒をお願いした上でフロアセールを開催しましたが、2021年7月12日に東京都に発せられた4回目の緊急事態宣言が9月30日に終了したことを受けて、来場者数が増加しました。事前入札312名(+10名)フロア来場者数53名(+17名)。

南方占領地を取り扱う第4部は、海外から要望の強かったオンラインライブビッドを本格的に導入し、こちらも活発な競りが行われました。1件あたりの処理時間は予め想定していた通り長時間となりました。南方占領地はフロアビッドのニーズが低い割にオンラインライブビッドのニーズが強い為、第20回以降は、会場でのフロアセールをやめて、事前入札以外の参加はオンラインライブビッドに限定することで解決します。

出品が増加し、取り扱い点数が、第18回・19回と続けて約2,000件になりました。1,200件前後が当社の実力だと思いますので嬉しい誤算です。多い出品物を埋もれさせないために、カタログにおけるカテゴリー分類の細分化や画像表示方法を工夫した結果、ロット数が増えても欲しいマテリアルを見つけやすいと前向きのご感想を頂いています。結果として落札率が向上し、流通額もギネスを記録しました。最終落札率71.5%、流通額23,649,911円。

恒例の事前入札ベストテンは以下の通りです。(単位: 円)

	事前入札 件数	Lot	最低値	落札値	ロット内容
1位	16	1841	3,000	23,000	中国 1962,1963 梅蘭芳、黄山貼り 計2通 スイス宛て
2位	14	348	3,000	85,000	中国 1920s-1940s 主に日本宛 40通、占領地含む
3位	12	1875	3,000	10,500	中国 1960-1964 人気切手貼りカバー 3通、金魚・菊・黄山 スイス宛て
4位	10	1877	3,000	7,800	中国 1962-1963 カバー 3通 スイス宛て
5位	9	669	3,000	10,500	年賀小型シート昭和11年用 切抜 未使用 ヒンジ跡なし 銘付田型
		670	50,000	270,000	年賀小型シート昭和11年用 櫛型印 昭和11 6 26 長崎大三東→アメリカ 外信書状書留重量便 中継印: SAN PECRO. CALIF 7/4 到着印: KANSAS CITY.MO. 7/16
		771	10,000	80,000	多宝塔 0.80円 pos.59/100 耳付 10枚ブロック 目打ちズレエラー 未使用
		1840	5,000	18,500	中国 1962 梅蘭芳 8種完 済 日付印 カタログ価:37,000円
9位	8	1213	3,000	9,000	満州 25通
		1844	30,000	62,000	中国 1963 黄山風景 16種完 未使用 ヒンジ跡なし カタログ価:140,000円
		1873	3,000	9,500	中国 1953 普通切手他 スイス宛て カバー 2通

Woodward Provenance

Lot.10 [済] 竜 200 文 1 版 pos.1/18 6 枚ブロック 濃い朱 済 大型地名検査済印 東京 刷色良好で下辺右タッチあるが総じてマージン広くルックス良好。pos.2 の印面変種を含む貴重な第一コーナーマルチプル。[JPS-3(6B)]

350,000 円 → 520,000 円 (2 件)

名前の知れた国際オークションハウスを通して、非常に強気なビッドが、事前入札の締切直前に入りました。二番値の人の入札値は、フロアに出席せずに落としたいのであれば、悪くない値段だったのですが、スタンペディアオークションは国際オークションハウス。海外ビッダーの参加で想定外ではねられてしまったのです。

ポジションを特定できる龍切手の場合、印面変種を書き漏らすことはありません。消印もありふれた東京の地名入検査済印。状態は悪くないけどプレミアムがつくほど良いわけでもない。何を見落としたんだろう・・・。

フロアで、メールの二番値の一つ上の刻みをはねる人は居らず、入札者は、マックス値のはるか下の値段でこのブロックを入手し、マテリアルは無事、海外へ発送されました。到着の報告と共に長文のメールをもらいました。要約すると、落札者が 1970-80 年代にオークションで日本人に競り負けた覚えのあるマテリアルで、ex-A.Tracy Woodward とのこと。『大日本及全属国の郵便切手』には掲載されていませんが、1939 年の Woodward セールで売り立てられたマテリアル、とのことでした。

海外では、Provenance は、日本よりもはるかに大事にされることを再認識しました。



アングマン・ニコバル 5 Sen / 1 A 単貼りカバー

Lot.2167 [使用例] Andaman & Nicovar islands 5 Sen / 1A 日付印 皇紀 2603 4 5 PORT
BLAIR → PORT BLAIR アングマン切手貼り現存使用例は 4 通 + α (プライベート) 書状
1,500,000 円 → 1,600,000 円

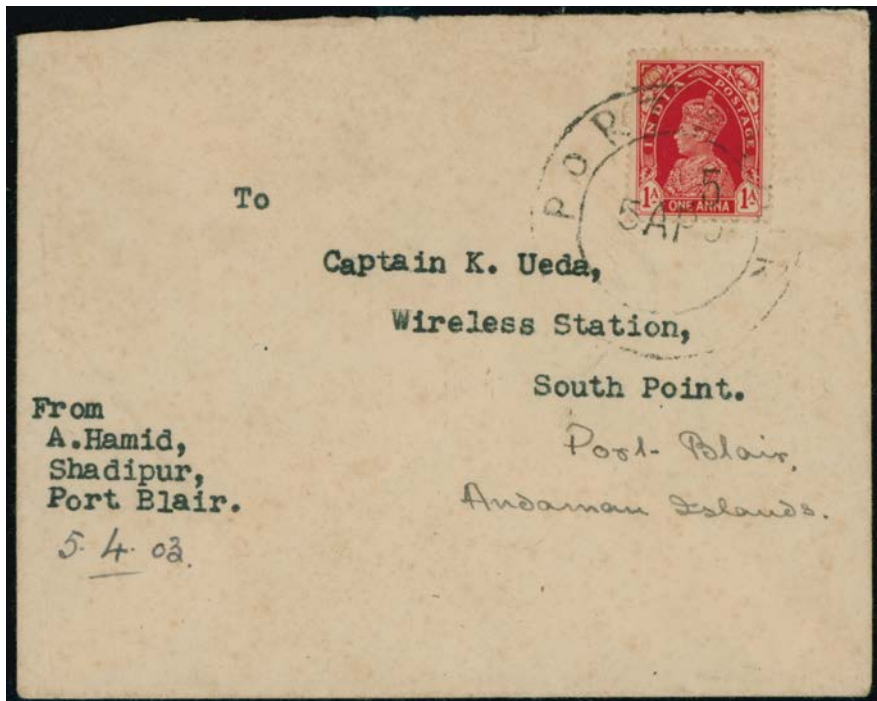
ここ 2 回のスタンペディアオークション (第 18 回、19 回) で最も注目を集めたテーマの一つが、
南方占領地アングマン・ニコバルです。

同島のフィラテリーに関しては、守川環氏が「日本占領地アングマン・ニコバル諸島 (Stampedia
Philatelic Journal 2021)」という記事をこの秋に著しましたが、それによれば未使用も入手難で
すが、それにもまして 4 通しか存在しない収集可能な使用例が難物であることがわかります。

前回セール (第 18 回、2021/7/3) のロット 1391 (3 Sen on 1/2A と東郷 5 銭の混貼書状) は、
800,000 円 → 1,750,000 円と競り上がりましたが、前回の落札者が今回のものも欲しがっている
ことは事前に伝えられていました。

事前入札は 2 件入り、150 万円と 155 万円でした。フロアは二番値の一刻み上である 155 万円
から始まります。今回のフロアセールは、オンラインライブビッド併設でしたので、開始早々オン
ラインで 160 万円が入り、それに追随する人は居らず、前回の落札者が無事、2 通目を手にしました。

アングマン・ニコバル諸島のカバーを 2 通保有したフィラテリストは、これまで橋本道弘氏しか
知られていませんでしたが、二人目の所有者が登場したことになります。いつか国際展などで見る
ことができるのではないかと思います。



スタンペディアオークション

第19回セール (2021.10.2 フロア) 最終落札結果

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
1	11,458	55	8,000	118	3,000	195	2,000	253	5,400
2	6,200	56	8,000	120	6,200	196	15,000	254	3,000
3	11,500	58	15,000	123	3,000	198	3,000	257	2,000
4	26,000	60	6,000	126	6,050	199	4,812	258	6,000
5	12,000	61	7,800	127	4,000	200	14,500	261	4,000
6	4,200	62	8,500	128	7,058	203	3,800	262	5,041
7	15,000	64	6,000	129	2,000	204	12,500	263	1,000
8	21,000	66	6,400	130	2,016	205	8,500	264	8,500
9	15,000	68	4,200	131	3,025	206	6,200	265	3,000
10	520,000	69	4,600	134	6,200	207	5,200	270	3,025
11	33,000	70	2,016	135	2,400	208	3,000	271	3,200
13	51,333	71	3,666	136	13,500	209	6,400	273	2,000
14	46,000	76	3,000	137	3,000	210	2,800	274	2,400
15	74,000	77	5,041	139	3,000	211	7,000	275	2,000
16	6,000	80	3,400	140	2,000	215	3,025	277	33,000
17	100,000	81	2,000	142	3,000	216	3,025	278	9,000
19	13,291	82	2,000	143	13,500	217	2,600	279	5,000
20	7,600	83	5,000	144	4,033	219	18,500	281	4,000
21	6,000	84	2,000	146	5,000	220	3,400	283	3,000
23	18,500	85	33,000	148	2,000	221	8,000	284	3,000
24	15,000	86	10,500	149	105,000	222	5,200	287	8,000
25	8,000	87	4,033	150	3,000	223	11,000	289	4,000
27	10,541	89	15,000	161	3,000	224	5,000	290	6,800
28	8,000	90	4,000	162	13,000	226	9,000	292	5,000
29	5,000	93	3,000	164	3,000	227	4,000	293	20,000
30	10,000	94	5,200	165	5,000	228	6,050	294	6,200
31	5,600	95	5,200	166	2,000	230	5,000	295	3,000
32	3,000	96	80,000	168	2,000	231	3,000	297	3,000
33	3,200	97	25,000	169	2,000	232	11,500	298	4,000
35	5,000	98	27,000	170	4,000	233	7,000	299	3,000
36	10,500	99	27,000	175	2,000	235	6,600	300	5,200
38	5,000	100	6,600	176	8,500	237	3,000	302	5,000
39	12,000	101	31,000	177	5,000	238	3,000	303	3,000
40	4,000	102	5,000	178	2,000	240	3,400	304	4,200
42	5,000	103	2,600	179	3,025	241	3,025	305	3,000
43	4,000	104	5,200	180	3,025	242	3,000	306	5,000
46	5,400	105	3,666	181	32,000	243	9,000	307	3,000
47	8,500	106	10,000	182	2,000	244	4,000	308	3,000
48	6,000	107	9,000	183	2,000	245	3,025	309	4,000
49	8,066	108	13,500	184	2,000	246	2,000	310	3,666
50	7,400	109	5,000	185	2,016	247	18,500	311	3,666
51	12,500	110	3,200	187	2,000	248	5,200	312	4,400
52	17,500	111	3,200	188	4,000	249	5,000	313	6,000
53	5,000	113	5,041	192	15,000	250	2,000	315	8,000
54	7,104	114	1,833	193	6,050	251	10,000	316	21,000

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
317	18,000	386	6,200	445	4,000	516	12,500	578	1,375
318	3,666	387	3,000	446	4,200	517	12,000	579	8,000
320	12,000	388	8,500	447	36,000	519	3,800	580	4,000
322	12,000	389	5,600	448	4,000	520	13,500	581	2,016
323	1,000	391	3,000	449	3,000	521	8,500	582	3,025
324	3,025	392	5,000	450	800	522	3,800	583	3,000
326	5,400	394	4,000	452	5,000	523	3,000	584	6,200
327	5,041	395	3,200	453	10,000	524	5,000	585	3,025
328	15,000	397	5,000	454	3,000	525	5,000	586	3,000
330	3,000	398	3,000	455	4,592	526	4,000	587	3,400
331	31,000	401	5,000	456	3,000	527	5,200	588	2,000
332	5,400	402	3,000	457	5,041	528	4,000	589	1,000
333	3,208	403	3,000	458	3,200	531	3,800	590	12,500
334	4,200	404	3,000	459	3,200	532	15,500	592	3,600
335	7,800	405	7,200	460	8,000	533	15,500	593	3,000
337	2,000	406	4,600	461	5,000	534	3,200	594	8,000
338	2,016	407	4,600	464	3,000	535	3,000	595	3,000
339	3,000	408	3,000	466	5,000	536	2,000	597	5,000
340	5,600	409	3,000	468	5,200	537	6,000	598	3,000
341	12,500	410	4,400	470	5,600	539	4,000	599	3,025
342	100,000	411	6,000	473	8,000	540	3,000	601	3,000
343	4,000	412	3,600	474	6,050	541	5,000	602	3,000
344	11,500	413	5,200	476	6,800	542	3,000	603	26,000
345	10,000	414	7,800	477	4,400	544	15,500	604	7,800
346	3,000	415	12,500	478	5,200	545	3,800	605	24,000
347	7,000	416	7,000	480	5,000	547	5,000	606	5,000
348	85,000	417	16,500	481	10,000	548	6,000	607	6,200
350	25,000	418	16,500	483	12,000	549	5,200	608	5,200
351	3,200	419	12,000	484	10,500	551	2,000	609	5,000
352	8,500	420	3,200	485	3,000	553	6,000	610	3,000
354	6,000	421	5,000	486	3,000	555	3,000	611	4,200
356	2,000	422	5,000	487	3,000	557	5,000	612	5,200
357	1,000	423	3,000	488	5,400	558	3,000	613	3,800
358	3,025	424	8,500	489	3,000	559	3,000	614	4,400
360	7,400	425	3,000	490	3,000	561	6,000	615	4,400
362	9,500	426	3,000	491	5,200	562	5,400	616	4,400
364	7,000	427	7,000	495	12,500	563	10,000	617	4,400
367	4,200	428	3,000	499	5,000	565	7,000	618	6,000
369	4,000	429	4,000	502	13,500	566	9,500	619	5,400
374	4,000	430	2,400	503	7,600	568	8,000	620	3,800
375	3,000	435	5,000	504	20,000	569	15,500	621	5,800
377	5,200	436	4,200	507	9,500	570	2,000	622	10,000
378	4,000	438	18,500	509	64,000	571	21,000	623	2,000
379	6,800	439	7,400	511	6,050	572	4,200	624	5,200
381	3,000	441	5,000	512	6,000	573	8,000	626	18,791
382	3,000	442	6,000	513	6,000	574	3,000	627	10,000
384	3,000	443	4,200	514	8,000	575	13,500	628	3,000
385	18,500	444	2,000	515	23,000	577	13,108	631	1,000

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
632	1, 200	691	8, 000	772	22, 000	832	2, 016	889	4, 200
633	4, 000	701	2, 000	775	10, 000	833	7, 800	890	15, 500
634	6, 000	702	3, 000	776	18, 500	834	5, 000	892	4, 000
637	6, 000	705	3, 000	777	26, 000	835	4, 800	893	5, 000
641	5, 000	706	3, 000	778	4, 000	837	3, 000	894	21, 000
643	44, 000	707	3, 000	779	1, 000	838	1, 000	895	2, 016
644	2, 000	709	3, 025	780	5, 000	839	2, 200	896	1, 000
645	34, 000	710	3, 000	781	4, 200	840	12, 500	897	6, 050
646	41, 000	711	3, 000	782	5, 000	841	1, 000	900	4, 000
647	4, 000	714	3, 025	784	22, 000	842	2, 200	901	5, 000
648	3, 200	715	7, 000	787	3, 000	843	2, 000	902	4, 000
649	4, 375	716	3, 025	789	5, 000	844	5, 400	903	15, 500
650	4, 000	717	2, 000	792	3, 400	845	3, 000	904	3, 000
651	7, 400	719	3, 000	794	4, 800	846	12, 500	909	2, 000
652	3, 000	721	15, 000	795	3, 000	847	1, 000	911	5, 041
653	4, 000	723	3, 000	796	4, 600	848	2, 400	912	4, 000
654	17, 500	725	5, 000	797	5, 800	849	16, 500	913	5, 000
655	31, 000	726	10, 000	798	3, 800	850	3, 400	914	3, 600
657	2, 000	727	24, 000	799	2, 600	852	4, 600	915	7, 200
658	7, 200	728	24, 000	800	3, 000	853	3, 000	916	3, 000
659	5, 000	732	4, 000	801	3, 400	854	3, 000	920	3, 000
660	4, 000	733	5, 200	802	10, 000	855	4, 000	921	5, 000
661	5, 000	734	3, 000	803	3, 000	856	2, 600	922	8, 500
662	17, 000	735	3, 000	804	3, 000	857	4, 800	923	3, 000
663	8, 000	736	10, 000	805	4, 000	858	9, 500	924	18, 500
664	8, 500	737	20, 000	806	5, 200	860	9, 000	925	4, 800
665	5, 000	738	8, 500	807	7, 516	862	7, 800	926	1, 400
666	5, 000	739	10, 000	808	3, 000	863	2, 000	927	3, 800
667	3, 600	741	12, 500	809	3, 000	864	4, 400	929	4, 000
668	72, 000	742	8, 000	810	2, 000	866	4, 200	930	8, 000
669	10, 500	746	8, 000	811	21, 000	867	3, 000	932	3, 000
670	270, 000	748	2, 016	812	5, 000	868	3, 000	933	2, 000
671	5, 200	749	10, 000	813	8, 000	869	6, 200	934	12, 500
672	5, 200	750	3, 200	814	3, 000	870	6, 000	935	3, 800
673	15, 000	756	37, 000	815	3, 000	871	3, 000	936	3, 000
674	3, 000	758	25, 000	816	10, 000	872	22, 000	938	5, 000
675	3, 000	759	6, 400	817	44, 000	873	8, 000	939	3, 000
676	10, 500	761	3, 666	819	10, 500	874	7, 000	940	5, 041
678	7, 200	762	34, 000	820	2, 000	876	4, 200	941	4, 000
680	3, 000	763	8, 000	821	2, 000	877	4, 000	943	5, 600
681	3, 300	764	3, 025	822	3, 000	878	2, 000	944	5, 000
682	3, 400	765	8, 500	824	3, 400	879	31, 000	945	3, 000
683	3, 000	766	5, 200	825	3, 000	880	6, 000	947	3, 000
684	4, 600	767	3, 208	826	3, 400	882	5, 000	948	1, 400
685	4, 000	768	8, 000	827	4, 800	883	15, 000	950	4, 000
687	3, 025	769	4, 000	828	3, 000	884	3, 800	954	8, 500
688	2, 000	770	4, 000	829	6, 200	885	5, 000	955	6, 400
689	3, 000	771	80, 000	831	10, 000	886	7, 200	956	1, 000

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
958	9,500	1025	10,500	1088	4,000	1158	3,000	1214	5,041
959	5,000	1027	2,000	1089	400	1160	3,000	1215	11,500
962	12,000	1028	2,016	1090	1,000	1161	3,000	1216	10,500
963	8,500	1029	3,000	1093	5,000	1162	3,000	1217	10,500
964	5,000	1030	3,200	1095	7,200	1164	3,800	1218	16,500
965	8,500	1036	3,000	1097	3,000	1165	4,200	1219	240,000
966	8,500	1037	4,200	1100	1,000	1166	22,000	1220	76,000
970	5,200	1038	3,000	1102	4,000	1167	15,000	1221	18,500
971	7,200	1039	7,000	1103	4,000	1168	4,800	1222	45,000
972	5,800	1040	3,000	1104	3,000	1169	3,000	1223	29,000
973	7,000	1041	12,500	1105	600	1170	8,500	1224	120,000
976	2,000	1042	40,000	1107	3,200	1171	3,000	1225	20,000
977	2,000	1043	5,000	1108	3,000	1173	4,000	1226	24,000
978	2,000	1044	5,000	1109	3,200	1174	3,000	1227	18,500
979	2,800	1045	1,000	1111	11,500	1175	3,000	1228	52,000
981	4,000	1046	3,200	1113	2,800	1176	2,400	1230	33,000
982	4,600	1047	10,000	1116	6,200	1177	4,200	1231	120,000
983	8,500	1048	12,500	1117	5,000	1178	1,000	1232	40,000
984	14,500	1049	3,000	1118	8,500	1180	3,000	1233	20,000
985	14,500	1050	3,000	1119	6,200	1181	5,000	1234	20,000
986	3,000	1051	3,000	1120	5,000	1182	5,400	1235	12,000
987	3,000	1052	3,000	1121	3,000	1183	5,600	1236	31,000
988	7,400	1053	12,500	1123	4,200	1184	3,800	1237	26,000
989	11,560	1054	200	1124	3,600	1185	3,000	1238	300,000
990	3,000	1055	3,000	1125	3,200	1186	12,000	1239	120,000
991	6,600	1056	6,187	1126	3,000	1187	10,500	1240	90,000
992	2,000	1057	4,000	1127	11,000	1188	5,400	1241	60,000
996	10,000	1058	12,500	1128	11,000	1189	36,000	1245	4,000
997	39,000	1060	5,800	1130	1,000	1191	5,000	1246	5,000
998	4,200	1061	4,000	1134	1,000	1193	5,000	1247	15,000
999	3,000	1062	6,200	1135	2,000	1194	5,041	1248	21,000
1000	5,200	1064	4,800	1136	5,400	1195	5,000	1249	7,000
1003	3,000	1065	12,500	1138	5,000	1196	5,000	1250	12,000
1005	1,000	1066	6,400	1139	4,400	1197	5,041	1252	24,000
1006	400	1068	4,800	1143	4,000	1198	5,041	1253	4,033
1007	5,000	1069	2,000	1144	1,200	1199	4,033	1254	9,500
1008	3,000	1071	3,000	1146	2,016	1200	4,000	1258	5,000
1009	5,000	1072	3,025	1147	2,000	1201	4,033	1259	3,000
1010	3,000	1073	3,000	1148	3,000	1202	4,000	1261	2,016
1011	3,200	1075	5,000	1149	3,200	1203	5,041	1262	4,000
1014	2,000	1076	2,000	1150	4,200	1204	5,041	1266	3,000
1016	1,800	1077	1,008	1151	2,000	1205	8,066	1267	24,000
1017	3,000	1079	2,000	1152	2,000	1206	8,066	1268	150,000
1019	5,200	1080	1,000	1153	2,000	1207	4,600	1270	12,000
1020	6,600	1083	4,000	1154	2,000	1209	3,400	1273	9,000
1021	4,200	1084	3,000	1155	3,200	1210	3,800	1274	3,025
1022	6,200	1085	7,600	1156	2,000	1211	4,200	1275	3,000
1023	5,200	1087	1,000	1157	3,000	1213	9,000	1276	3,000

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
1277	9, 122	1336	3, 000	1409	10, 500	1476	3, 000	1554	5, 000
1278	2, 200	1339	4, 600	1410	4, 000	1479	7, 400	1557	3, 000
1279	4, 800	1340	10, 000	1411	3, 025	1482	12, 000	1566	15, 500
1280	8, 500	1341	9, 500	1412	3, 600	1485	6, 000	1567	4, 000
1281	6, 200	1342	4, 000	1413	3, 000	1486	7, 400	1569	8, 000
1282	9, 500	1343	6, 400	1416	12, 000	1487	3, 400	1570	9, 000
1283	7, 800	1344	6, 400	1417	5, 200	1489	22, 000	1571	5, 041
1284	5, 000	1345	3, 200	1418	4, 000	1490	5, 200	1572	3, 025
1285	14, 500	1346	3, 000	1421	3, 000	1494	6, 400	1573	5, 041
1287	70, 000	1347	4, 200	1422	3, 000	1496	12, 500	1574	6, 000
1288	52, 000	1348	2, 000	1425	3, 000	1498	3, 000	1575	10, 000
1289	135, 000	1349	3, 000	1426	3, 800	1499	8, 000	1577	10, 500
1290	5, 200	1350	12, 500	1427	3, 200	1500	20, 000	1578	10, 500
1291	6, 000	1351	5, 200	1428	4, 200	1502	4, 000	1579	12, 500
1292	6, 000	1352	2, 000	1429	3, 000	1503	5, 000	1580	7, 800
1294	21, 000	1355	5, 000	1430	6, 200	1504	4, 200	1581	8, 000
1296	7, 200	1357	10, 500	1431	3, 000	1505	2, 750	1582	2, 600
1297	5, 000	1359	5, 000	1432	3, 000	1507	2, 000	1583	3, 000
1301	7, 400	1360	5, 000	1433	8, 000	1508	15, 000	1584	5, 200
1302	56, 000	1362	5, 000	1434	9, 500	1509	5, 000	1586	8, 500
1303	9, 500	1363	2, 000	1435	3, 800	1510	20, 000	1587	1, 000
1304	125, 000	1364	3, 200	1436	3, 025	1511	20, 000	1588	20, 000
1305	62, 000	1367	3, 200	1437	3, 025	1512	3, 000	1589	3, 800
1306	2, 000	1370	5, 000	1438	1, 000	1513	4, 200	1590	52, 000
1307	2, 000	1371	3, 000	1439	3, 025	1514	4, 200	1591	5, 400
1308	16, 000	1372	3, 025	1440	32, 000	1516	3, 000	1595	30, 000
1310	25, 000	1373	6, 200	1441	7, 400	1517	5, 200	1596	30, 000
1311	5, 000	1374	3, 200	1442	4, 000	1519	2, 000	1597	30, 000
1312	7, 800	1375	12, 500	1443	12, 000	1523	2, 000	1599	3, 200
1313	7, 400	1376	12, 500	1445	4, 200	1525	3, 000	1603	3, 000
1314	16, 000	1377	120, 000	1450	5, 000	1527	3, 200	1607	80, 666
1316	2, 000	1378	5, 041	1451	2, 000	1528	3, 000	1608	2, 600
1317	18, 500	1386	26, 000	1452	3, 025	1530	3, 025	1610	15, 000
1318	8, 000	1387	3, 000	1454	1, 000	1531	2, 750	1611	6, 000
1319	4, 200	1388	18, 000	1456	5, 600	1532	2, 000	1612	8, 500
1322	4, 000	1389	10, 000	1459	5, 000	1533	3, 200	1613	3, 000
1323	6, 187	1390	6, 200	1460	5, 200	1534	12, 500	1614	4, 200
1324	25, 000	1391	9, 500	1461	6, 000	1536	8, 000	1615	3, 000
1325	2, 400	1392	6, 000	1465	12, 000	1537	5, 000	1624	5, 000
1326	2, 000	1393	12, 500	1466	3, 300	1539	5, 000	1625	10, 000
1327	2, 000	1394	15, 500	1467	3, 025	1541	5, 000	1626	9, 500
1328	5, 000	1395	8, 066	1468	5, 000	1542	36, 000	1630	1, 000
1330	26, 000	1398	6, 600	1469	6, 000	1543	3, 000	1632	5, 000
1331	7, 200	1402	4, 000	1470	6, 600	1544	3, 000	1633	3, 000
1332	2, 600	1404	5, 000	1471	8, 000	1546	4, 000	1637	3, 000
1333	1, 000	1406	5, 000	1472	12, 000	1548	4, 000	1638	30, 000
1334	21, 000	1407	4, 000	1473	40, 000	1551	5, 000	1639	15, 000
1335	3, 000	1408	7, 200	1475	4, 000	1553	4, 033	1640	10, 500

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
1641	5,000	1708	3,000	1763	9,000	1832	4,000	1899	5,200
1642	8,500	1709	3,000	1764	3,000	1836	13,000	1900	12,500
1646	22,000	1710	9,500	1765	4,200	1840	18,500	1901	2,000
1647	12,500	1711	18,000	1768	666	1841	23,000	1902	5,000
1648	17,500	1712	12,000	1769	2,016	1842	3,200	1903	3,000
1649	3,000	1716	9,000	1771	9,000	1843	3,000	1904	3,000
1650	4,000	1717	5,151	1772	5,000	1844	62,000	1906	2,400
1652	2,000	1719	3,800	1773	2,016	1845	3,800	1907	6,000
1653	4,000	1720	24,000	1774	3,000	1846	15,500	1908	3,000
1654	5,000	1721	800	1775	3,000	1847	16,500	1909	5,000
1655	3,000	1722	1,400	1776	4,000	1848	3,200	1910	3,200
1656	11,000	1723	1,000	1777	2,000	1849	3,000	1911	3,200
1657	6,000	1724	1,000	1778	2,000	1850	6,800	1912	11,000
1661	2,000	1725	2,000	1779	2,000	1852	19,000	1916	2,200
1662	6,800	1726	3,400	1780	1,200	1854	11,000	1917	5,600
1663	5,000	1727	2,000	1781	5,000	1855	10,000	1919	5,000
1664	3,000	1728	3,000	1782	4,000	1856	7,200	1920	2,400
1666	5,000	1729	3,800	1783	1,000	1857	13,500	1924	12,000
1668	4,000	1730	2,000	1785	916	1858	2,000	1926	3,000
1669	25,000	1731	2,000	1786	3,000	1859	1,000	1928	3,000
1672	23,000	1732	1,800	1787	6,600	1860	12,000	1929	3,000
1674	3,000	1733	4,000	1788	4,000	1861	5,800	1930	2,000
1676	3,000	1734	5,000	1789	6,000	1864	6,000	1932	6,000
1678	20,000	1736	8,708	1791	3,000	1865	3,800	1933	3,000
1679	16,000	1737	6,000	1793	4,000	1866	8,500	1935	13,500
1680	14,000	1738	340,000	1795	80,666	1867	5,200	1936	4,200
1681	3,000	1739	2,000	1796	7,000	1868	2,600	1937	13,500
1682	7,400	1740	3,000	1798	10,000	1870	5,200	1938	26,000
1683	20,000	1742	6,000	1799	6,000	1871	3,200	1939	4,000
1684	2,000	1743	6,200	1800	20,000	1872	3,800	1943	25,000
1685	15,000	1744	6,000	1801	9,000	1873	9,500	1946	3,000
1687	5,200	1745	10,000	1802	20,000	1874	7,200	1947	5,200
1689	3,000	1746	37,000	1803	8,000	1875	10,500	1948	2,000
1691	5,000	1747	10,500	1804	5,200	1877	7,800	1949	2,000
1693	18,000	1748	18,500	1807	5,200	1878	2,750	1950	3,000
1694	11,000	1749	12,500	1811	115,000	1879	66,000	1951	2,000
1695	7,400	1750	12,500	1815	25,208	1883	30,000	1953	2,000
1696	3,000	1751	3,025	1816	10,083	1884	6,200	1954	3,000
1697	15,000	1752	5,800	1818	10,500	1885	20,000	1955	3,000
1698	3,000	1753	4,000	1819	10,500	1886	13,500	1956	3,000
1699	4,600	1754	125,000	1820	15,000	1887	5,800	1959	2,000
1700	3,000	1756	11,500	1821	15,000	1888	29,000	1960	7,058
1701	5,000	1757	27,000	1822	20,000	1889	16,000	1961	4,200
1702	13,000	1758	2,400	1824	15,500	1890	9,000	1964	7,058
1704	9,000	1759	3,000	1825	9,500	1892	21,000	1968	4,200
1705	28,000	1760	5,000	1826	6,800	1895	74,000	1971	4,800
1706	13,000	1761	16,500	1828	7,200	1896	15,000	1978	5,041
1707	26,000	1762	5,000	1829	90,000	1898	2,000	1980	8,000

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
1981	4,034	2044	21,000	2118	8,500
1982	5,800	2046	52,000	2119	9,000
1984	10,500	2047	5,041	2120	24,000
1985	12,000	2049	15,125	2122	5,400
1986	4,000	2050	68,000	2123	6,200
1987	6,200	2051	15,000	2126	31,000
1991	3,000	2052	20,000	2128	5,000
1993	3,400	2053	6,200	2129	6,187
1994	3,000	2055	17,500	2130	3,941
1995	2,200	2057	5,000	2131	5,000
1996	3,400	2059	8,000	2132	2,000
1997	3,400	2061	12,500	2134	3,000
1999	2,200	2063	9,500	2136	18,500
2000	7,200	2065	5,000	2140	4,000
2001	1,400	2066	240,000	2143	105,000
2002	3,600	2067	15,500	2144	105,000
2003	2,000	2071	72,000	2154	3,116
2004	3,400	2074	10,000	2155	30,000
2005	5,400	2075	115,000	2156	34,000
2006	4,600	2076	10,000	2158	33,000
2007	5,400	2077	310,000	2159	34,000
2008	3,400	2078	370,000	2162	100,000
2009	2,400	2079	210,000	2163	100,000
2010	2,000	2080	3,025	2164	115,000
2011	4,600	2081	3,000	2165	125,000
2012	5,400	2082	21,000	2166	100,000
2013	2,400	2084	470,000	2167	1,600,000
2014	4,200	2085	5,000	2168	6,000
2015	8,500	2086	200,000	2169	33,000
2016	7,000	2087	250,000	2170	11,500
2017	7,200	2088	40,000	2171	10,000
2018	34,000	2089	26,000	2174	3,000
2020	34,000	2090	100,000	2175	3,800
2021	15,000	2091	165,000	2176	130,000
2023	64,000	2093	165,000	2177	27,000
2026	5,000	2094	64,000	2178	3,208
2027	5,000	2095	100,000	2179	5,000
2028	8,000	2098	2,000	2180	6,200
2029	560,000	2099	78,000	2181	6,200
2031	700,000	2101	11,000	2184	6,200
2032	560,000	2102	125,000	2185	3,000
2034	210,000	2104	4,583	2186	3,000
2035	130,000	2105	3,000		
2037	250,000	2108	10,000		
2040	5,000	2109	3,000		
2041	21,000	2110	5,000		
2042	20,000	2114	3,025		
2043	29,000	2116	916		

スタンペディアオークション 今後の開催予定

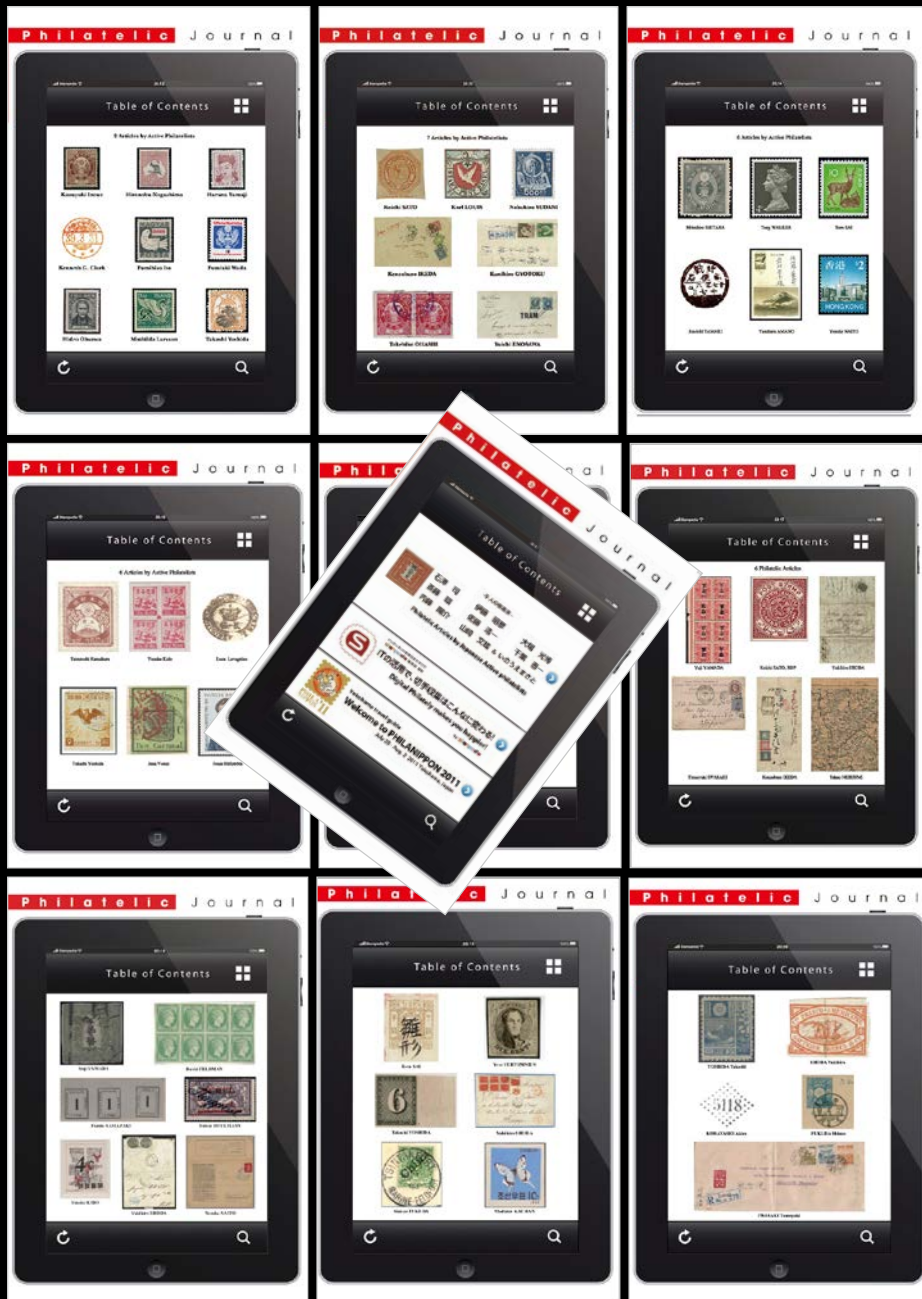
2022/1/8	20 回セール
2022/1/29	冬の文献セール
2022/4/2	21 回セール
2022/4/29	春の文献セール

予定が変更になる場合は、ホームページ及び通常セールのカタログで案内します

成約品数 : 1563 点
 成約率 : 71.5%
 成約総額 : 23,649,911 円
 事前入札者 : 312 人
 一点以上落札 : 284 人
 フロア来場者 : 53 人

札あり。WD（出品取消）なし。

スタンペディアが年一度お届けする Quality Paper
第 11 号となる 2021 年版は先月発売されました。



無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

ご注文は、ユキオスタンプ、郵趣サービス社、ジャパNSTAMP商会や Amazon へお願いします

会員からのおたより

「スタンペディア日本版」機関紙フィラテリストマガジンは、節目の30号より、機関紙として会員の皆様との交流も深める為に当欄を設けております。スタンペディアだけでなく郵趣振興協会へのお便りも歓迎します。

多田 由一 様 (大阪府)「プロイセン本、到着しました。解説を読んでいてあなたが目指すもの、収集のスタンスがよくわかります。小生のお遊びとは全く違いますね。最後は、スイスで世界一を日本人から出して、金井氏を超える日が来ることを期待しております。」

多田さん、単行本へのご感想ありがとうございます。ご謙遜されておられますが、NOVA SCOCIA Pence&Cents issues 1851-1867 は、私のプロイセンと図らずも同時代の切手です。

世界でも手を出せる人が限定されている英領地域で、真面目な作品をお作りになっておられ、決してお遊びの作品ではないと感じています。

カタログ価が高い切手が多いので、コレクションの充実には時間がかかると思います。この点は私のスイスクラシックも同様です。世界一のスイス切手のコレクションは Joseph Hackmey が所有していますので、私は焦らずに自分のペースで作品を充実していくことができればと考えています。

安藤 源成 様 (岡山県)「新型コロナも一段落し、益々ご健甞の事と存じます。本日はプロイセンコレクションの立派な本を拝受いたしました。展示ではゆっくり見られませんでしたがこの本で勉強させていただきます。

国際展の記事も熟読いたしました。此れからの切手展は一般初心者向けの誰でも判る楽しい切手展 (全日展・JAPEX) と国際切手展出品作品の高度な切手展 (STAMPDEX JAPAN) に分けて開催してゆくべきではないでしょうか？

今後、切手を楽しむ方を増やすために、嘗ての様にデパートやショッピングセンターで開催出来れば、と思います。先ずは取り急ぎ御礼まで。」

安藤さん、いつもアイディアをお聞かせくださいまして、ありがとうございます。

安藤さんの様に国際競争展へのご出品経験の多い方が肌身で感じる「国際展と国内展の違い」は、郵趣振興協会の啓蒙もあり、日本のフィラテリストに徐々に理解が深まってきていると感じます。

国際展で真剣に頑張りたいと願う方に対して、改善指導機会を確保することは、郵趣振興において

最も重要な案件の一つです。

しかし、競争展トップクラスの方向けの展覧会だけでは郵趣振興は不十分です。『国際展出品』は郵趣の醍醐味のごく一部でしかなく、大多数の国内展出品者は検討すらしていない現実を見ると、誰でも分かる楽しい切手展が必要というご意見には同意します。

他団体の動向はわかりませんが、郵趣振興協会では、一般向け切手コレクションの展示機会も並行して確保していくことができれば、と考えています。

有吉 伸人 様 (神奈川県)「プロシアの本、届きました！

いやあ、素敵な本が出来ましたね！素晴らしいです。作品集として美しく見応えがあるだけでなく、最初と最後の記事、そして各リーフの下部のコメントが本当に興味深く、何度も何度も読み返しています。秋の夜長に最高の一冊に巡り会えました！

なかなか自分のコレクションが育たないので(涙)、吉田さんの本でコレクションが発展していく過程を追体験しているって、ところでしょうか。ついつい切手が買いたくなってしまい困ってます。笑。」

有吉さん、単行本へのご感想をありがとうございます。当初は、128 ページをコピーして、ちょっぴりと文章を足して、半日で製作する予定だったのですが、予約注文が百冊を超えたくらいで、「これは変なものは発行できないぞ」と感じはじめて、時間をかけて編集することになりました。

記事を書いている中で心がけたことは、国際展でどのようにしたら自分のコレクションの (1) 強みを審査員に訴求できるかと、(2) 弱みを目立たないようにできるか、です。

ベストのマテリアルを J. Hackmey が持っている以上、有吉さんがコレクションを育てる中で直面する困難は、私がスイス切手のコレクション形成で感じる困難と同じものだと思います。

偽物やウソを書くのは論外にしても、弱みを弱みと見せずに審査員に強みだけアピールするにはどうしたら良いか、私がこの10年で学んだテクニックをあのプロイセン本には出し惜しみせずに書いたつもりです。ぜひ、ご愛読いただければ幸いです。

1. 機関誌「フィラテリストマガジン」のお届け

機関紙通常号本誌（付録含まず）を 3/25、6/25、9/25、12/25 前後にお送りします。

* 受け取る冊子の判型を『A5 判(年会費 3,980 円)』『A4 判(年会費 7,980 円)』より選択できます。

2. 機関誌「フィラテリストマガジン」2022 年新刊のダウンロード権利 (PDF)

2022 年は通常号 4 回と号外 3 回を計画しています。冊子のお届けに先立ちご案内します。

3. 新企画 機関誌「フィラテリストマガジン」バックナンバー全てのダウンロード権利 (PDF)

過去に発行された「フィラテリストマガジン」の本誌および号外の全てのダウンロード権利 (PDF) を在籍期間中付与します。(発行から 3 年を経過した機関紙の一般公開 [詳細次頁] に伴う措置です)

4. 書籍「日本郵趣記事索引 2022」のお届け

フィラテリストマガジン等の郵趣記事索引を掲載した書籍(冊子)を 2023 年 3 月頃にお届けします。

5. 単行本販売時の優先取り扱い

当社発行書籍等を、非会員より優遇条件で販売する場合がございます。オンラインからの注文に関しては、マイスタンペディアにてワンクリックでお申込みいただける仕組みも導入しております。

5. 提携先の「スタンペディアオークション株式会社」の優待サービスを受けられます

スタンペディアオークション株式会社(以下、同社)より「スタンペディア日本版」会員向け優待サービスが提供されており、同社が利用停止した方を除く全ての当会会員が利用できます。

- (1) 毎回のセールカタログを、当会機関紙の郵送時に、同梱して受け取ることができます。
- (2) 入札や下見にあたり、同社への会員登録の申し込みは不要で、当会会員の資格で参加できます。
- (3) 事前入札において同値の場合、当会会員の取り扱いが優先されます。
- (4) 一定条件を満たす事前入札(セールカタログに記載)に対して、入札確認通知を郵送します。

会費有効期間 2022 年 1 月 1 日ー12 月 31 日

ご入会案内

1. まず、お受け取りになる冊子のサイズを『A4 判』か『A5 判』か、お決めください。
年会費は A5 判の場合 3,980 円、A4 判の場合 7,980 円 です。
2. 該当する金額を次ページ「送金先」欄のいずれかの方法でご送金ください。
3. ご連絡先(郵送先・電子メールアドレスのいずれか、もしくは両方)を当社にご連絡ください。
ご連絡先が分からない場合は、当社からはサービスの提供を開始できません。

ご寄稿案内

当誌は 2013 年 12 月に創刊された、総合郵趣雑誌(季刊)です。

フルカラー約 150 ページの紙面をフィラテリーに関する寄稿記事に最優先に割り当てています。「このような内容は掲載できるかな?」「他の郵趣雑誌ではページ数や編集の都合でうまく書けない/掲載できない」「連載で書きたい」「これまで寄稿を郵趣雑誌にしたことはないけれどぜひ書いてみたい」といったフィラテリストの情報発信を本誌への寄稿記事で実現してみませんか?

「マテリアルは持っているのだけど、記事を書くまでではない」といった方には、『私の発見・私の報告』や『切手コレクションの紹介』への掲載のご相談も承ります。

- (1) ご寄稿にあたり、お送りいただきたいものは、テキストと画像です。画像については、200dpi のスキャナーやスマホカメラで撮影した写真を添付ファイルとしてお送りください。
- (2) (1) のような手段のない方はカラーコピーをご郵送ください。なお、お送りいただいた原稿、カラーコピーほか資料は返却しません。送付はなるべく USB メモリをご活用ください。
- (3) いただいた原稿は、編集部で判断の上、編集して掲載いたします。手書き原稿もお引き受け可能ですが、キャパシティに上限がありますので、長文の場合は事前にご相談ください。

連絡先: tpm@stampedia.net

郵送先: 102-0083 海事ビル内郵便局留 スタンペディア 宛て
次号へのご寄稿締切日は、2022 年 2 月 10 日です

あとがき

北風が冷たい！お鍋が食べたい！おでんもいいですね。おでんの一押しはたまご、いや大根かな。この2択でいつも悩む菊地です。令和3年ももう師走。本号も多くの方よりご寄稿頂きバラエティにとんだ一冊に仕上がっています！

時間を少し戻し、秋風を感じはじめた9月の広島へ。仕事として何年かぶりにスタンプショウ＝ヒロシマへ。夜の吉田さんの講演まで時間があつたので、展示とブースを一通り堪能後、一旦夕食をとりて広島駅へ。会場は広島駅から路面電車で数駅のところにあるので、広島駅までは路面電車で！これまで移動はタクシーだけだったので初路面電車でテンションが上がり、写真なんぞ撮ったりとキャッキャキャッキャ！久々の遠出楽しいな～♪

はい。ここまで楽しい楽しいひと時でした。そろそろ会場へ戻らねば。という時間になり、先に吉田さんが戻り、食事を済ませてすぐいきまーす！と吉田さんが店を出た10分後に、会場へ向かうと会計を。「iD使えますか？あダメですか、ではカードで」あれ？？？ない。現金、カード、身分証、全てが入った黒いアイツが見当たらない。そう、どこへ行くにも一緒に、アイツ。財布、財布 ないよ～！え～！ないよ～！

私とした事が、またやっちゃった。久々の遠出に浮かれすぎた。肌身離さずいつも一緒にいたはずなのに！なんでこんな時にいなくなるんだお前は～（泣）え、どうする？カード止める？交番いく？講演どうするよ？広島でパニック。ひとまず、会計は同席の池田さんをお願いし、急ぎ会場へ戻る事に。会場のトイレとかにあるかも！！きつとそうに違いない。吉田さんに確認してもらおう、と電話するも繋がらず。不安MAXのまま路面電車の「広島港行き」に1人飛び乗った私。この「広島港行き」が、不運の第二章のはじまりでした。。。

さて、話は変わって、私の国内最初の遠出の催事参加はスタンプショウ＝ヒロシマ2015でした。一体どんな催事なのかかわからないまま、目白の寛永堂で郵便仲間とお茶をしながら面白そう！行く！とその場で飛行機のチケットをポチッと予約した覚えがあります。

夜にはチャリティーオークションが開かれました。実はこのスタンプショウ＝ヒロシマが私にとって初の「郵趣オークション」でした。（パブリックオークションはジャパンが初）そして記念すべき初落札品は、、「グリコのおまけ切手」！

このグリコのおまけ切手を出品されたのが、小判振舞処の親分・長田さんでした。小判を集めていない私ですが、何度か参加させて頂き昭和切手について先輩方からご教示いただく機会を長田さんから頂きました。今年9月、その長田さんの訃報が届きました。「エミちゃん」私の事をそう呼んでくれる親分は、ジーンズの似合うお洒落さんでした。先日、奥様から喪中ハガキが届きました。なんというか、改めてもう会えないんだな、そう思うと季節の寒さも手伝ってか頬を伝うものがあたたかく感じました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

話を戻して「アイツ」はどうなったのか、「広島港行き」の不運とは一体？それはまた別の機会に！

それではみなさま、本年もありがとうございました！よいお年をお迎えください。（菊地）

書 名：スタンペディア日本版機関誌「フィラテリストマガジン」	
号 数：第33号（2021年冬号）	
発行日：2021年12月30日	
価 格：1,500円（消費税込）	
発行部数：700部	
発行者：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社	
発行人：吉田敬	
編集部：菊地恵実、北川朋美	
Name of the magazine:	The Philatelist Magazine
Number:	33rd (2021 Winter issue)
Date of issue:	Dec. 30th 2021
Price:	1,500 Yen
Number of printing:	700 copies
Publisher:	Stampedia, inc. Takashi Yoshida
Editor:	E. Kikuchi, T. Kitagawa

連絡先

- (1) 郵便 〒102-0083
海事ビル内郵便局留置
スタンペディア
- (2) F A X 03-6700-1585
- (3) 電子メール tpm@stampedia.net

送金先

- (1) ゆうちょ銀行 10060 14016181
(2) 楽天銀行 ロック支店 普通 7027345
(3) ゆうちょ振替口座 00100-4-515137
(4) Paypal order@stampedia.net

* 加入者名はいずれも『無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社』です。

スタンペディアオークション

第20回セール

フロア 2022年1月8日(土) 12:30 切手市場第2会場
会場 東京都中央区日本橋富沢町8-10 綿商会館5階

COVID-19の感染状況による行政判断等により競売方法・日時や会場が変更される場合があります
急な変更がある場合はホームページでご案内します



セール回	開催日	フロアセール開催会場
第20回	2022年1月8日	切手市場第2会場 (東京・日本橋)
第21回	2022年4月2日	切手市場第2会場 (東京・日本橋)
第22回	2022年7月3日	切手市場第2会場 (東京・日本橋)
第23回	2022年10月1日	切手市場第2会場 (東京・日本橋)

スタンペディアオークション株式会社

〒102-0083 千代田区麹町4-7 パークハウス麹町プレイス803

FAX: 03-6800-5384 auction@stampedia.net

<http://auction.stampedia.net>